

下水道用標準構造図集

平成 30 年 1 月

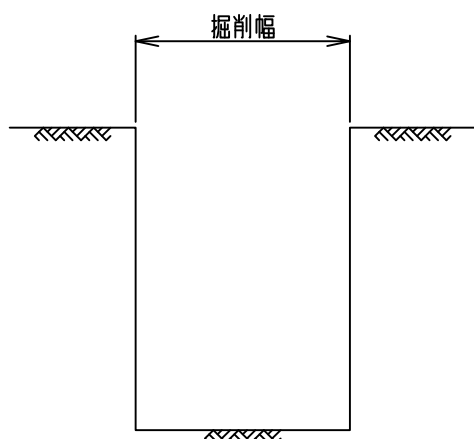
福知山市上下水道部下水道課

図 面 目 録

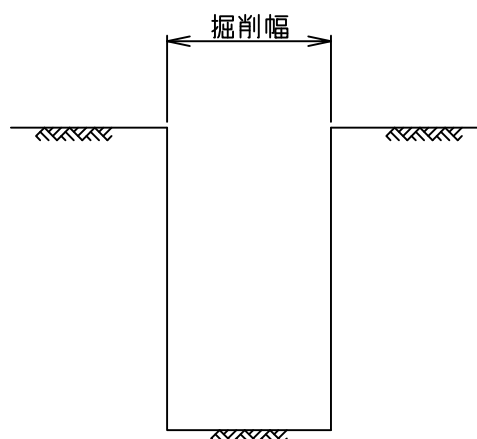
図 面 名	図 番	図 面 名	図 番
1. 掘削断面図	1	φ 600 (FCD) 1 ～ Y 号マンホール用鉄ふた T-14 除雪型	38
2. 砂基礎工	2	φ 600 (FCD) 1 ～ Y 号マンホール用鉄ふた T-25 除雪型(特環用)	39
3. 管渠工 直管部寸法	3	φ 600 (FCD) 1 ～ Y 号マンホール用鉄ふた T-14 除雪型(特環用)	40
ゴム輪受口寸法・接着受口寸法	4	φ 430 (FCD) 塩ビ製マンホール用保護鉄ふた T-25, 14, 8	41
ゴム輪受口片受け直管寸法・ブレンゼント直管寸法	5	φ 300 (FCD) レジンマンホール用鉄ふた T-25	42
接着受口片受け直管寸法・ゴム輪受口両受直管寸法	6	φ 300 (FCD) レジンマンホール用鉄ふた T-14	43
マンホール継手 (下流用)	7	φ 300 (FCD) レジンマンホール用鉄ふた T-25 除雪型	44
マンホール継手 (上流用)	8	φ 300 (FCD) レジンマンホール用鉄ふた T-14 除雪型	45
15度曲管・30度曲管	9	φ 300 (FCD) レジンマンホール用鉄ふた T-25 除雪型 除雪型(特環用)	46
45度曲管・60度曲管	10	φ 300 (FCD) レジンマンホール用鉄ふた T-14 除雪型 除雪型(特環用)	47
90度曲管・90度大曲管 90度及び60度支管	11	φ 270 (FCD) 塩ビ公共汚水ます保護鉄ふた(車道用)	48
副管用90度支管・本管用カー・ ゴム輪受口カー・接着受口カー	12	φ 270 (FCD) 塩ビ公共汚水ます保護鉄ふた(歩道用)	49
4. 土留工詳細図 建込工法	13	φ 300 (FRP) コンクリート公共汚水ます用鉄ふた	50
建込簡易土留工法	14	φ 300 (FCD) コンクリート公共汚水ます用鉄ふた 1	51
5. マンホール用可とう性継手	15	φ 300 (FCD) コンクリート公共汚水ます用鉄ふた 2	52
6. マンホール 1 号マンホール φ 900	16	8. 取付管工 取付管土工標準断面図	53
0 号マンホール φ 750	17	取付支管工 (1)	54
Y 号マンホール φ 600	18	取付支管工 (2)	55
A 1 号マンホール φ 600×900	19	9. 公共汚水桝 コンクリート製	56
塩ビ製マンホール (1)	20	塩ビ製	57
塩ビ製マンホール (2)	21	10. マンホールポンプ場 1 号組立マンホール	58
レジンコンクリート製マンホール (1)	22	2 号組立マンホール	59
レジンコンクリート製マンホール (2)	23	3 号組立マンホール	60
レジンコンクリート製マンホール (3)	24	11. 圧送管資材 (1) ステンレス両フランジ単管・ステンレス3 方フランジ T 字管	61
レジンコンクリート製マンホール (4)	25	圧送管資材 (2) ステンレス3 方フランジ Y 字管	62
インバート工	26	φ 80mm ステンレス3 方フランジ Y 字管 詳細図	63
外副管工	27	φ 100mm ステンレス3 方フランジ Y 字管 詳細図	64
内副管工 (1) (2)	28	φ 150mm ステンレス3 方フランジ Y 字管 詳細図 1	65
7. マンホール蓋 φ 900 (FCD) 親子鉄ふた マンホールポンプ用 φ 900 (FCD) 親子鉄ふた マンホールポンプ用 T-25 除雪型 (1)	29	φ 150mm ステンレス3 方フランジ Y 字管 詳細図 2	66
φ 900 (FCD) 親子鉄ふた マンホールポンプ用 T-25 除雪型 (2)	30	圧送管資材 (3) レギュラー 80mm-50mm ・ φ 150mm 45° 曲管	67
φ 900 (FCD) 親子鉄ふた マンホールポンプ用 T-14 除雪型 (1)	31	空気弁カバー 詳細図	68
φ 900 (FCD) 親子鉄ふた マンホールポンプ用 T-14 除雪型 (2)	32	圧送管弁ボックス 仕切弁35型	69
φ 900 (FCD) 親子鉄ふた マンホールポンプ用 T-25 除雪型(特環用) (1)	33	圧送管弁ボックス 仕切弁35×55型	70
φ 900 (FCD) 親子鉄ふた マンホールポンプ用 T-25 除雪型(特環用) (2)	34	圧送管弁ボックス 空気弁50型	71
φ 900 (FCD) 親子鉄ふた マンホールポンプ用 T-14 除雪型(特環用) (1)	35	圧送管弁ボックス 排泥弁室	72
φ 900 (FCD) 親子鉄ふた マンホールポンプ用 T-14 除雪型(特環用) (2)	36	12. 舗装工 仮復旧工	73
φ 600 (FCD) 1 ～ Y 号マンホール用鉄ふた T-25, T-14	37	路面復旧工	74
φ 600 (FCD) 1 ～ Y 号マンホール用鉄ふた T-25 除雪型			

掘削断面図

土留工有



素掘



素掘工法

管 径 (mm)	掘削幅 (m)
φ75~φ150	0.75
φ200	0.80
φ250	0.85

1) 掘削方法は、バックホウ0.13、0.28m³級を標準とし、上記のとおりとする。

※注1. 0.45BH使用の場合は掘削幅全て0.85mとする。

建込工法

使用機種	管 径 (mm)	掘削幅 (m)
BH 0.13m ³ 級	φ75~φ250	0.95
BH 0.28m ³ 級	φ75~φ250	1.05
BH 0.45m ³ 級	φ75~φ250	1.15

1) 掘削幅は、管径に関わりなく、掘削機械によって決定する。

建込簡易土留工法

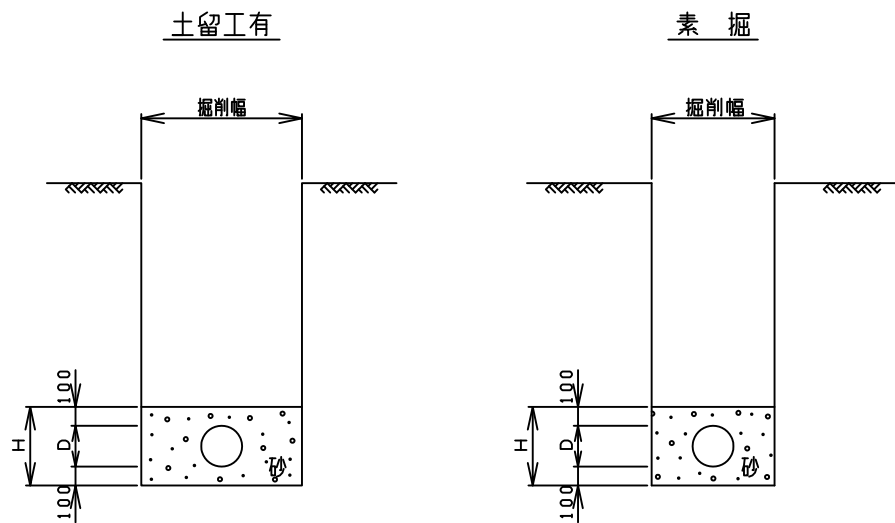
掘 削 深 (m)	管 径 (mm)	掘削幅 (m)
H≤3.0	φ75~φ200	0.95
	φ250	1.00
3.0<H≤4.0	φ75~φ250	1.00
4.0<H≤6.0	φ75~φ250	1.15

1) 建込簡易土留の場合、掘削深により使用機種が変わるので、掘削深より決定する。

ただし、掘削深3.0mでは、管径ごとに掘削幅を決定する。

※注1. 0.45BH使用の場合は掘削幅全て1.00mとする。

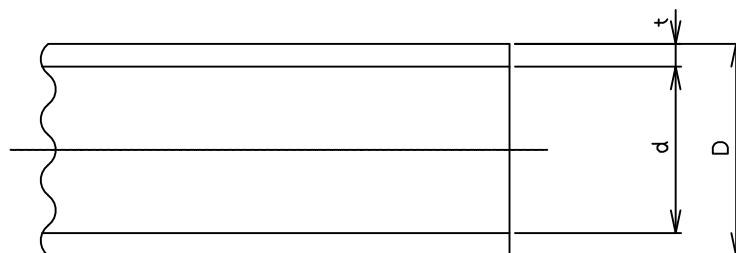
砂基礎工断面図



土留工種別	掘削幅 (m)	呼び径	外径 D (mm)	砂基礎高 H (mm)	10m当り砂埋質量 (m³)
建込工法	0.95	150	165	365	3.25
		200	216	416	3.59
		250	267	467	3.88
	1.05	150	165	365	3.62
		200	216	416	4.00
		250	267	467	4.34
	1.15	150	165	365	3.98
		200	216	416	4.42
		250	267	467	4.81
建込簡易土留工法	0.95	150	165	365	3.25
		200	216	416	3.59
		250	267	467	3.88
	1.00	150	165	365	3.44
		200	216	416	3.79
		250	267	467	4.11
	1.15	150	165	365	3.98
		200	216	416	4.42
		250	267	467	4.81
素掘工法	0.75	150	165	365	2.52
		200	216	416	2.75
		250	267	467	2.94
	0.80	150	165	365	2.71
		200	216	416	2.96
		250	267	467	3.18
	0.85	150	165	365	2.89
		200	216	416	3.17
		250	267	467	3.41

管 渠 工

直管部寸法（共通）



（単位：mm）

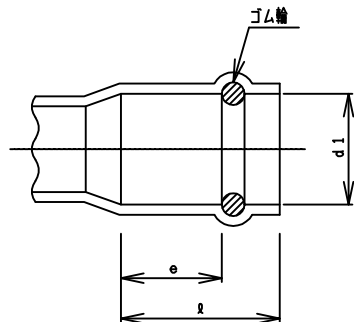
呼び径	外 径		厚 さ		近似内径 d （参 考）	1 m 当たりの重量（kg） （参 考）
	D	許容差	t（最小）	許容差		
100	114	±0.4	3.1	+0.8	107	1.737
125	140	±0.5	4.1	+0.8	131	2.739
150	165	±0.5	5.1	+0.8	154	3.941
200	216	±0.7	6.5	+1.0	202	6.572
250	267	±0.9	7.8	+1.2	250	9.758
300	318	±1.0	9.2	+1.4	298	13.701
備考 本表は、JIS K 6741のVU（呼び径75～800）と同一である。						

注1. 外径Dとは、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の外径測定値の平均値又は円周測定値を円周率3.142で除した値をいう。

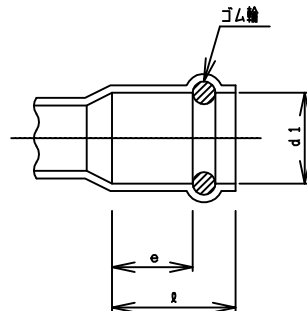
2. 表中1 m 当たりの質量は比重1.43で計算したものである。

ゴム輪受口寸法（共通）

本管形



取付け管形



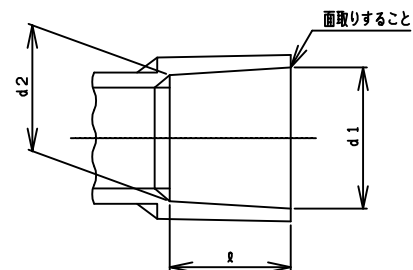
(単位: mm)

呼び径	受口内径 d1 (最小)	接合長さ e (最小)	受口長さ l (最大)
100	114.5	42	145
125	140.6	44	155
150	165.7	47	165
200	216.9	52	185
250	268.1	57	205
300	319.3	62	225

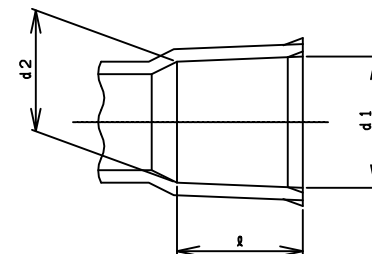
- 注1. ゴム輪の形状及びゴム輪周辺部の形状は規定しない。
2. 受口内径 d1 は、直角2方向以上の内径測定値の平均値とする。

接着受口寸法（共通）

射出成形品



2次成形品



(単位: mm)

呼び径	受口内径 d1 (最小)	接合長さ e (最小)	受口長さ l (最大)
100	115.0	48	90
125	141.0	53	99
150	166.0	58	108
200	218.0	69	126

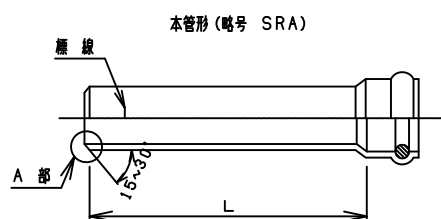
- 注1. ゴム輪の形状及びゴム輪周辺部の形状は規定しない。
2. 受口内径 d1 は、直角2方向以上の内径測定値の平均値とする。

(単位: mm)

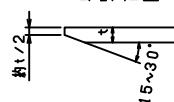
呼び径	受口内径				受口長さ	
	d1	許容差	d2	許容差	l	許容差
100	114.8	±0.4	113.2	±0.4	50	±5
125	140.9	±0.4	139.1	±0.4	65	±5
150	166.1	±0.5	163.9	±0.5	80	±5
200	217.4	±0.6	214.6	±0.6	115	±10
250	268.6	±0.6	265.4	±0.6	140	±10
300	319.8	±0.7	316.2	±0.7	165	±10

- 注1. 破線で示す形状にすることもできる。
2. 受口内径 d1 及び d2 は、直角2方向以上の内径測定値の平均値とする。

ゴム輪受口片受け直管寸法



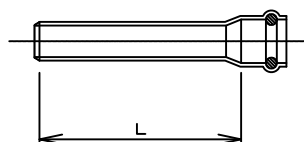
A部詳細図



(単位: mm)

呼び径	L
100	4000
125	
150	
200	
250	2000
300	

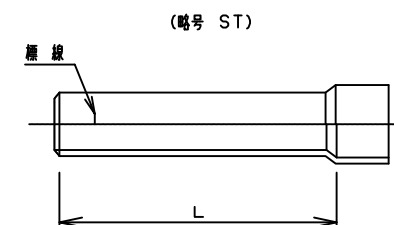
取付け管形 (略号 SRB)



(単位: mm)

呼び径	L
100	800
125	
150	
200	
250	4000
300	

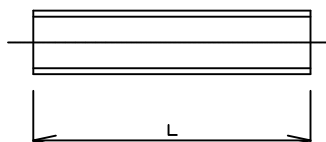
接着受口片受け直管寸法



(単位: mm)

呼び径	L
100	4000±15
125	
150	
200	
250	
300	

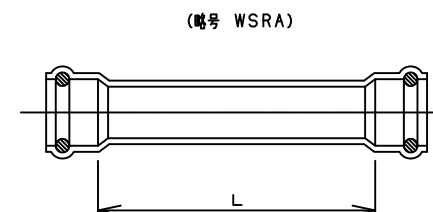
プレーンエンド直管寸法



(単位: mm)

呼び径	L
100	4000±10
125	
150	
200	
250	
300	

ゴム輪受口面受け直管寸法

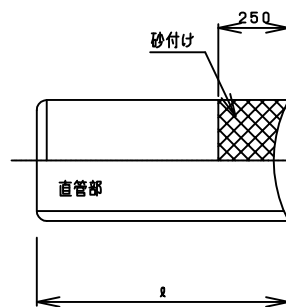


(単位: mm)

呼び径	L
100	3500
125	
150	
200	
250	
300	

- 注1. 全長4000mmを加工したものを標準とする。
 2. ゴム輪受口は、本管形とする。

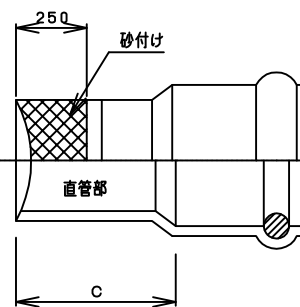
マンホール継手（下流用）



マンホール継手（下流用）	
呼び径	L (mm)
150	2000
200	2000
250	2000
300	2000

注1. Lの許容差は±15 mmとする。

マンホール継手（上流用）

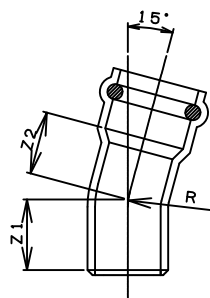


マンホール継手（上流用）	
呼び径	C (mm)
150	2000
200	2000
250	2000
300	2000

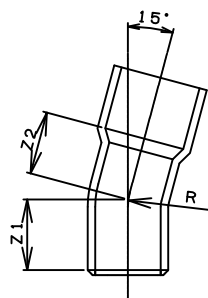
注1. Cの許容差は±15 mmとする。

15度曲管

ゴム輪受口 (略号 15SR)



接着受口 (略号 15ST)



(単位: mm)

呼び径	Z 1	Z 2		R (参考)	
		射出成形品	2次成形品	射出成形品	2次成形品
100	110	20	51	60	200
125	118	25	53	70	200
150	129	30	59	90	220
200	149	40	72	110	280

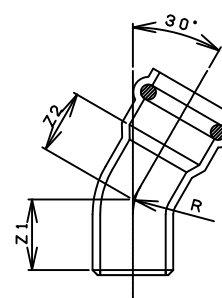
注1. Z1及びZ2の許容差は、±15 mmとする。

2. Z1は、射出成形品及び2次成形品に共通の寸法とする。

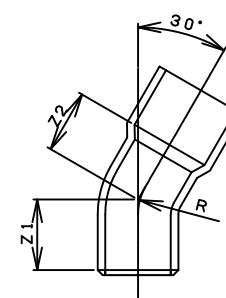
3. ゴム輪受口は、取付け管形とする。

30度曲管

ゴム輪受口 (略号 30SR)



接着受口 (略号 30ST)



(単位: mm)

呼び径	Z 1	Z 2		R (参考)	
		射出成形品	2次成形品	射出成形品	2次成形品
100	138	20	79	60	200
125	146	25	81	70	200
150	159	30	89	90	220
200	187	40	110	110	280

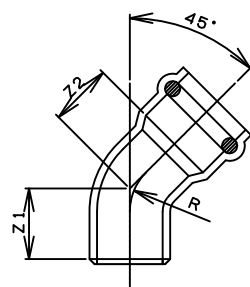
注1. Z1及びZ2の許容差は、±15 mmとする。

2. Z1は、射出成形品及び2次成形品に共通の寸法とする。

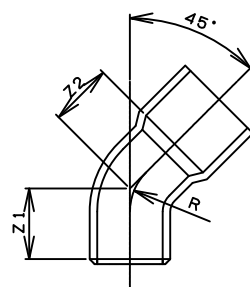
3. ゴム輪受口は、取付け管形とする。

45度曲管

ゴム輪受口 (略号 45SR)



接着受口 (略号 45ST)



(単位: mm)

呼び径	Z 1	Z 2		R (参考)	
		射出成形品	2次成形品	射出成形品	2次成形品
100	167	50	108	60	200
125	175	50	110	70	200
150	191	55	121	90	220
200	228	70	151	110	280

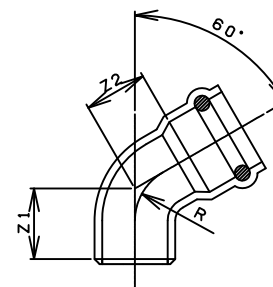
注1. Z1及びZ2の許容差は、±15 mmとする。

2. Z1は、射出成形品及び2次成形品に共通の寸法とする。

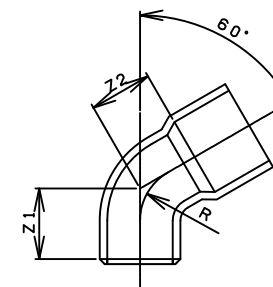
3. ゴム輪受口は、取付け管形とする。

60度曲管

ゴム輪受口 (略号 60SR)



接着受口 (略号 60ST)



(単位: mm)

呼び径	Z 1	Z 2		R (参考)	
		射出成形品	2次成形品	射出成形品	2次成形品
100	199	70	141	60	200
125	207	70	143	70	200
150	227	75	157	90	220
200	274	90	199	110	280

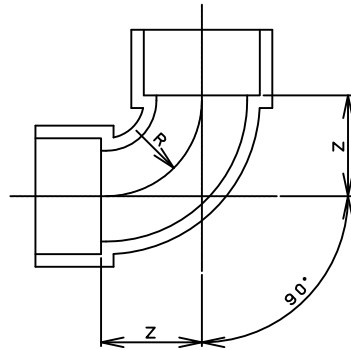
注1. Z1及びZ2の許容差は、±15 mmとする。

2. Z1は、射出成形品及び2次成形品に共通の寸法とする。

3. ゴム輪受口は、取付け管形とする。

90度曲管

(略号 90ST)



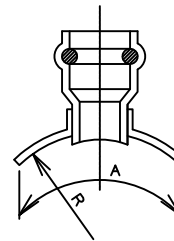
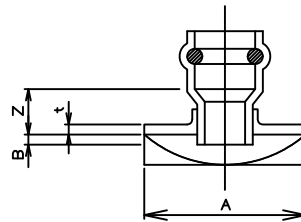
(単位: mm)

呼び径	Z	R (参考)
100	128	128
125	140	140
150	170	170
200	196	196
250	225	225
300	250	250

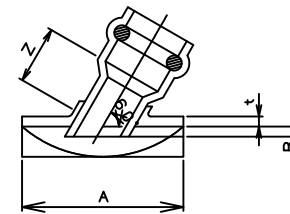
注1. Zの許容差は、±15mmとする。

硬質塩化ビニル管用90度及び60度支管

90度 (略号 90SVR)



60度 (略号 60SVR)



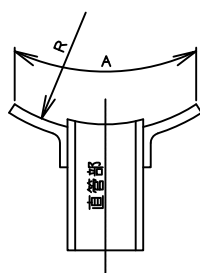
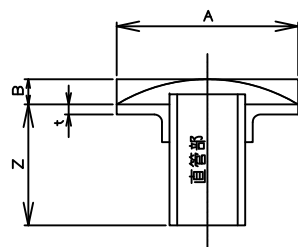
(単位: mm)

呼び径	Z		t (最小)	A (最小)	B (最小)	R
	90度	60度				
200-100	45	80	4	300	6.5	108.0
200-125	45	85				
200-150	50	95				
250-100	45	80	4	300	7.8	133.5
250-125	45	85				
250-150	50	95				
250-200	50	110	4	300	9.2	159.0
300-100	45	80				
300-125	45	85				
300-150	50	95				
300-200	50	110				

- 注1. 呼び径は、「本管呼び径-取付け管呼び径」である。
 2. t, A, B, Rは、90度及び60度支管に共通の寸法とする。
 3. Zの許容差は、±15mmとする。
 4. Rは、標準値を示す。
 5. 受口は、取付け管形とする。

副管用90度支管

(略号 VS)



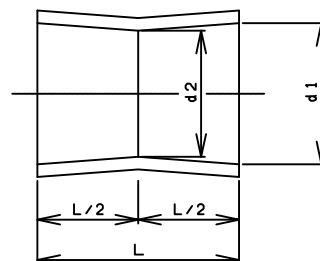
(単位: mm)

呼び径	Z	t (最小)	A (最小)	B (最小)	R
150-100	120	4	250	5.1	82.5
200-125	120	4	300	6.5	108.0
200-150	140				
250-125	120				
250-150	140	4	300	7.8	133.5
250-200	160				
300-150	140				
300-200	160	4	300	9.2	159.0

- 注1. 呼び径は、「本管呼び径-取付け管呼び径」である。
 2. Zの許容差は、±10mmとする。
 3. Rは、標準値を示す。

本管用カラー

(略号 WTA)



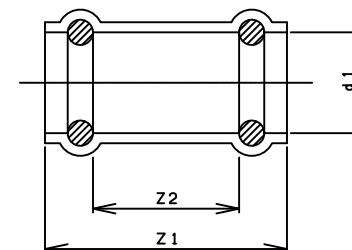
(単位: mm)

本管用			
呼び径	L	d1	d2
200	230	217.4	214.6
250	280	268.6	265.4
300	330	319.8	316.2

注1. L許容差は±20mmとする。

ゴム輪受口カラー

(略号 WR)



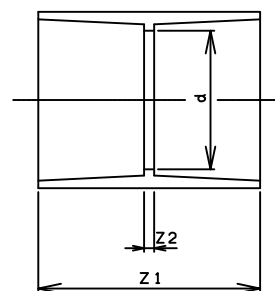
(単位: mm)

呼び径	Z1 (最大)	Z2 (最小)	d1 (最小)
100	180	66	144.5
125	200	76	140.6
150	220	86	165.7
200	250	107	216.9

注1. d1の寸法は、本管形と同一である。

接着受口カラー

(略号 WTB)



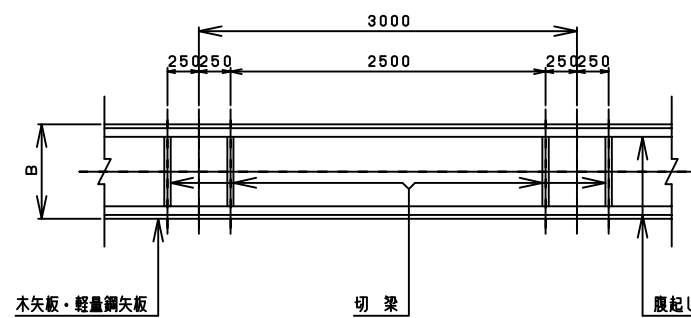
(単位: mm)

呼び径	Z1	Z2	d (参考)
100	105	5	107
125	135	5	131
150	165	5	154
200	235	5	202
250	276	5	250
300	307	5	298

- 注1. Z1の許容差は、呼び径75~150は±10mm、呼び径200~300は±20mmとする。
 2. Z2の許容差は、±2mmとする。

土留工詳細図（建込工法）

平面図



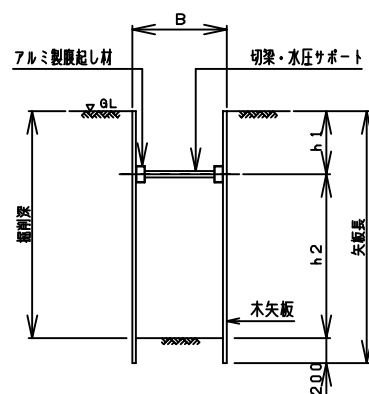
土留工一覧表

矢板 種別	掘削 深 (m)	矢板 長 (m)	矢板 厚さ (cm)	ア腹厚 ル起さ ミ製 (cm)	切梁 段数	切梁・水 圧サポ ート (m)	h1 (m)	h2 (m)	h3 (m)	h4 (m)	摘 要
木 矢 板	1.30	1.50	3.0	11	1	0.45φ2.10	0.50	0.80			
	1.51~1.60	1.80	3.0	11	1	0.45φ2.10	0.50	1.10			
	1.61~1.90	2.10	4.5	11	1	0.45φ2.10	0.50	1.40			
	1.91~2.20	2.40	4.5	7, 11	2	0.45φ2.10	0.50	0.60	1.10		
	2.21~2.50	2.70	4.5	7, 11	2	0.45φ2.10	0.50	1.00	1.00		
軽 量 鋼 矢 板	2.51~2.70	3.00		11, 11	2	0.45φ2.10	0.50	1.10	1.10		
	2.71~3.20	3.50		11, 11	2	0.45φ2.10	0.50	1.40	1.30		
	3.21~3.70	4.00		11, 11, 11	3	0.45φ2.10	0.50	1.00	1.10	1.10	

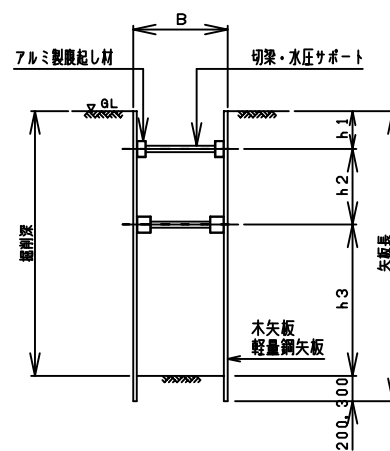
注1. 矢板長は1.50mは、特殊条件下（隣接家屋への影響）で使用する。

断面図

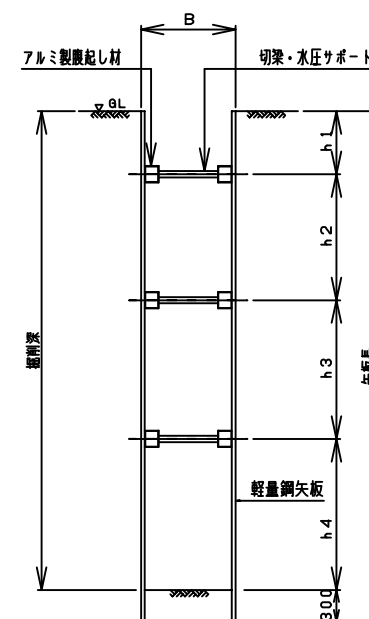
支保1段



支保2段

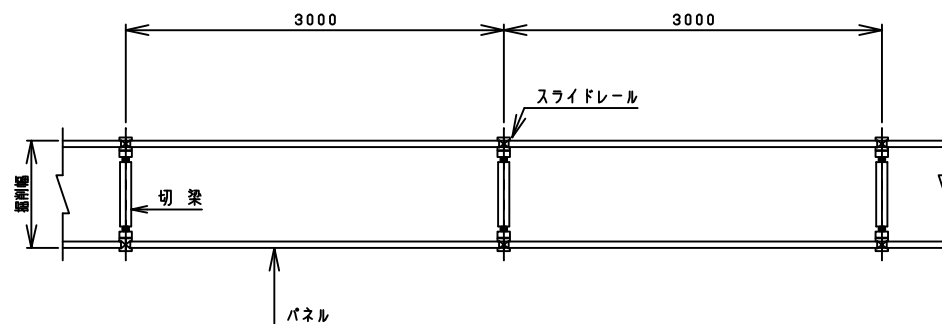


支保3段

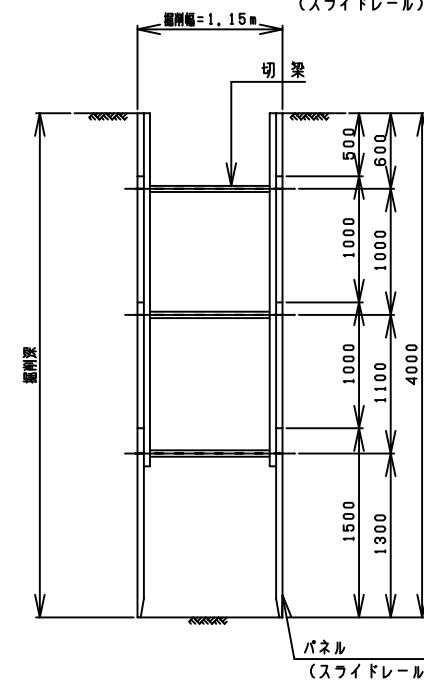
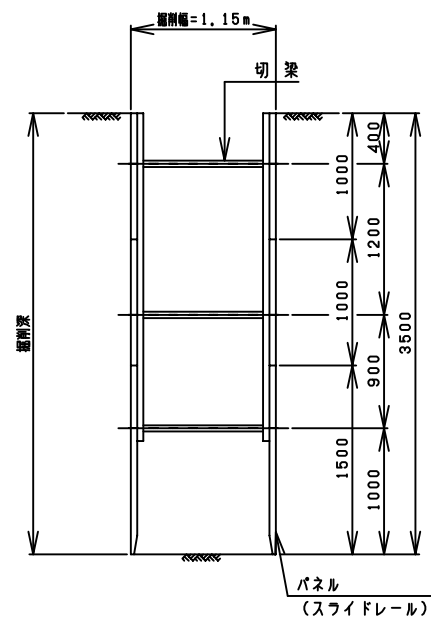
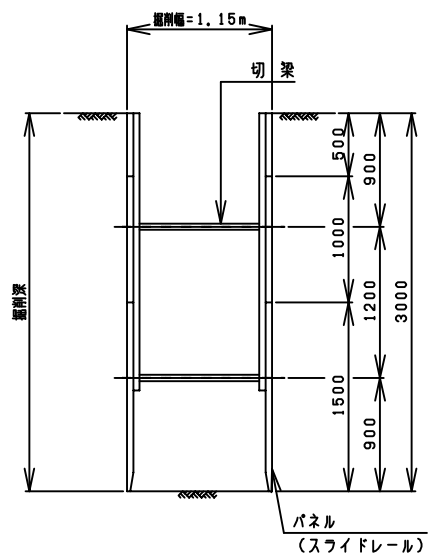
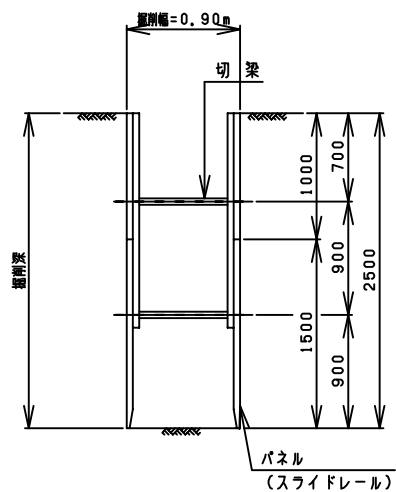
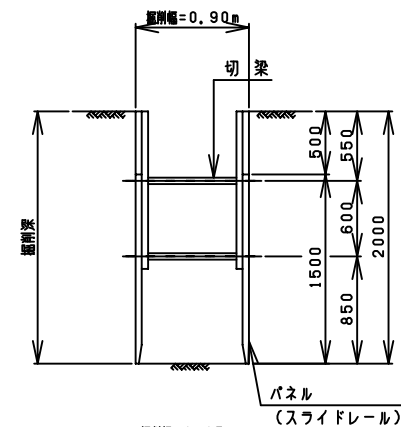
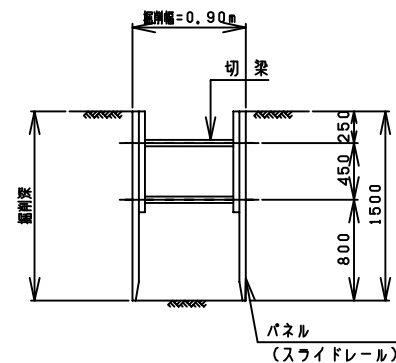


土留工詳細図（建込簡易土留工法）

平面図

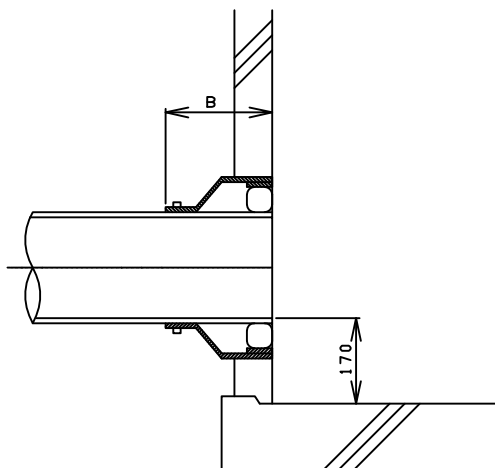


断面図



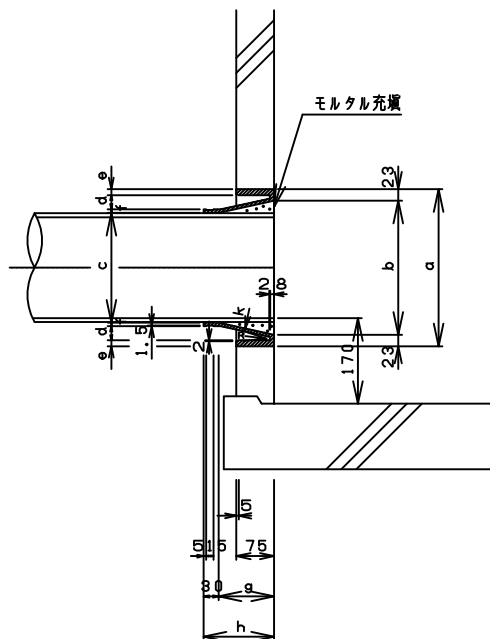
マソホール用可とう性継手

先付タイプ



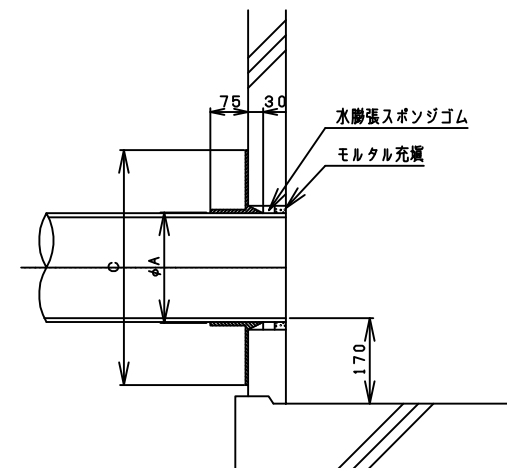
呼び径	B	穿孔径
150	152	259
200	152	309
250	203	358
300	203	409

先付タイプ



呼び径	a	b	c	d	e	f	g	h	k
150	260	214	167	28.5	11	7	110	140	6
200	312	266	218	28	12	7	110	140	6
250	364	318	270	27	12	8	110	140	7

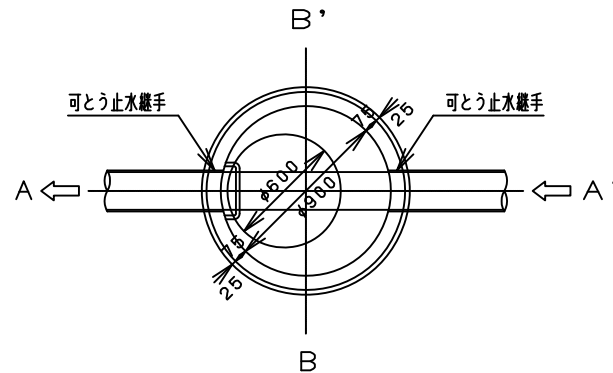
後付タイプ



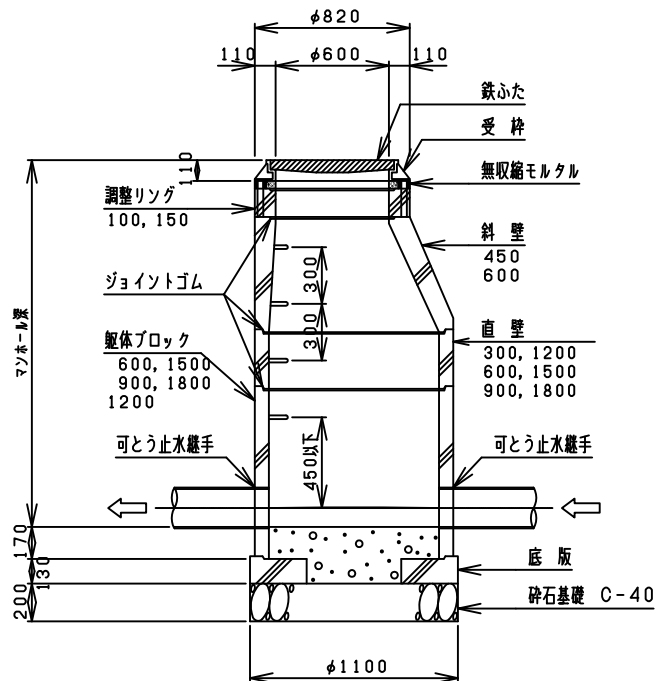
呼び径	φA	C	穿孔径
150	168	395	195
200	219	466	246
250	270	517	297
300	321	578	348

1号マンホール (φ900) S=1:40

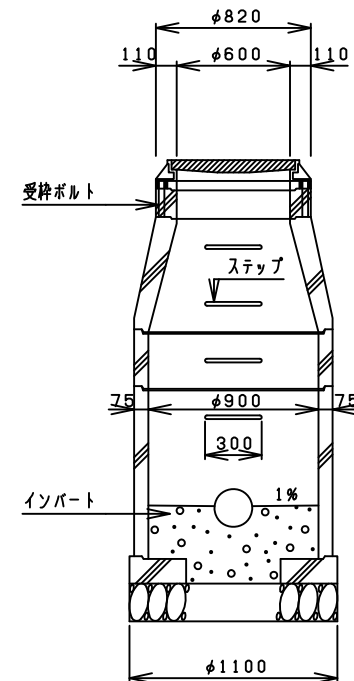
平面図



A-A' 断面図



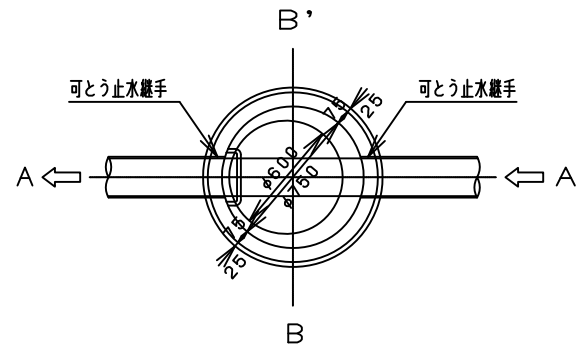
B-B' 断面図



- 注1. ステップ位置及び鉄ふたの蝶番位置は、原則として下流側に設置する。
 2. 調整リングは道路のオーバーレイ等を考慮し、10cm以上とする。
 3. 斜壁は道路のオーバーレイ等を考慮し、450h以上を使用する。
 4. 無収縮モルタルの調整高は、3cm以上とし、3~10cmを1回の打設高さとする。
 また、10cmを超える場合は2度打ちとし、最高20cmとする。
 5. 各ブロックの継ぎ手部の接合構造は、連結金具を用いた構造とする。

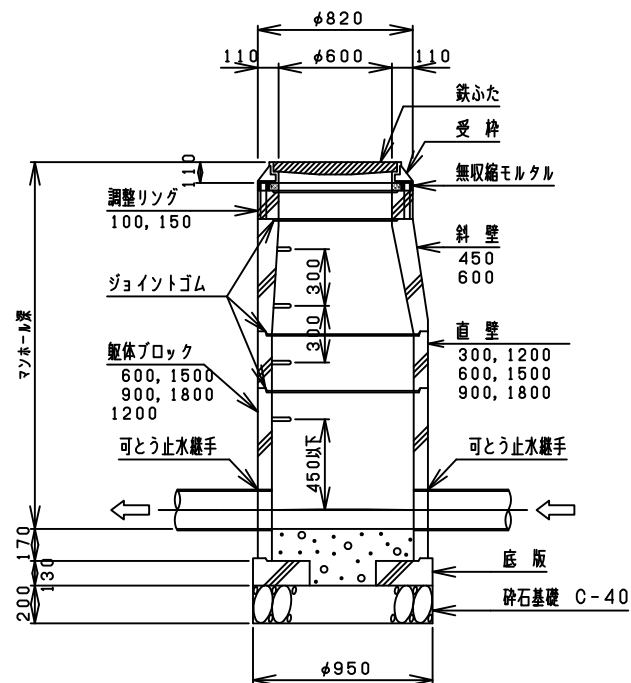
0号マンホール (φ750) S=1:40

平面図

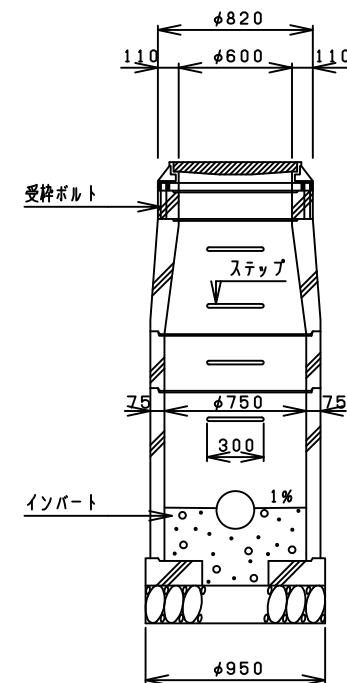


- 注1. ステップ位置及び鉄ふたの蝶番位置は、原則として下流側に設置する。
- 注2. 調整リングは道路のオーバーレイ等を考慮し、10cm以上とする。
- 注3. 斜壁は道路のオーバーレイ等を考慮し、450h以上を使用する。
- 注4. 無収縮モルタルの調整高は、3cm以上とし、3~10cmを1回の打設高さとする。
また、10cmを超える場合は2度打ちとし、最高20cmとする。
- 注5. 各ブロックの継ぎ手部の接合構造は、連結金具を用いた構造とする。

A-A' 断面図

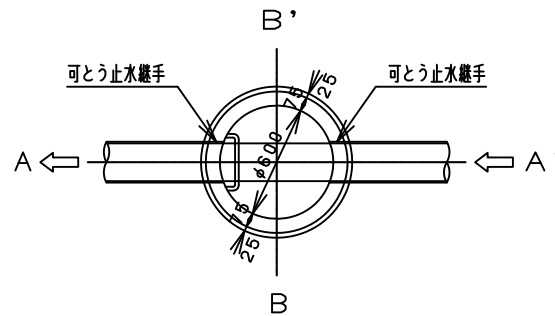


B-B' 断面図

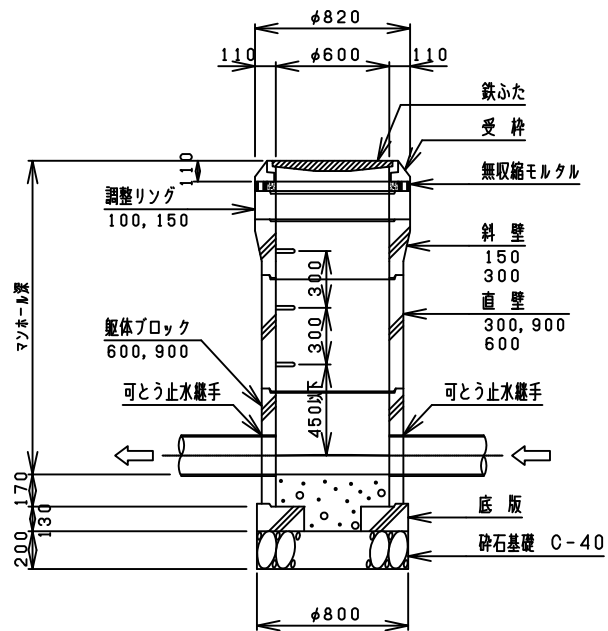


Y号マンホール (φ600) $s=1:40$

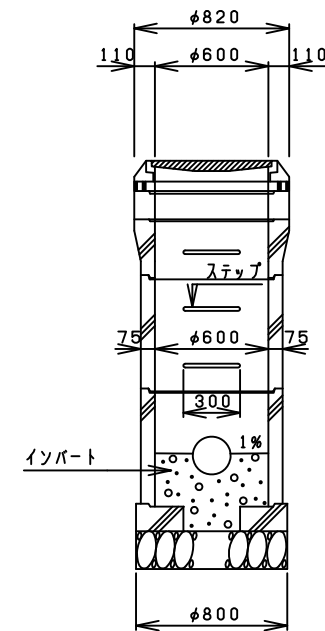
平面図



A-A' 断面図



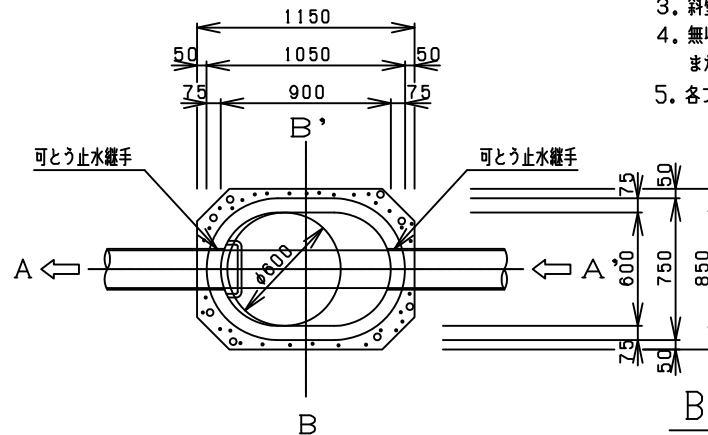
B-B' 断面図



- 注1. ステップ位置及び鉄ふたの蝶番位置は、原則として下流側に設置する。
 2. 調整リングは道路のオーバーレイ等を考慮し、10 cm以上とする。
 3. 無収縮モルタルの調整高は、3 cm以上とし、3～10 cmを1回の打設高さとする。
 また、10 cmを超える場合は2度打ちとし、最高20 cmとする。
 4. 各ブロックの継ぎ手部の接合構造は、連結金具を用いた構造とする。

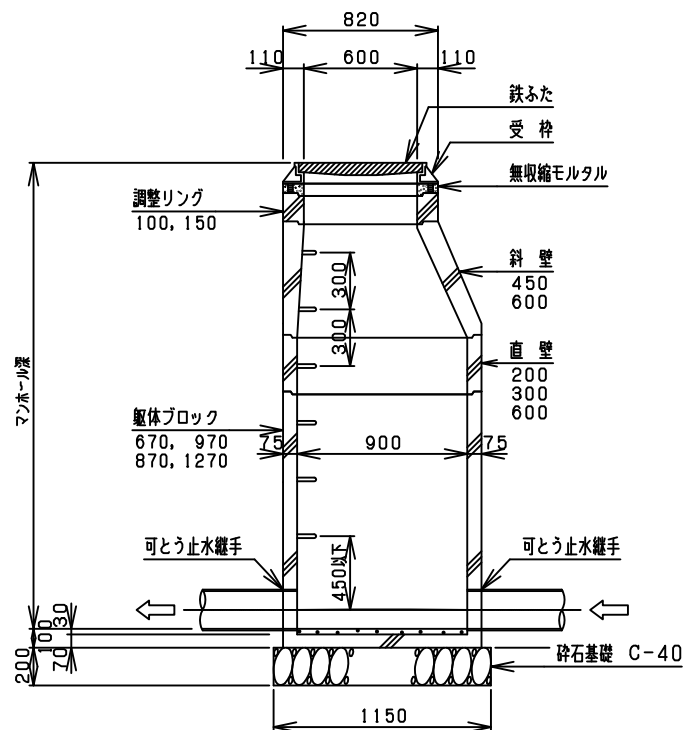
A1号マンホール(φ600×900) S=1:40

平面図

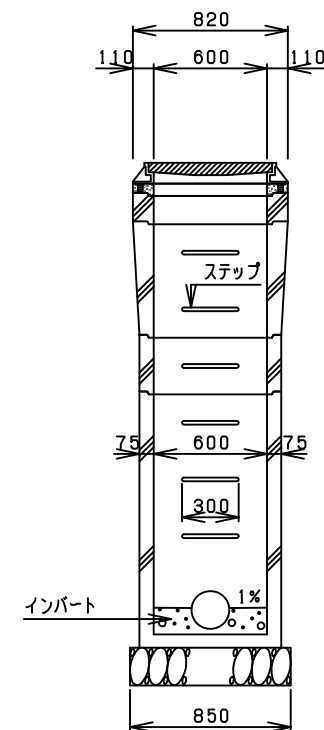


- 注1. ステップ位置及び鉄ふたの蝶番位置は、原則として下流側に設置する。
 2. 調整リングは道路のオーバーレイ等を考慮し、10cm以上とする。
 3. 斜壁は道路のオーバーレイ等を考慮し、450h以上を使用する。
 4. 無収縮モルタルの調整高は、3cm以上とし、3～10cmを1回の打設高さとする。
 また、10cmを超える場合は2度打ちとし、最高20cmとする。
 5. 各ブロックの継ぎ手部の接合構造は、連結金具を用いた構造とする。

A-A' 断面図

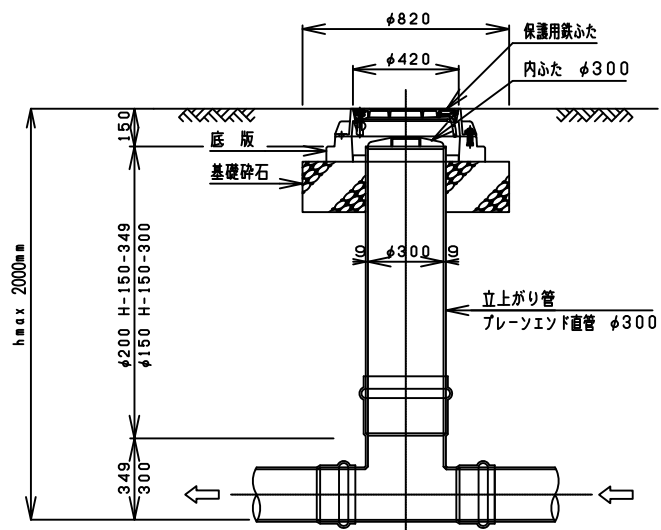


B-B' 断面図

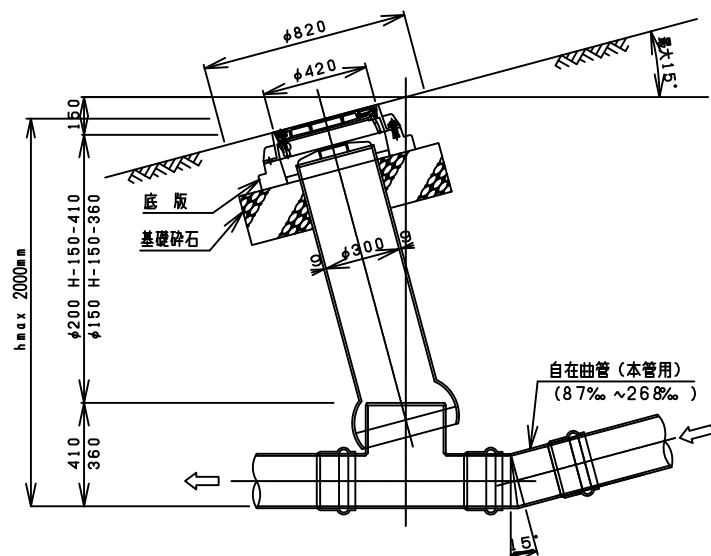


塩ビ製マンホール（１） $S=1:30$

標準タイプ

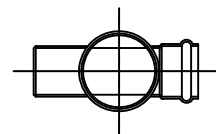


斜面タイプ

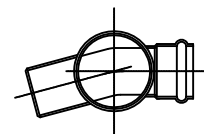


曲がりタイプ

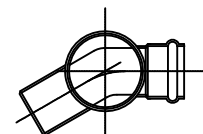
ストレート



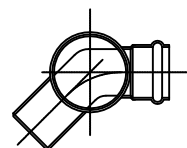
15°曲がり（R・L）



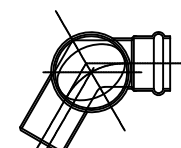
30°曲がり（R・L）



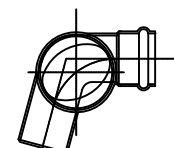
45°曲がり（R・L）



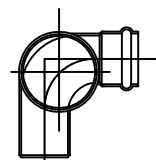
60°曲がり（R・L）



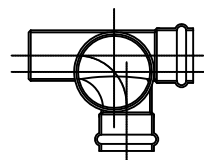
75°曲がり（R・L）



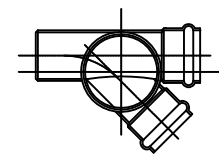
90°曲がり（R・L）



90°Y（R・L）

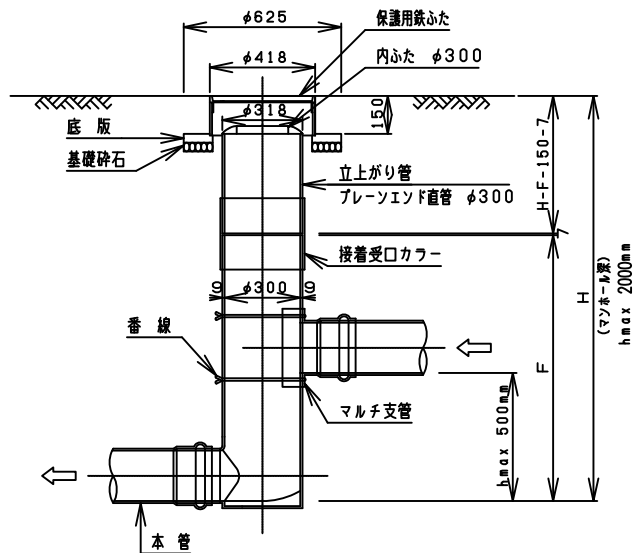


45°Y（R・L）

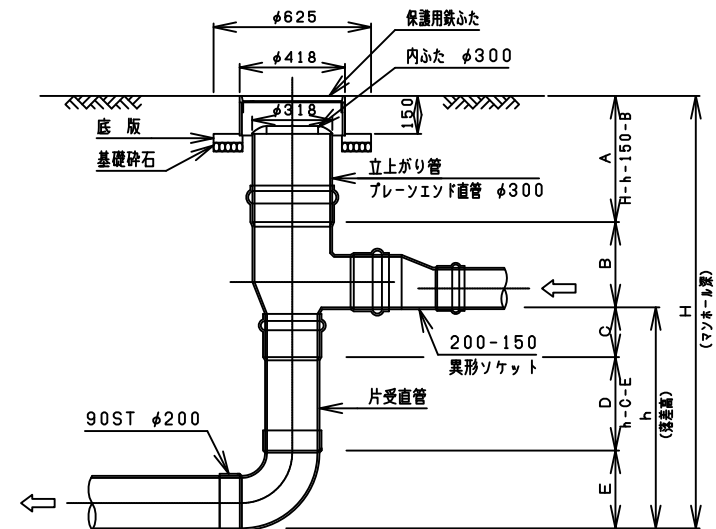


塩ビ製マンホール（2） S=1：30

マルチタイプ



ドロップタイプ



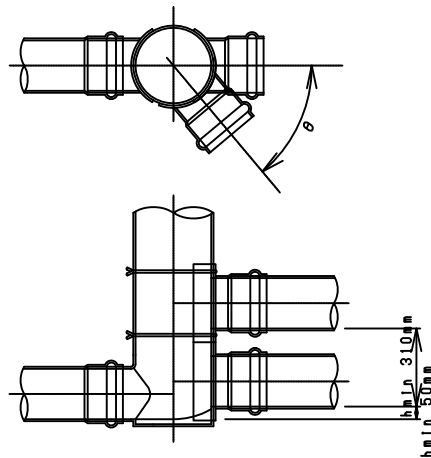
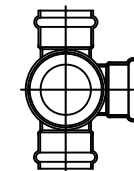
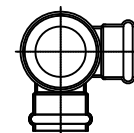
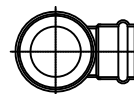
フリーインバート

ドロップ

2WAY90°

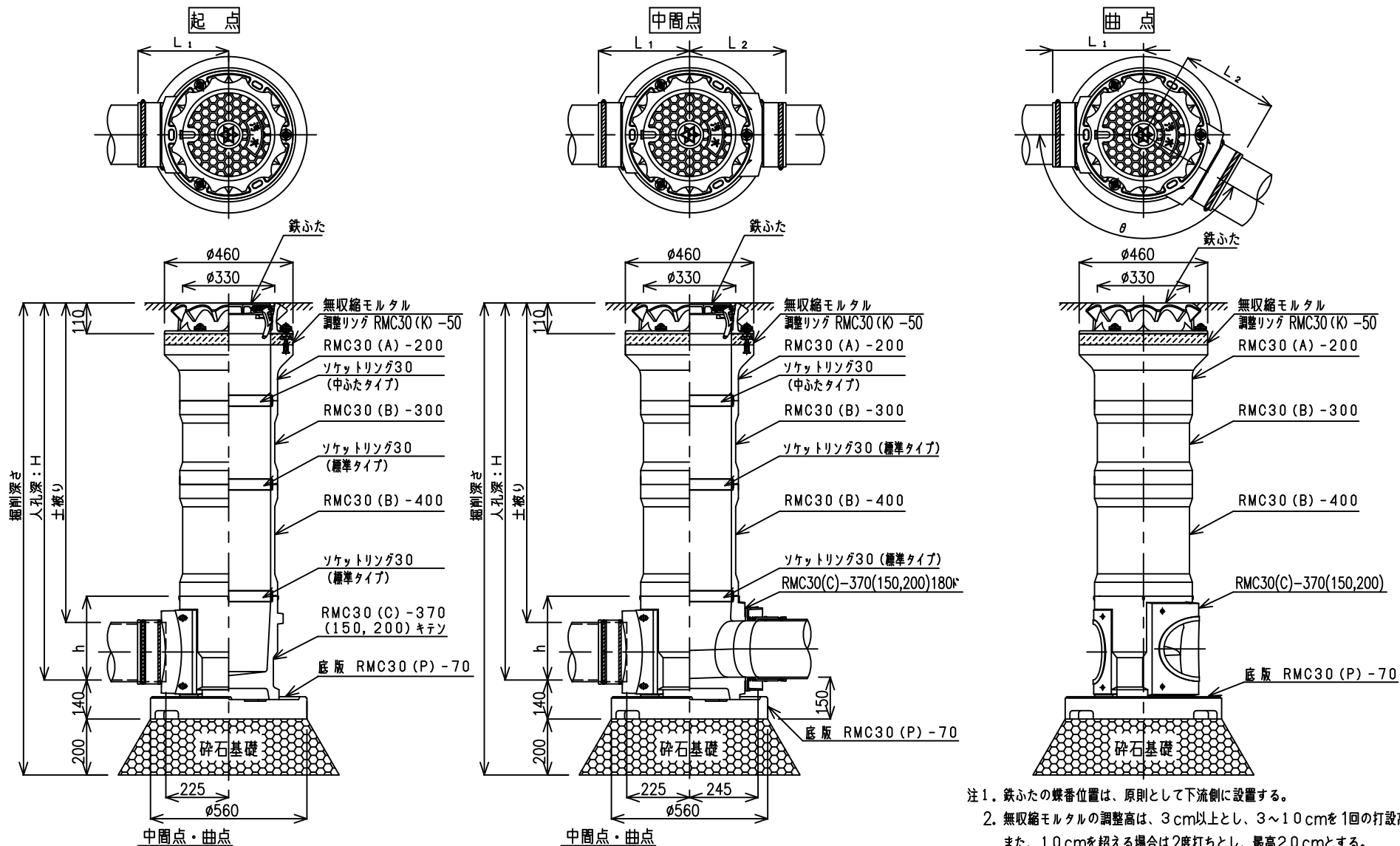
2WAY180°

クロス



	管 径	B ドロップインバート	C ドロップインバート	E 90° 曲管	F マルチインバート	θ max
ドロップタイプ	150	300	167	245	—	—
	200	349	187	296	—	—
マルチタイプ	150	—	—	—	910	90°
	200	—	—	—	1055	—

レジソマンホール設置標準図（その1）



注1. 鉄ふたの蝶番位置は、原則として下流側に設置する。

2. 無収縮モルタルの調整高は、3cm以上とし、3～10cmを1回の打設高さとする。
また、10cmを超える場合は2度打ちとし、最高20cmとする。

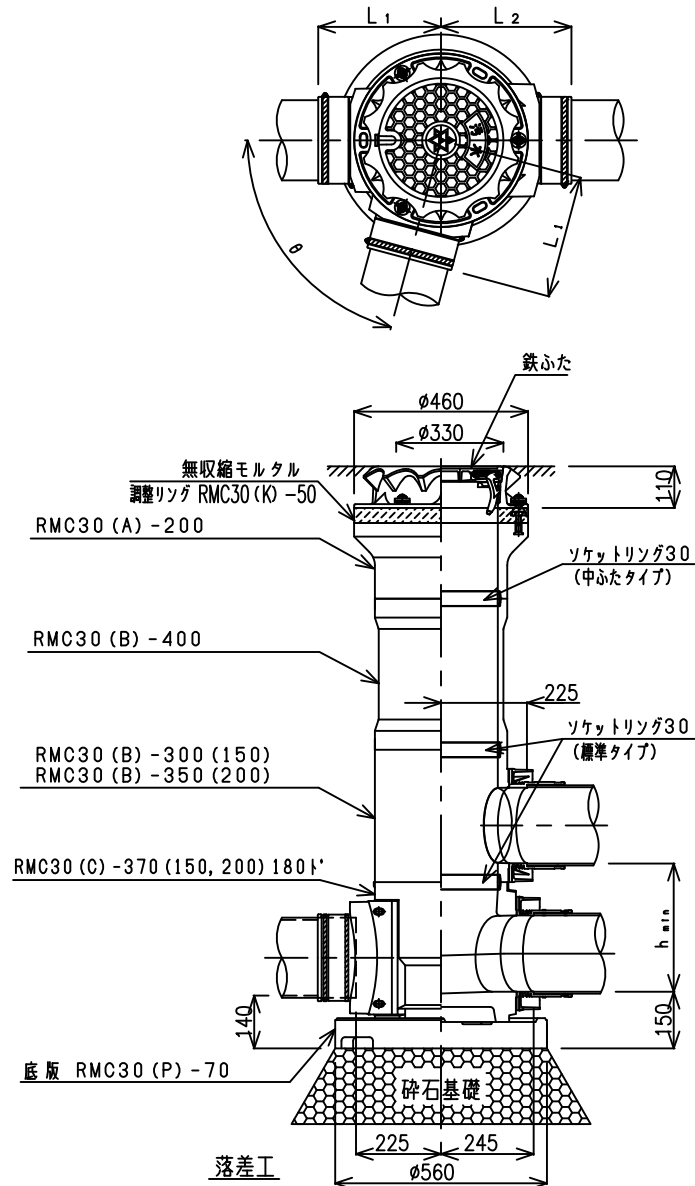
[illegible]

レジンマンホール設置標準図（その2）

落差Ⅰ

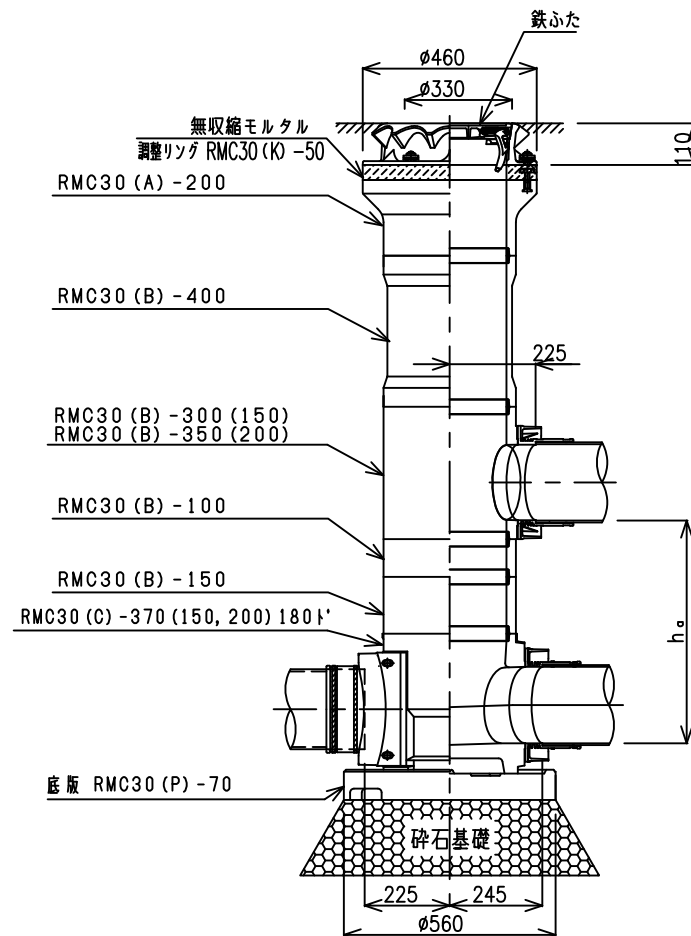
注1. 鉄ふたの蝶番位置は、原則として下流側に設置する。

2. 無収縮モルタルの調整リソダ RMC30 (K) -50
また、10 cmを超える場合は2度打ちとし、最高20 cmとする。

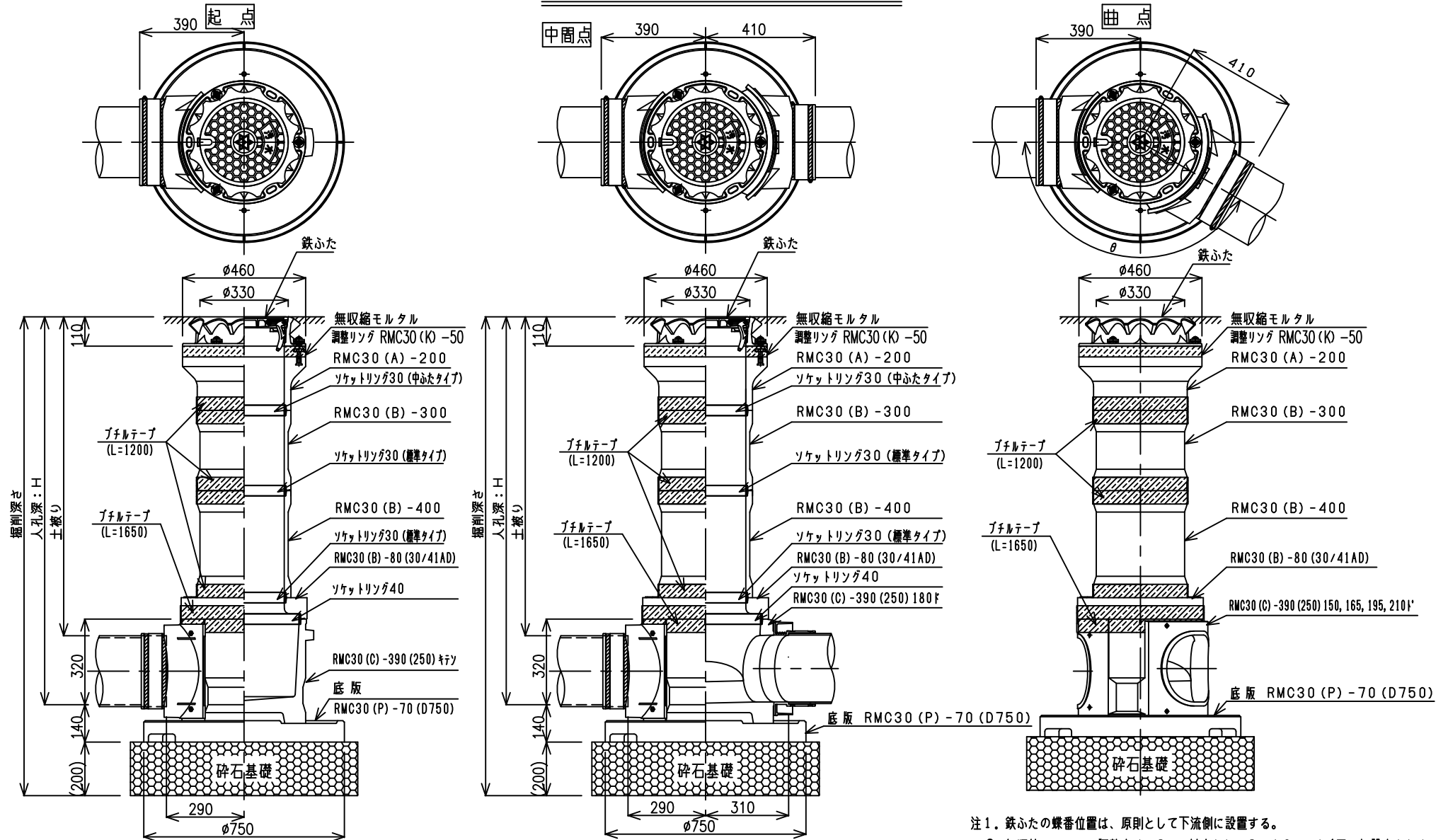


落差Ⅰ

管径	高所流入ブロック				最小落差 h_{min}	落差 h_a	屈曲角度 (θ)
	名称	L_1	L_2				
$\phi 150$	RMC30 (B) - 300 (150)	225	345	350	$350 \pm 50 \times (\alpha = 0, 1, \dots)$	$0^\circ \sim 360^\circ$	
$\phi 200$	RMC30 (B) - 350 (200)	225	345	350	$350 \pm 50 \times (\alpha = 0, 1, \dots)$	$0^\circ \sim 360^\circ$	



レジンマンホール設置標準図（その3）



- 注1. 鉄ふたの蝶番位置は、原則として下流側に設置する。
 2. 無収縮モルタルの調整高は、3cm以上とし、3～10cmを1回の打設高とする。
 また、10cmを超える場合は2度打ちとし、最高20cmとする。

起点	
管きょ径	インバート タイプ名
φ250	RMC30 (C) -390 (250) キン

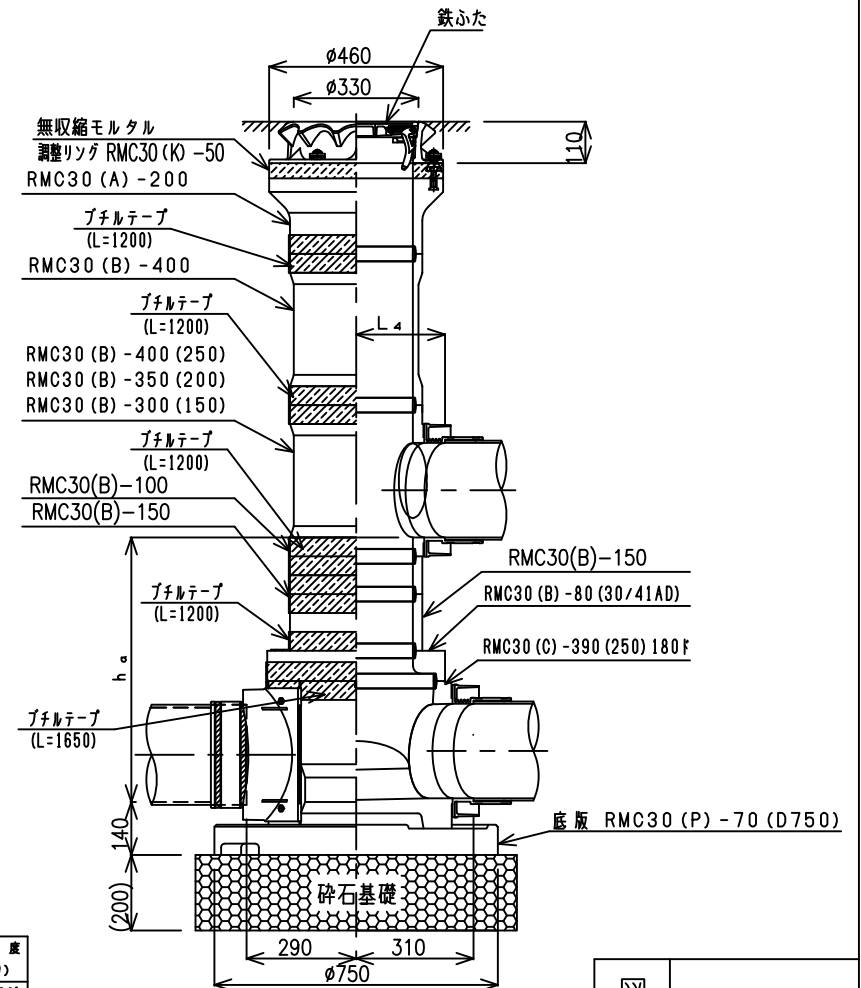
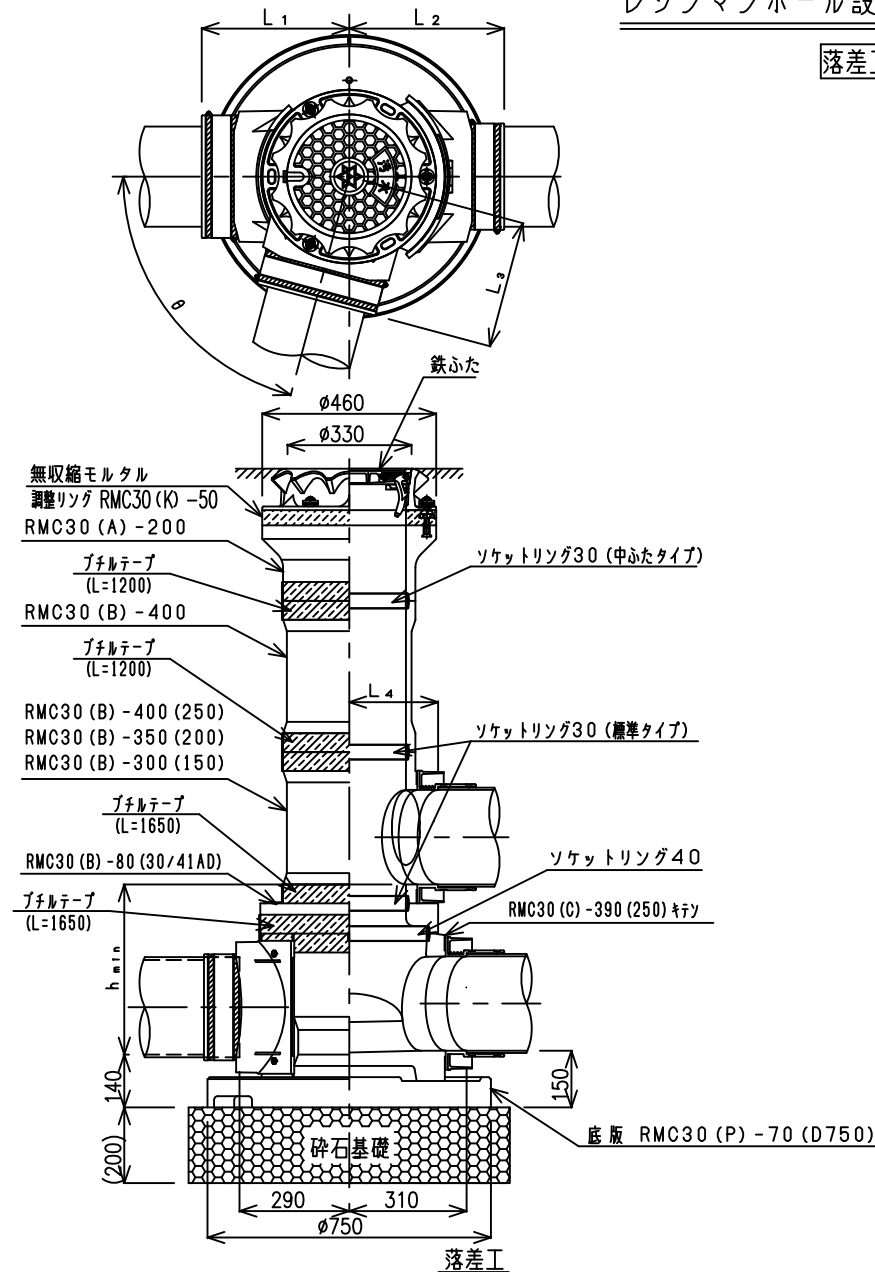
中周点・曲点		
管きょ径	インバート	可動角度 (θ)
	タイプ 名	
φ250	RMC30 (C) -390 (250) 150 F	142.5° ≤ θ < 157.5° 30° 曲がり
	RMC30 (C) -390 (250) 165 F	157.5° ≤ θ < 172.5° 15° 曲がり
	RMC30 (C) -390 (250) 180 F	172.5° ≤ θ < 187.5° ストレート
	RMC30 (C) -390 (250) 195 F	187.5° ≤ θ < 202.5° 15° 曲がり
	RMC30 (C) -390 (250) 210 F	205.5° ≤ θ ≤ 217.5° 30° 曲がり

レジンマンホール設置標準図（その4）

落差Ⅰ

注1. 鉄ふたの蝶番位置は、原則として下流側に設置する。

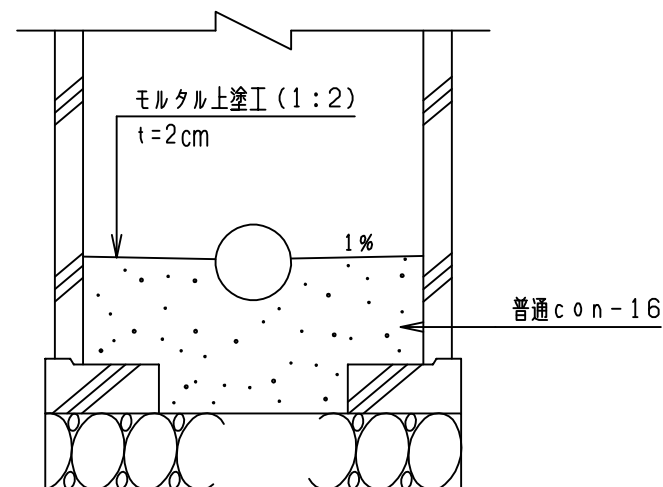
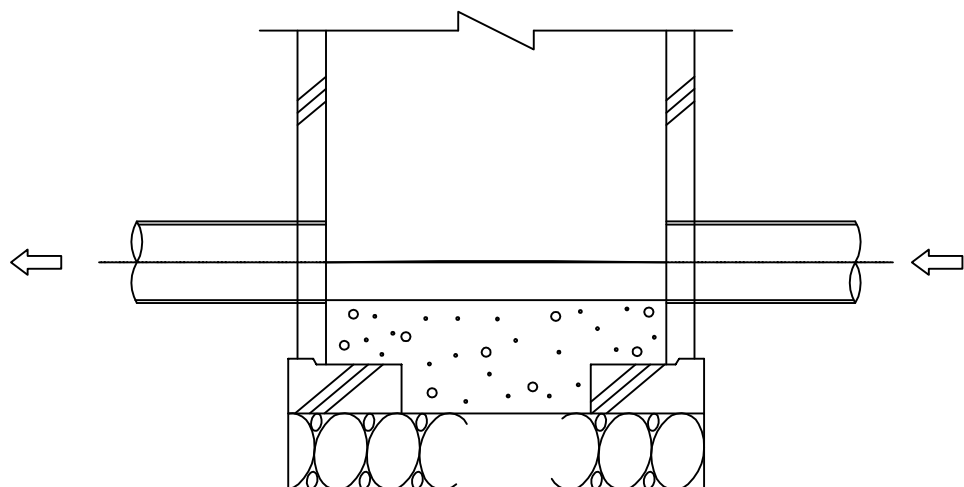
2. 無収縮モルタルの調整リング RMC30 (K) -50
RMC30 (A) -200
また、10 cmを超える場合は2度打ちとし、最高20 cmとする。



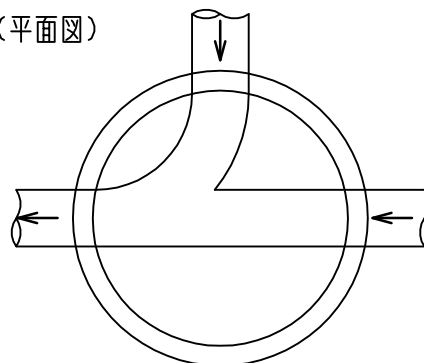
管径	高所流入用中間壁				最小落差 h _{min}	落差 h _a	角度 (°)
	タイプ名	L ₁	L ₂	L ₃			
φ150	RMC30 (B) -300 (150)	390	410	325	450	450±50 (α=0, L ₁ →)	0°~360°
φ200	RMC30 (B) -350 (200)			325			
φ250	RMC30 (B) -400 (250)			335			

インバート工図 S=1:20

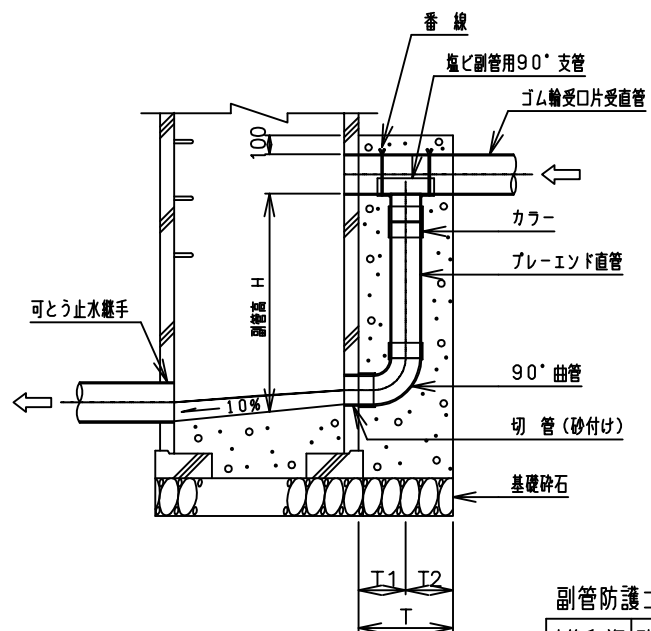
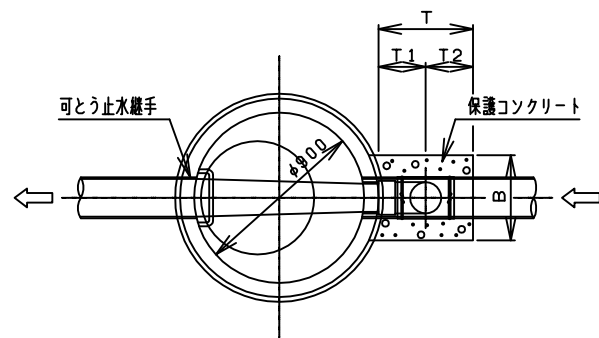
注1. 下水の円滑な流下を図るため、管路の接合、会合の状況に応じたインバートを設置すること。



(平面図)



外副管工 S=1:40
φ200以上

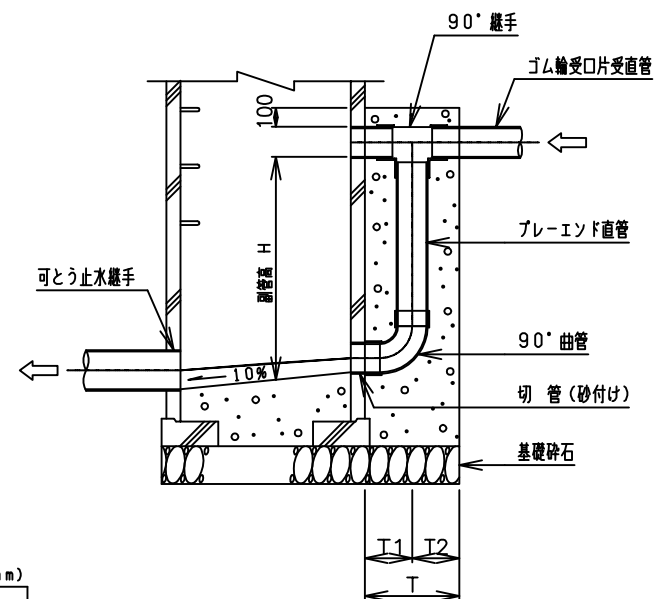
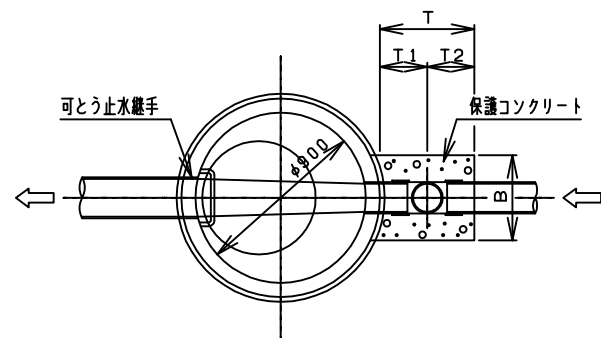


副管防護コンクリート寸法

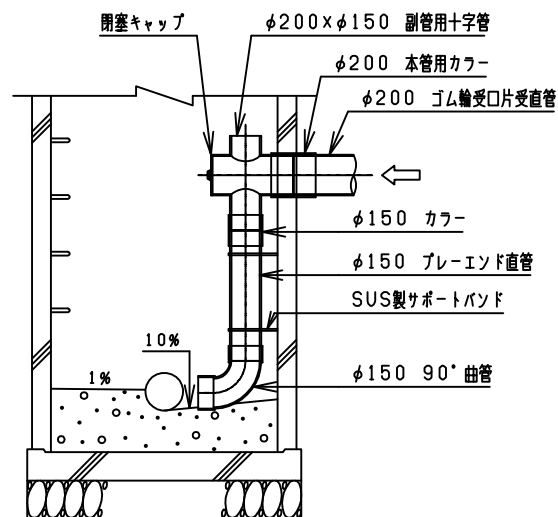
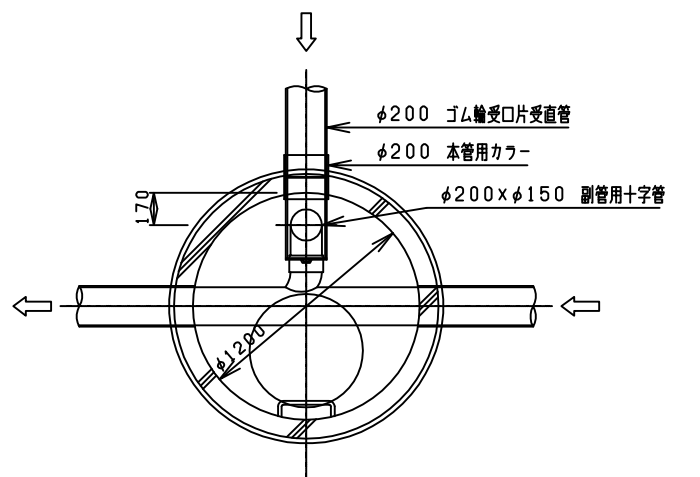
(単位: mm)

本管呼び径	副管呼び径	B	T	T ₁	T ₂
150	150	450	500	250	250
200	150	450	500	250	250
250	200	450	500	315	185
300	200	450	500	315	185

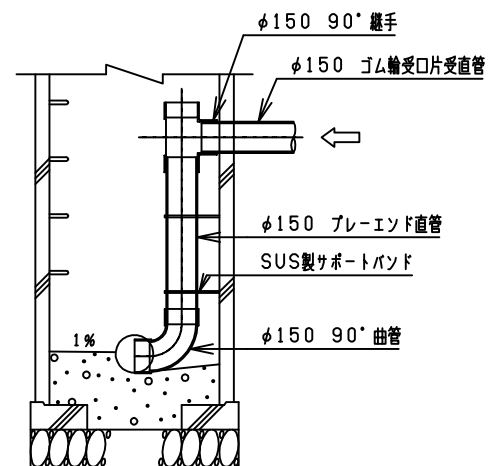
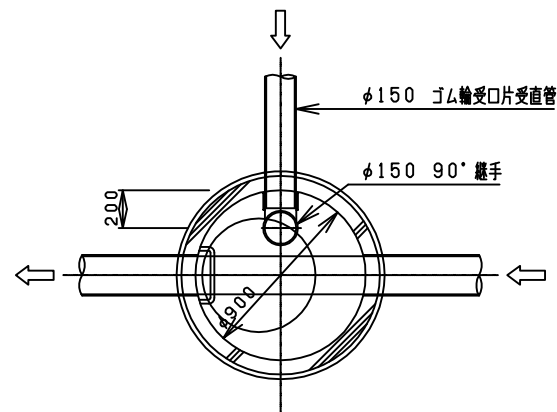
外副管工 S=1:40
φ150



内副管工 (1) $S=1:40$

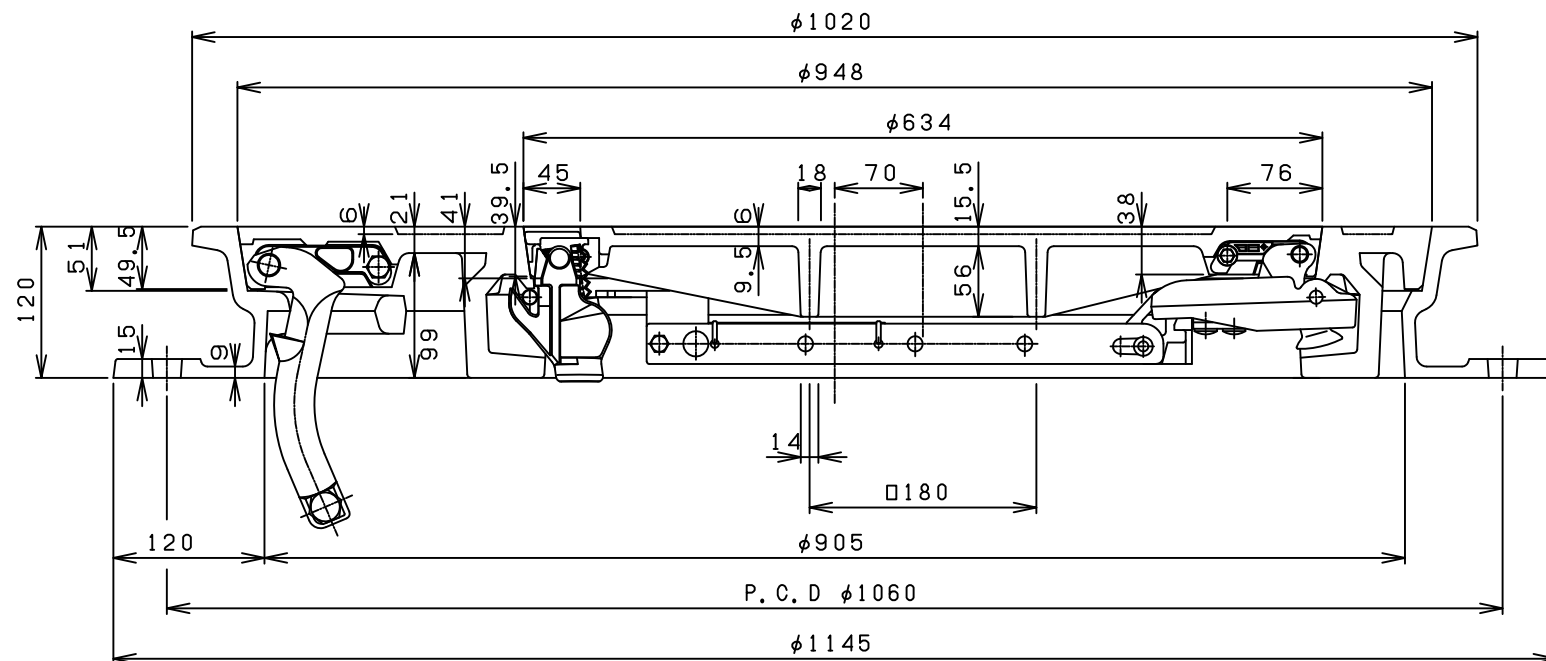


内副管工 (2) $S=1:40$



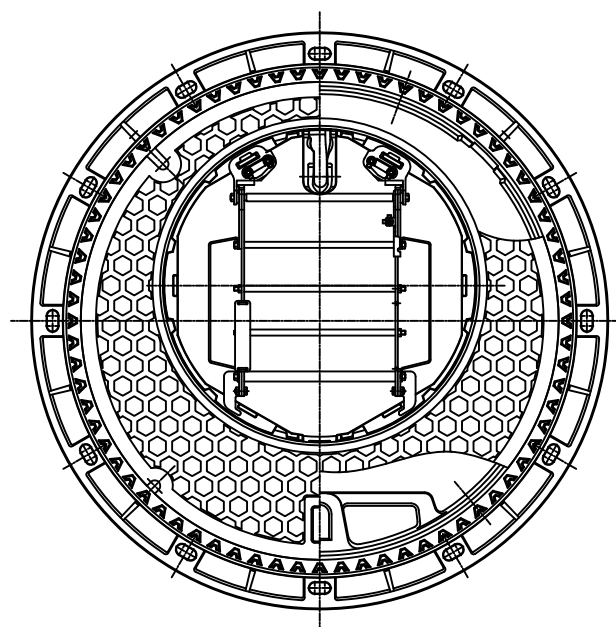
※当該図面は従来型の構造であり、その他にコンパクト型・バツフル型等あるので、実際の使用にあたっては協議を必要とする。

φ900マンホールふた（親子ふた）

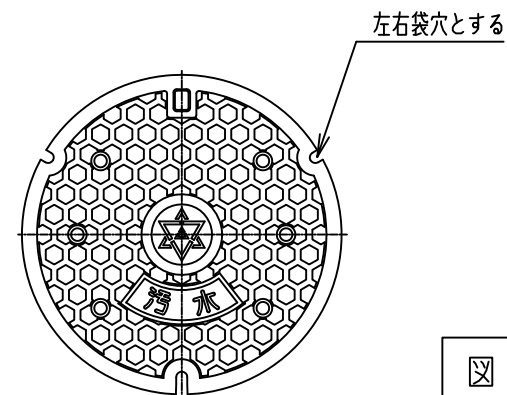


11	セイフティラダー（梯子）	SUS304他	1	
10	シールロック（親ふた）	FCD600他	2	ボルト・ユニット
9	ストッパ（親ふた）	FCD600	1	ボルト・ユニット
8	コネクタ（親ふた兼番）	FCD600	1	ボルト・ユニット
7	カバー（親ふた）	FCD700	1	
6	シールロック（子ふた）	FCD600他	1	ボルト・ユニット
5	コネクタガイド（子ふた）	FCD600	1	取付部品
4	ストッパ（子ふた）	ナイロン	1	ボルト・ユニット
3	コネクタ（子ふた兼番）	FCD600	1	
2	カバー（子ふた）	FCD700	1	
1	フレーム（枠）	FCD600	1	
品番	名 称	材 質	個 数	備 考
設 計	図 番	尺 度	年 月 日	
型式	T-25, T-14			
品名	MC* (WZ, G, 1001) 12Z-C-SN			

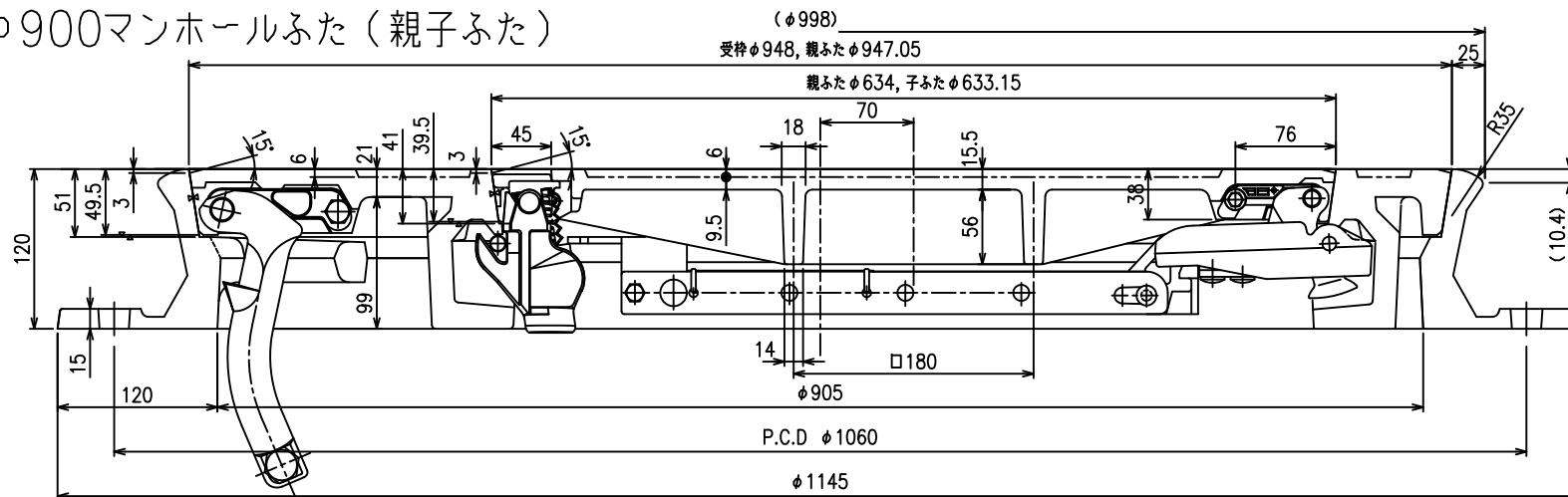
- 注1. 蓋枠と斜壁ブロックとの緊結ボルトは、M16（強度区分4.8）のボルト6本使用とする。
- 注2. 斜壁が組立てマンホール以外の場合は樹脂アンカーナット（SU S製）引張強度23.9kN以上の規格品を使用する。



※当該図面は参考図であり、実際の使用にあたっては福知山市型下水道用鑄鉄製マンホールふた及び防護ふた及び汚水ますふたの性能規定の適合品を使用すること。

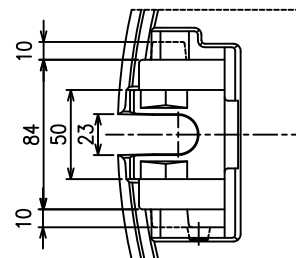


Φ900マンホールふた（親子ふた）

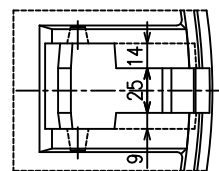


断面図

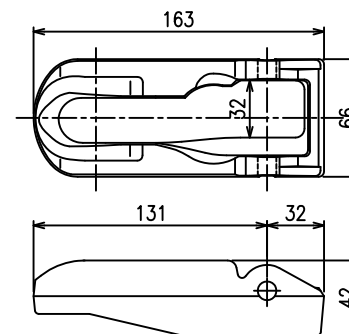
※当該図面は参考図であり、実際の使用にあたっては福知山市型下水道用鑄鉄製マンホールふた及び防護ふた及び汚水ますふたの性能規定の適合品を使用すること。



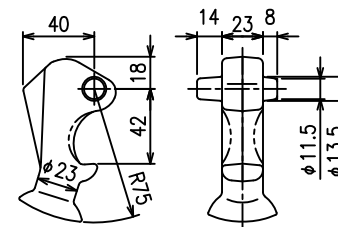
自動錠取付座詳細図



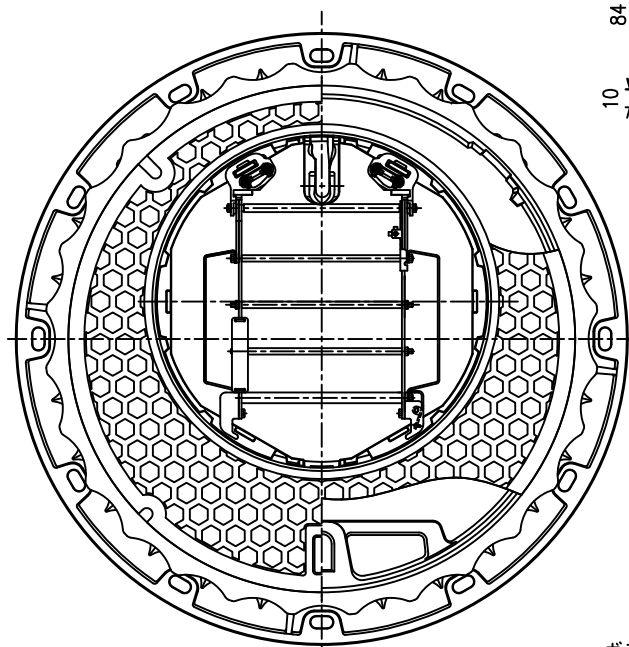
蝶番取付座詳細図



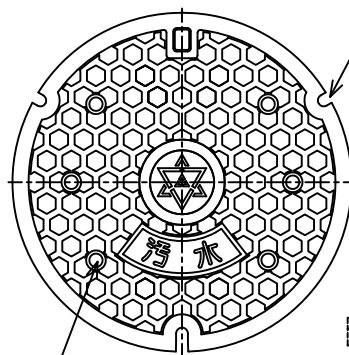
蝶番座詳細図



蝶番詳細図

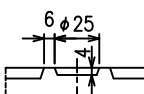


平面図

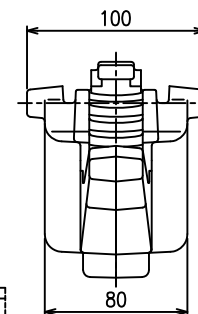


ガス穴ナシ

カバー（子ふた）平面図



ガス穴ナシ詳細



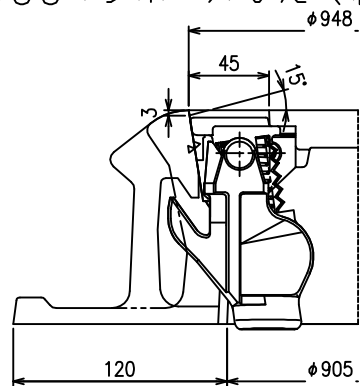
子ふた自動錠詳細図

11	転倒防止安全鎖子	SUS304他	1	
10	自動錠（親ふた）	FCD600他	2	ボルト・ナット
9	ストッパ（親ふた）	FCD600	1	ボルト・ナット
8	蝶番（親ふた）	FCD600	1	ボルト・ナット
7	カバー（親ふた）	FCD700	1	
6	自動錠（子ふた）	FCD600他	1	ボルト・ナット
5	蝶番（子ふた）	FCD600	1	取付部品
4	ストッパ（子ふた）	ナイロン	1	ボルト・ナット
3	蝶番（子ふた）	FCD600	1	
2	カバー（子ふた）	FCD700	1	
1	フレーム（枠）	FCD600	1	
品番	名称	材質	個数	備考

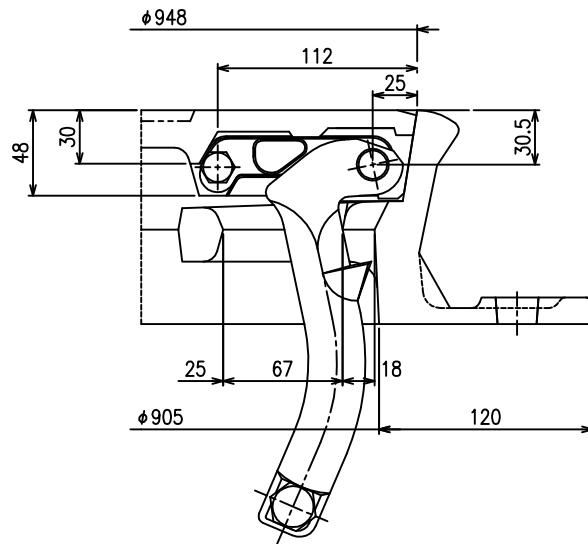
注1. 蓋枠と斜壁ブロックとの緊結ボルトは、M16（強度区分4.8）のボルト6本使用とする。

注2. 斜壁が組立てマンホール以外の場合は樹脂アンカーナット（SU S製）引張強度239kN以上の規格品を使用する。

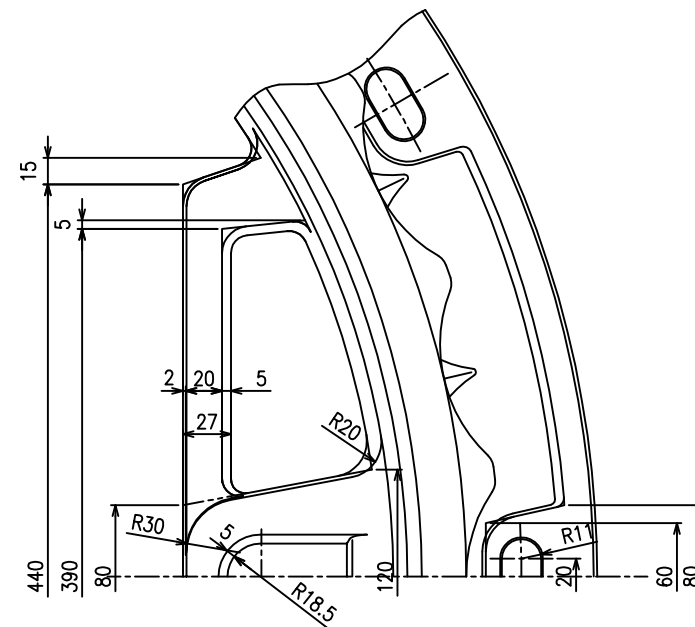
Φ900マンホールふた（親子ふた）



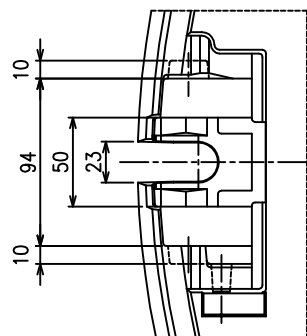
親ふた自動錠取付部詳細図



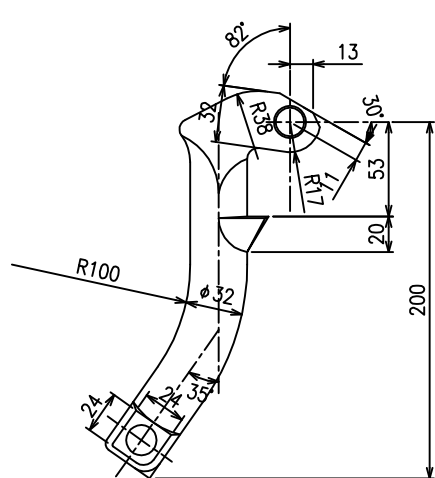
親ふた蝶番取付部詳細図



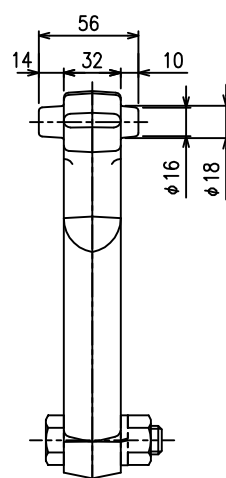
フレーム、蝶番取付部詳細



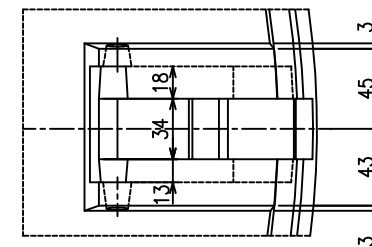
親ふた自動錠取付座詳細図



親ふた蝶番詳細図



親ふた自動錠詳細図



親ふた蝶番取付座詳細図

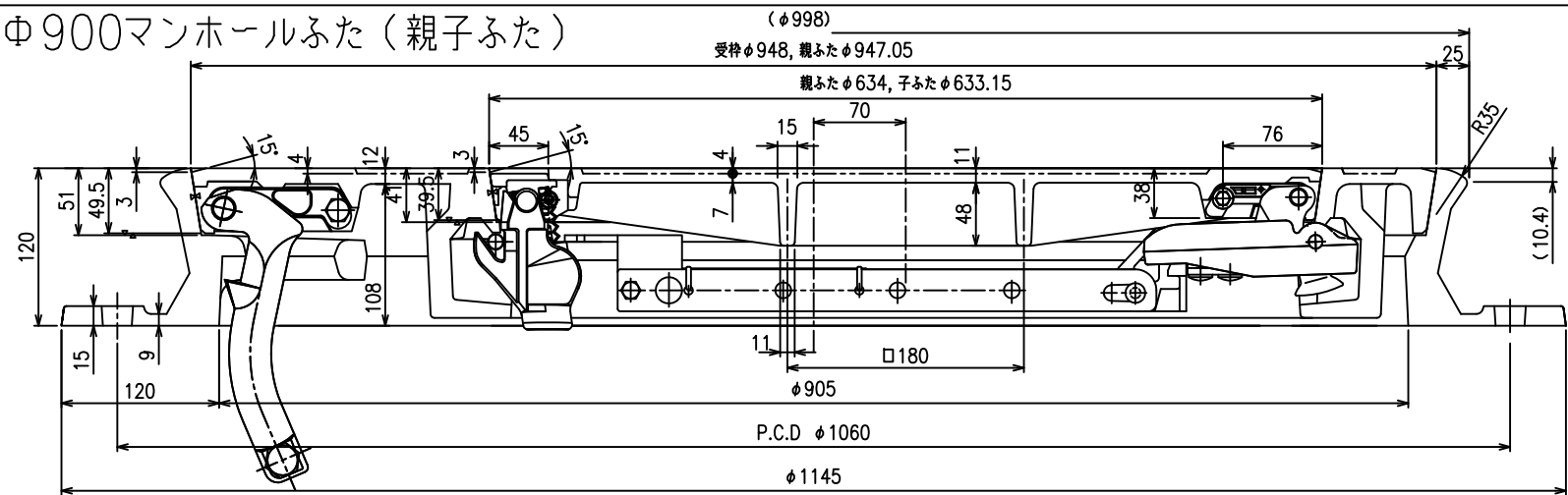
※当該図面は参考図であり、実際の使用にあたっては福岡山形型下水道用鑄鉄製マンホールふた及び防護ふた及び汚水ますふたの性能規定の適合品を使用すること。

T-25 除雪型

図
番

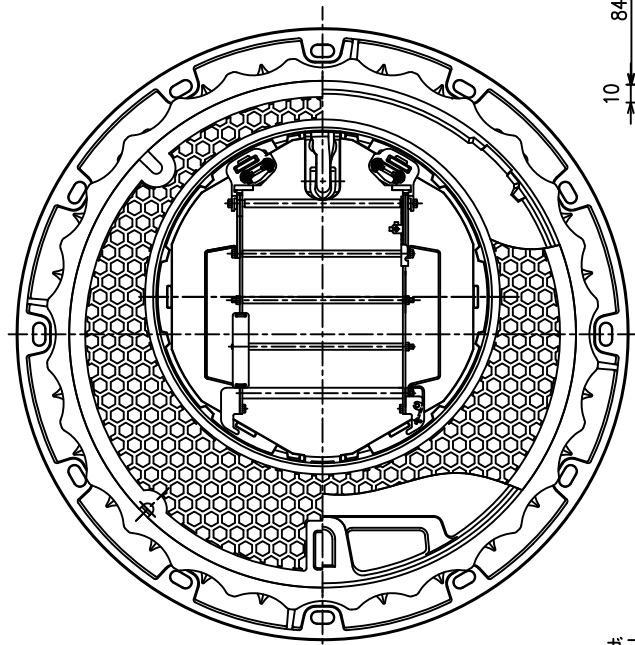
29

Φ900マンホールふた（親子ふた）

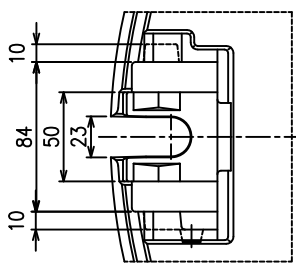


断面図

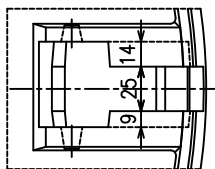
※当該図面は参考図であり、実際の使用にあたっては福知山市型下水道用鑄鉄製マンホールふた及び防護ふた及び汚水ますふたの性能規定の適合品を使用すること。



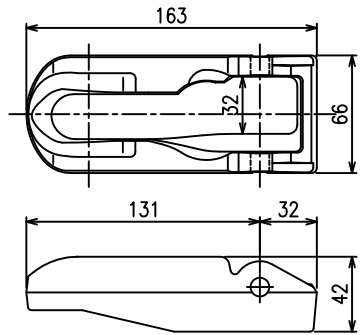
平面図



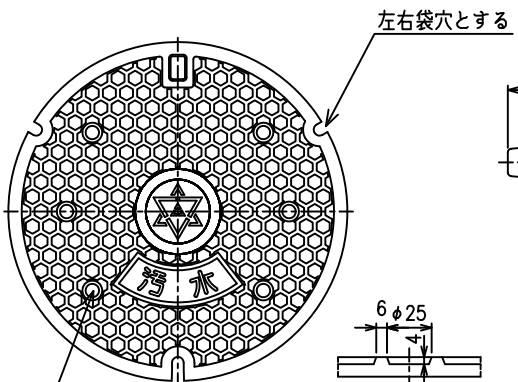
自動錠取付座詳細図



蝶番取付座詳細図

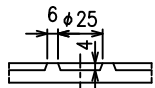


蝶番座詳細図

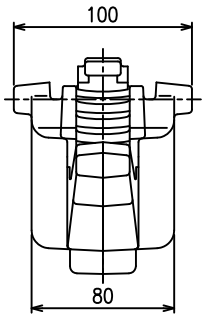


ガス穴ナシ

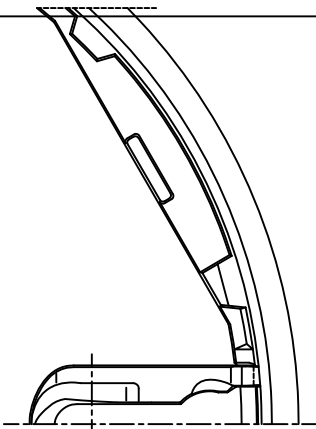
カバー（子ふた）平面図



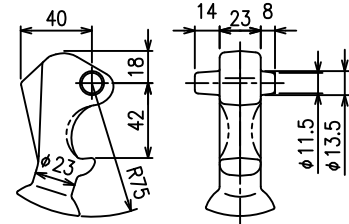
ガス穴ナシ詳細



子ふた自動錠詳細図



蝶番座取付詳細図

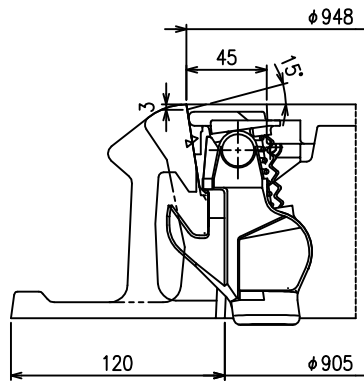


蝶番詳細図

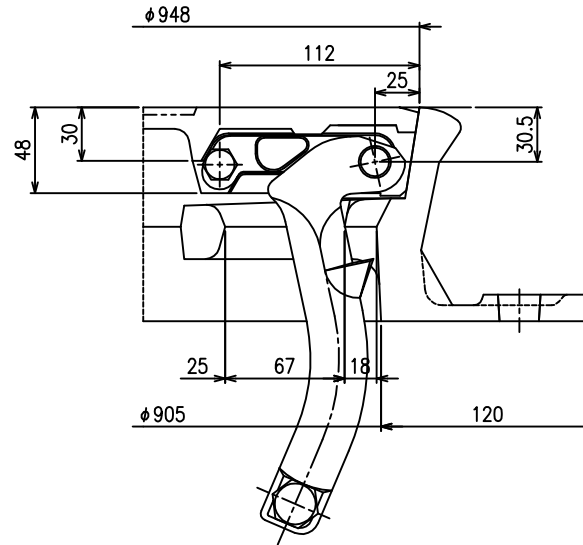
1	転倒防止安全楔子	SUS304他	1	
10	自動錠（親ふた）	FCD600他	2	ボルト・Uナット
9	ストッパ（親ふた）	FCD600	1	ボルト・Uナット
8	蝶番（親ふた）	FCD600	1	ボルト・Uナット
7	カバー（親ふた）	FCD700	1	
6	自動錠（子ふた）	FCD600他	1	ボルト・Uナット
5	蝶番（子ふた）	FCD600	1	取付部品
4	ストッパ（子ふた）	ナイロン	1	ボルト・Uナット
3	蝶番（子ふた）	FCD600	1	
2	カバー（子ふた）	FCD700	1	
1	フレーム（枠）	FCD600	1	
品番	名称	材質	個数	備考

注1. 蓋枠と斜壁ブロックとの緊結ボルトは、M16（強度区分4.8）のボルト6本使用とする。
注2. 斜壁が組立てマンホール以外の場合は樹脂アンカーナット（SU S製）引張強度239kN以上の規格品を使用する。

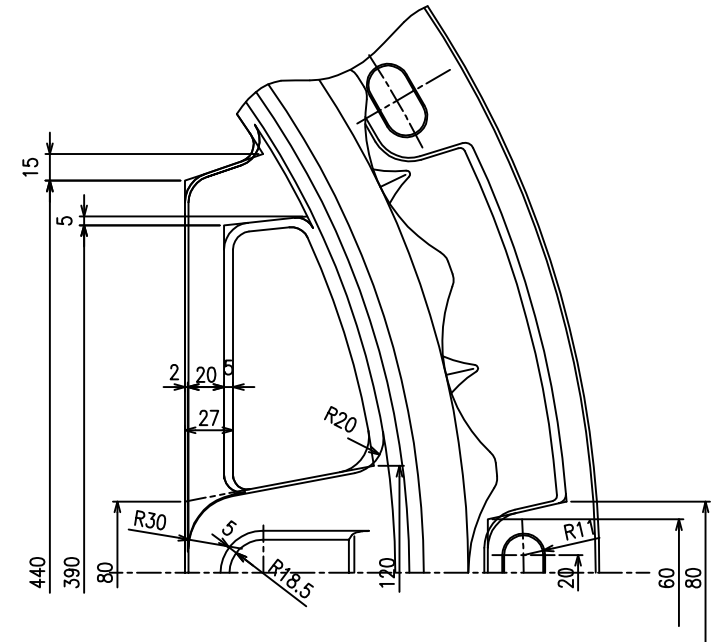
Φ900マンホールふた（親子ふた）



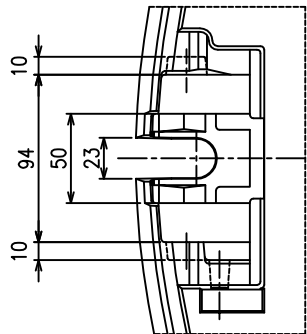
親ふた自動錠取付部詳細図



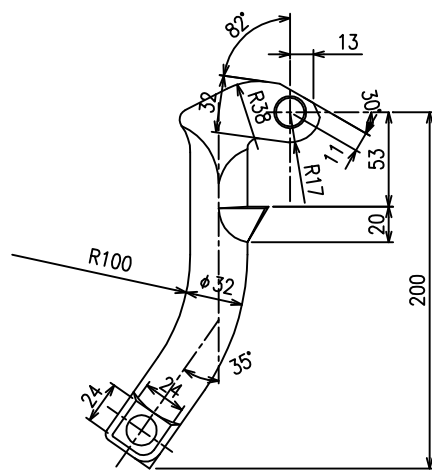
親ふた蝶番取付部詳細図



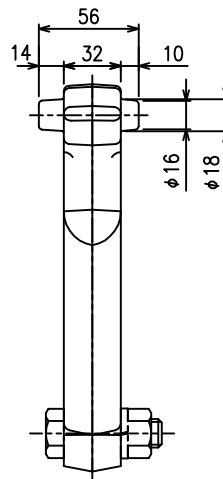
フレーム、蝶番取付部詳細



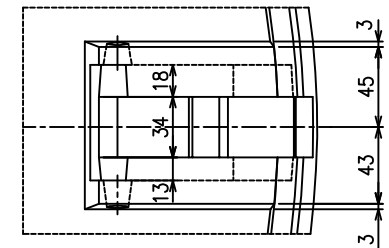
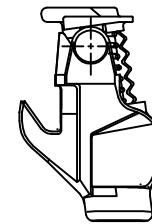
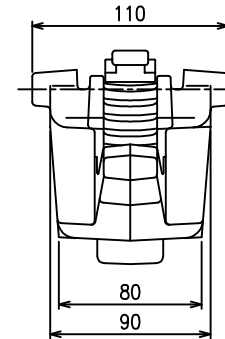
親ふた自動錠取付座詳細図



親ふた蝶番詳細図



親ふた自動錠詳細図



親ふた蝶番取付座詳細図

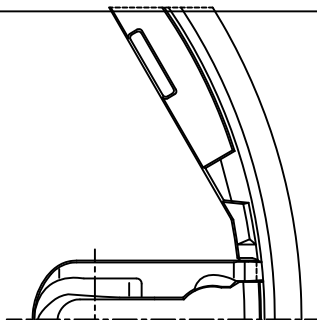
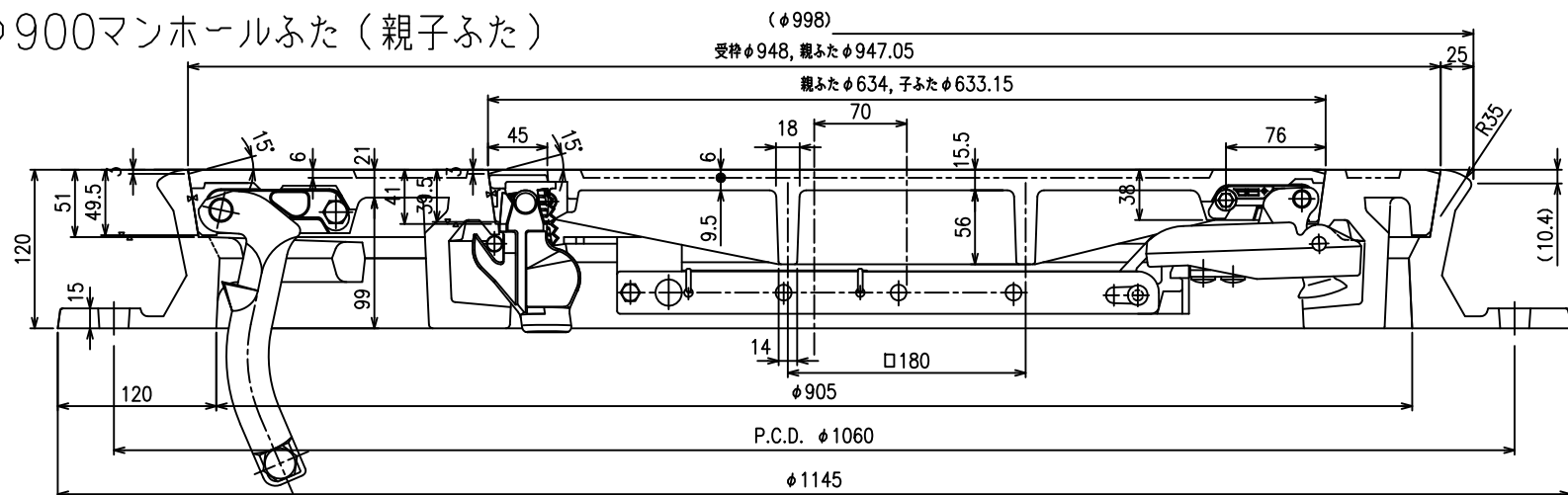
※当該図面は参考図であり、実際の使用にあたっては福知山市型下水道用鑄鉄製マンホールふた及び防護ふた及び汚水ますふたの性能規定の適合品を使用すること。

T-14 除雪型

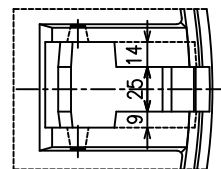
図
番

31

Φ900マンホールふた（親子ふた）



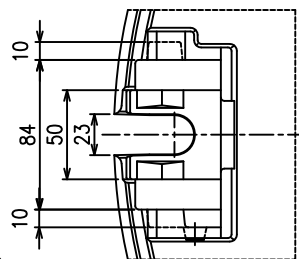
コネクタガイド取付詳細図



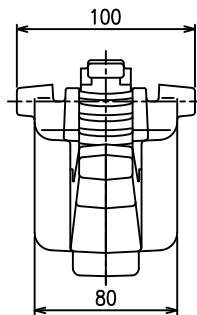
コネクタ取付座詳細図

※当該図面は参考図であり、実際の使用にあたっては福知山市型下水道用鋳鉄製マンホールふた及び防護ふた及び汚水ますふたの性能規定の適合品を使用すること。

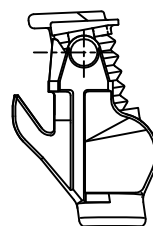
断面図



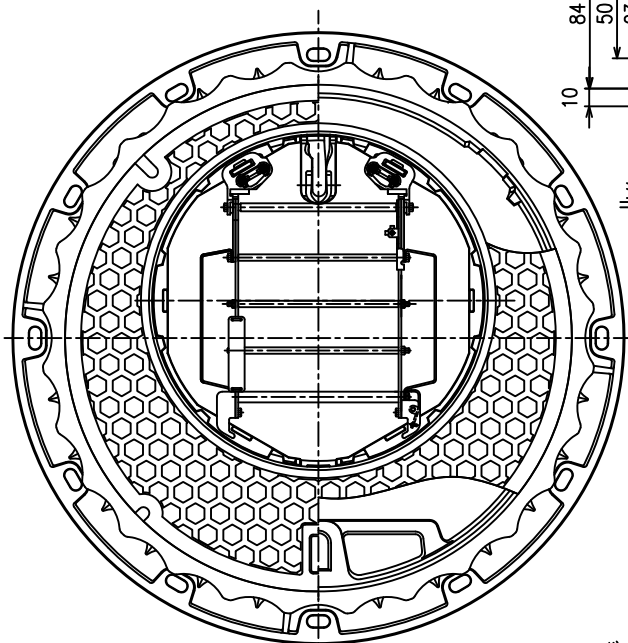
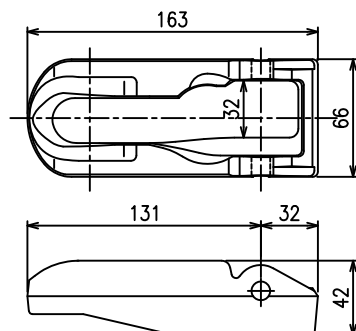
シールロック取付座詳細図



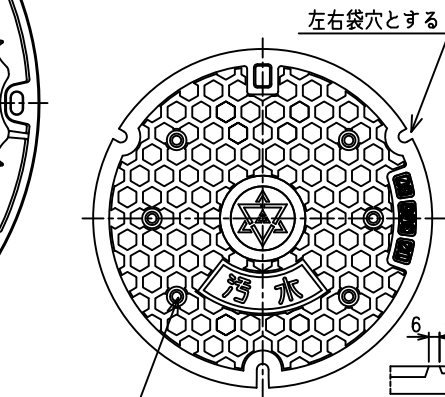
子ふたシールロック詳細図



コネクタガイド詳細図



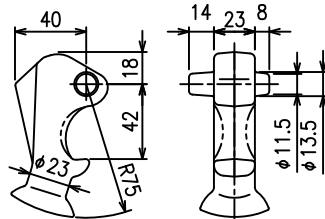
平面図



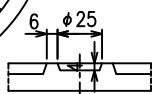
ガス穴ナシ

カバー（子ふた）平面図

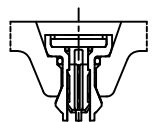
左右袋穴とする



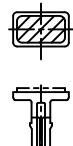
コネクタ詳細図



ガス穴ナシ詳細



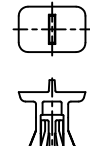
キャップ取付断面図



キャップ詳細図



外枠キャップ詳細図



仮キャップ

16	リング 小	ニトリゴム	7	
15	リング 大	ニトリゴム	7	
14	仮キャップ	ナイロン	—	
13	キャップ	ナイロン	7	
12	外枠キャップ	ナイロン	7	
11	セイテリダター（脚）	SUS304他	1	
10	シールロック（親ふた）	FCD600他	2	ボルト・Uナット
9	ストップ（親ふた）	FCD600	1	ボルト・Uナット
8	コネクタ（親ふた・親枠）	FCD600	1	ボルト・Uナット
7	カバー（親ふた）	FCD700	1	
6	シールロック（子ふた）	FCD600他	1	ボルト・Uナット
5	コネクタガイド（子ふた）	FCD600	1	取付部品
4	ストップ（子ふた）	ナイロン	1	ボルト・Uナット
3	コネクタ（子ふた・親枠）	FCD600	1	
2	カバー（子ふた）	FCD700	1	
1	フレーム（枠）	FCD600	1	
品番	名称	材質	個数	備考

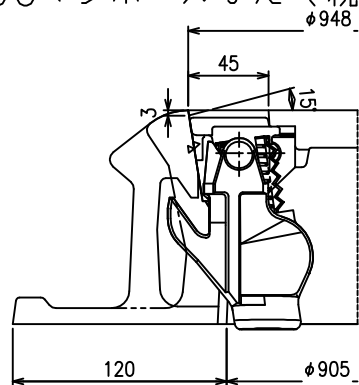
注1. 蓋枠と斜壁ブロックとの緊結ボルトは、M16（強度区分4.8）のボルト6本使用とする。
 注2. 斜壁が組立てマンホール以外の場合は樹脂アンカーナット（SU S製）引張強度239kN以上の規格品を使用する。

T-25 除雪型
（特環用）

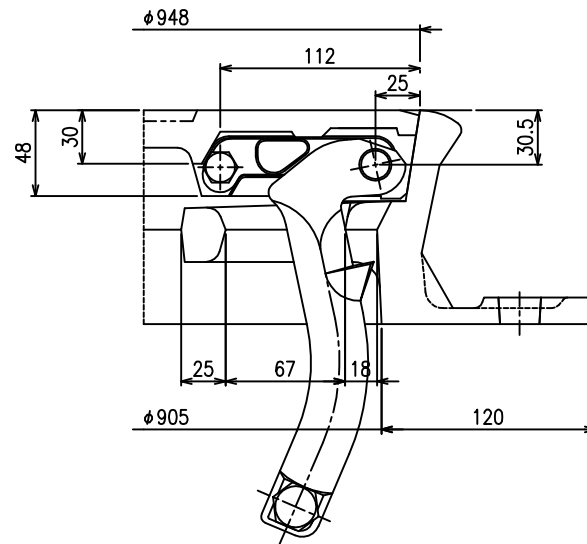
図
番

32

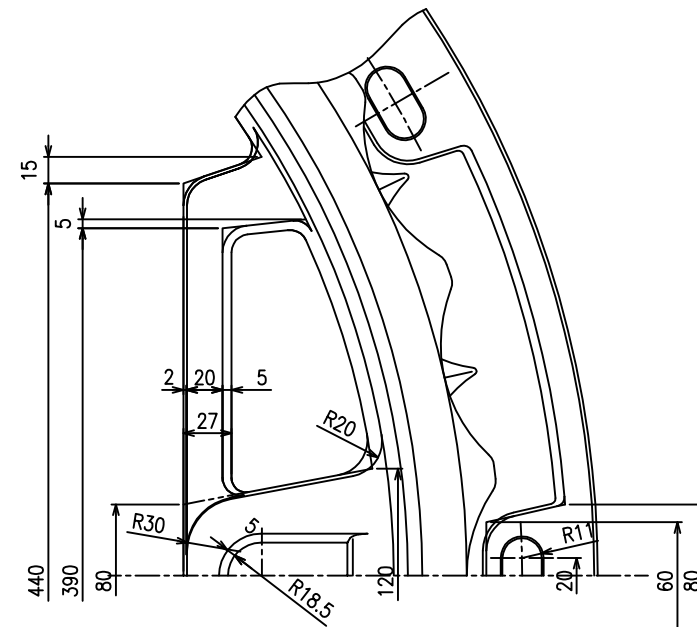
Φ900マンホールふた（親子ふた）



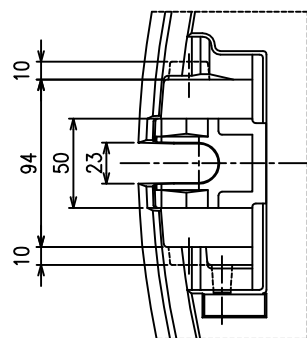
親ふたシールロック取付部詳細図



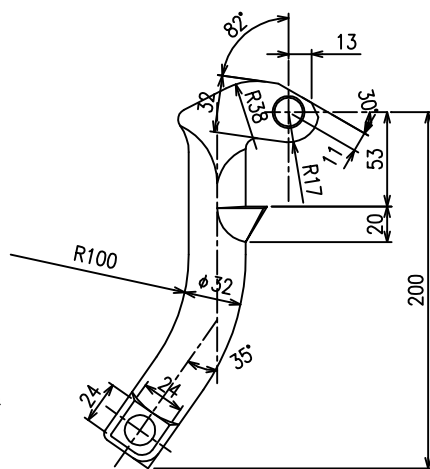
親ふたコネクタ取付部詳細図



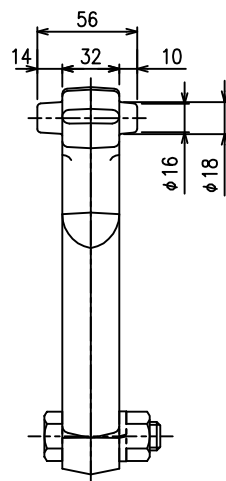
フレーム、コネクタ取付部詳細



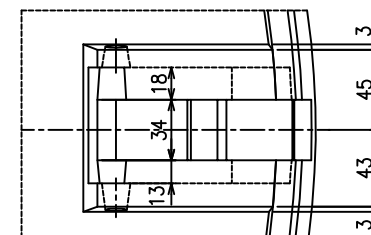
親ふたシールロック取付座詳細図



親ふたコネクタ詳細図



親ふたシールロック詳細図



親ふたコネクタ取付座詳細図

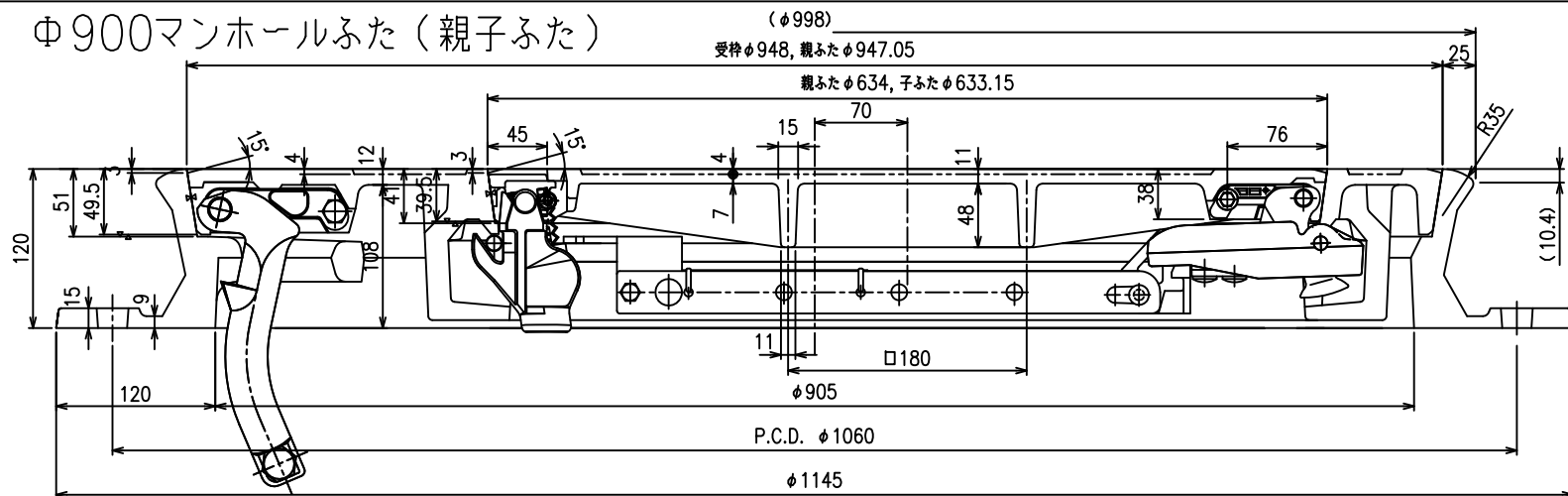
※当該図面は参考図であり、実際の使用にあたっては福知山市型下水道用鑄鉄製マンホールふた及び防護ふた及び汚水ますふたの性能規定の適合品を使用すること。

T-25 除雪型（特環用）

図
番

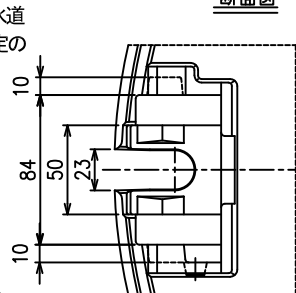
33

Φ900マンホールふた（親子ふた）

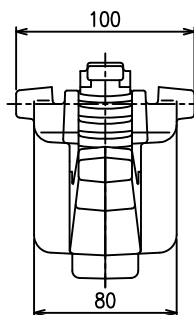


※当該図面は参考図であり、実際の使用にあたっては福知山市型下水道用鑄鉄製マンホールふた及び防護ふた及び汚水ますふたの性能規定の適合品を使用すること。

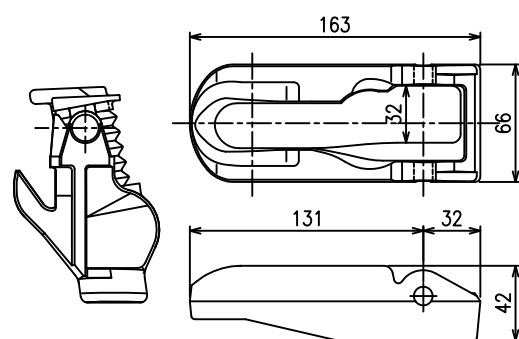
断面図



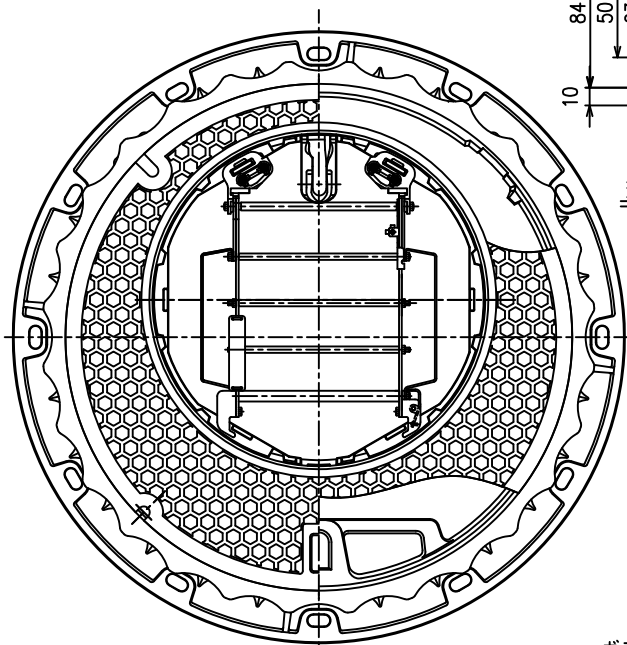
シールロック取付座詳細図



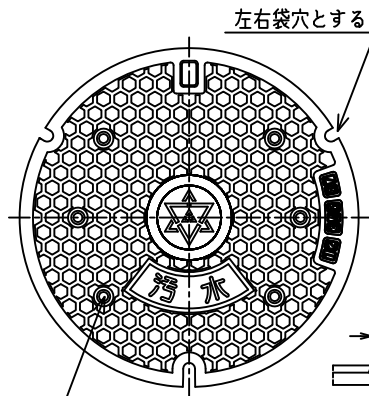
子ふたシールロック詳細図



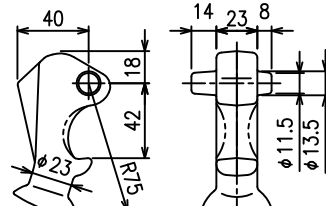
コネクタガイド詳細図



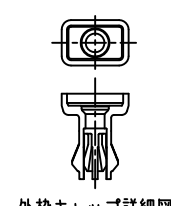
平面図



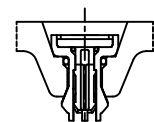
カバー（子ふた）平面図



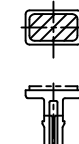
コネクタ詳細図



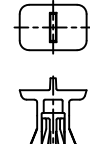
外枠キャップ詳細図



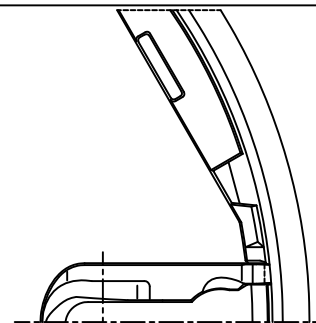
キャップ取付断面図



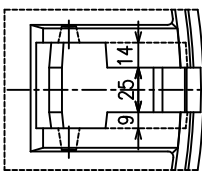
キャップ詳細図



仮キャップ



コネクタガイド取付詳細図



コネクタ取付座詳細図

16	リング 小	ニトリルゴム	7	
15	リング 大	ニトリルゴム	7	
14	仮キャップ	ナイロン	—	
13	キャップ	ナイロン	7	
12	外枠キャップ	ナイロン	7	
11	セパレーター(継ぎ)	SUS304	1	
10	シールロック(継ぎ)	FCD600	2	ボルト・ナット
9	ストッパ(継ぎ)	FCD600	1	ボルト・ナット
8	コネクタ(継ぎ)	FCD600	1	ボルト・ナット
7	カバー(継ぎ)	FCD700	1	
6	シールロック(子ふた)	FCD600	1	ボルト・ナット
5	コネクタガイド(子ふた)	FCD600	1	取付部品
4	ストッパ(子ふた)	ナイロン	1	ボルト・ナット
3	コネクタ(子ふた)	FCD600	1	
2	カバー(子ふた)	FCD700	1	
1	フレーム(枠)	FCD600	1	
品番	名称	材質	個数	備考

注1. 蓋枠と斜壁ブロックとの緊結ボルトは、M16（強度区分4.8）のボルト6本使用とする。

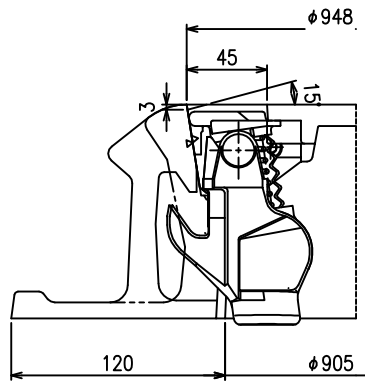
注2. 斜壁が組立てマンホール以外の場合は樹脂アンカーナット（SU型）引張強度239kN以上の規格品を使用する。

T-14 除雪型
(特環用)

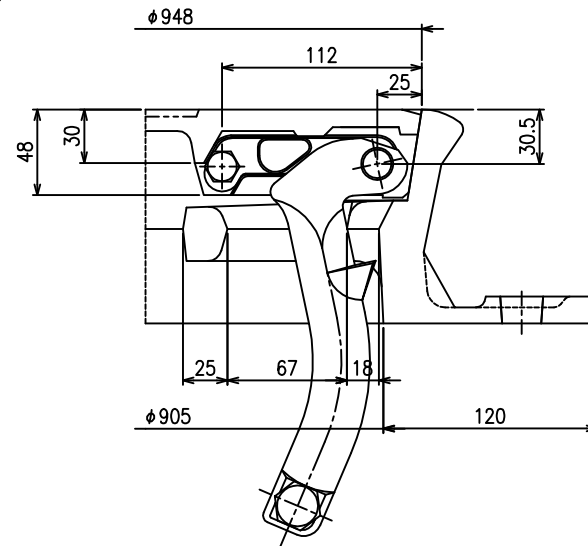
図
番

34

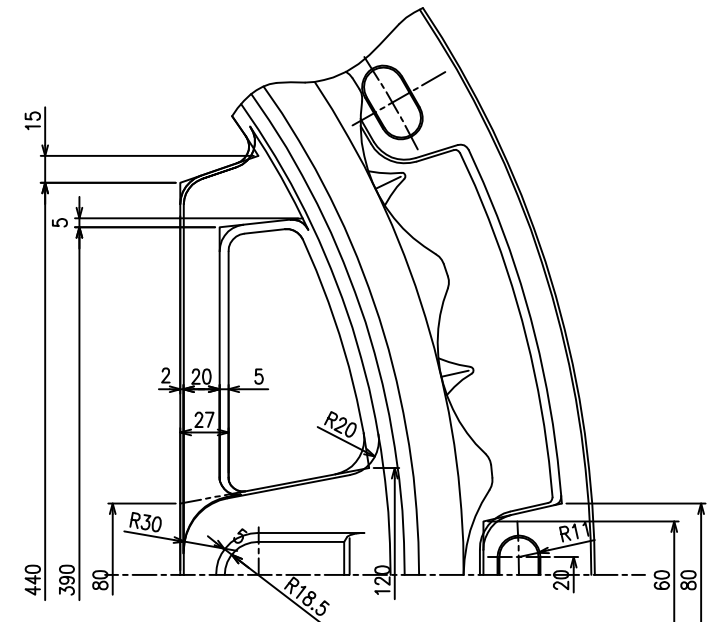
Φ900マンホールふた（親子ふた）



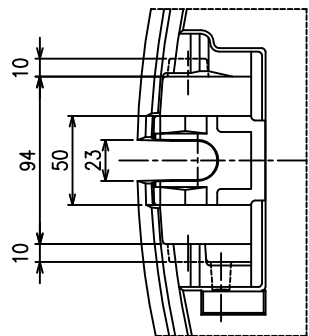
親ふたシールロック取付部詳細図



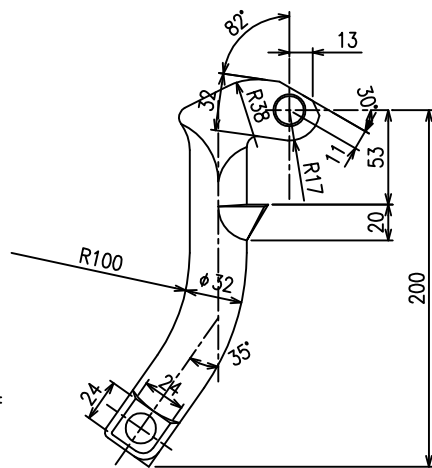
親ふたコネクタ取付部詳細図



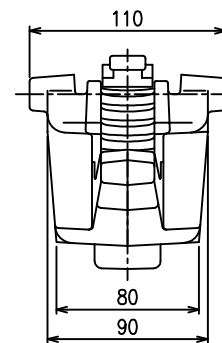
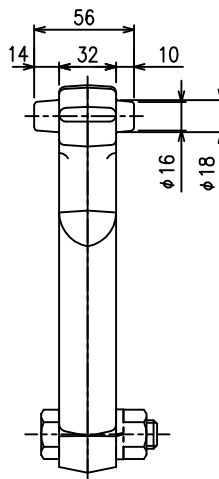
フレーム、コネクタ取付部詳細



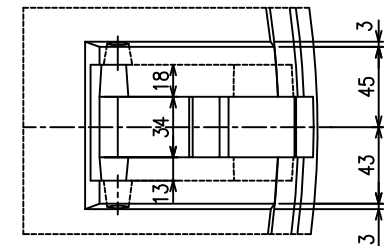
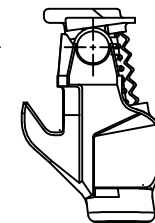
親ふたシールロック取付座詳細図



親ふたコネクタ詳細図



親ふたシールロック詳細図



親ふたコネクタ取付座詳細図

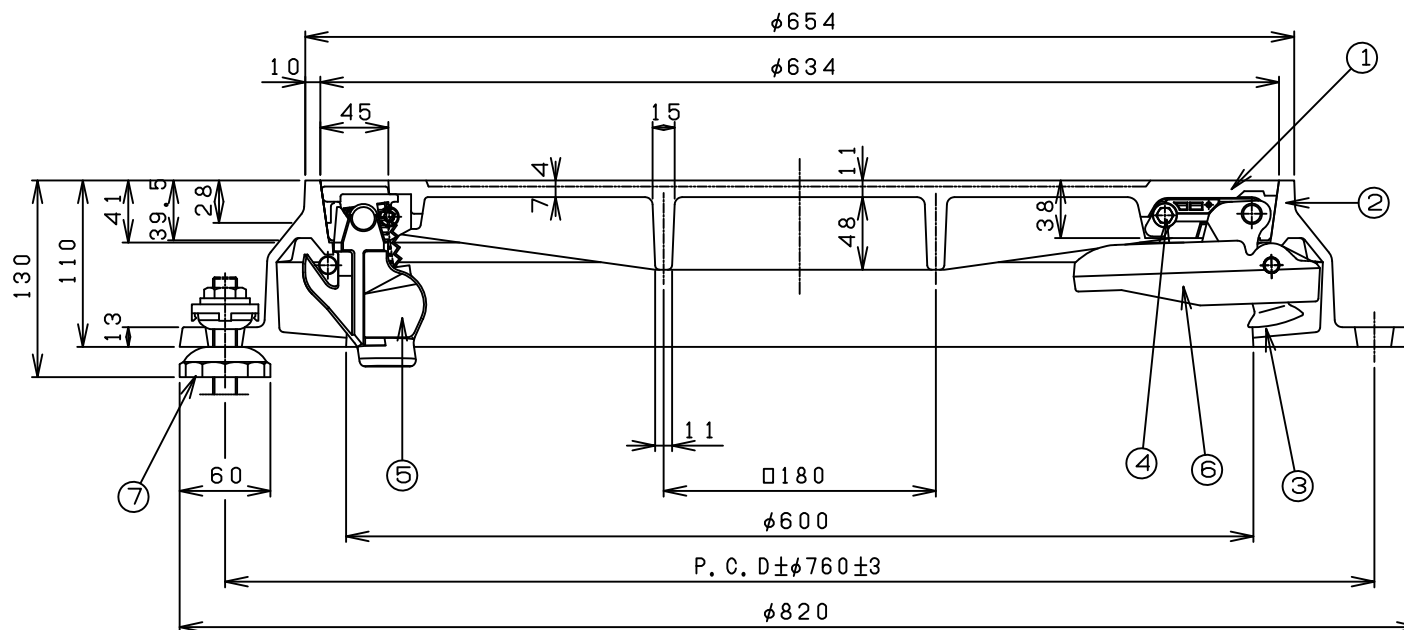
※当該図面は参考図であり、実際の使用にあたっては福知山市型下水道用鑄鉄製マンホールふた及び防護ふた及び汚水ますふたの性能規定の適合品を使用すること。

T-14 除雪型（特環用）

図
番

35

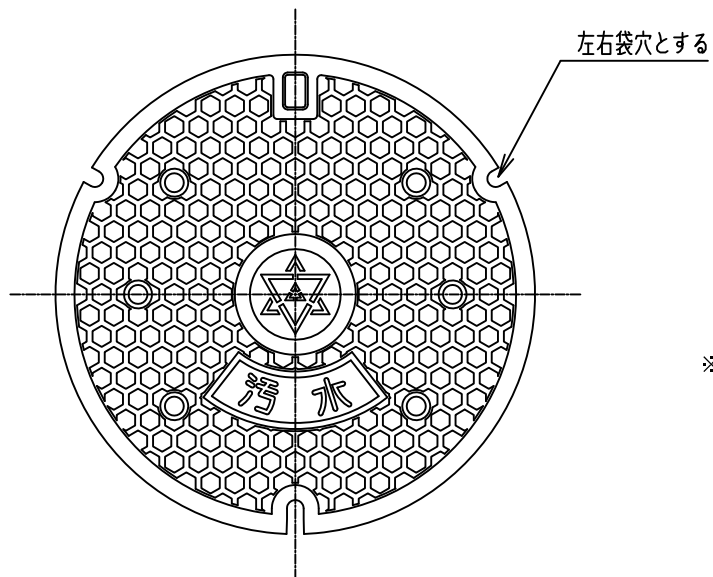
φ600マンホールふた



7	AJフレームホルダ	ポリアセタル他	3	
6	コネクタガイド	FCD600	1	取付部品
5	ソールロック	FCD600他	1	ボルト・ナット
4	ストッパ	ナイロン	1	ボルト・ナット
3	コネクタ (蝶番)	FCD600	1	
2	フレーム (枠)	FCD600	1	
1	カバー (ふた)	FCD700	1	
品番	名 称	材 質	個数	備 考
設計	図 番	尺 度	年 月 日	
型式	T-25, T-14			
品名	WZ-63R-11A (4001) -0202			

注1. 蓋枠と斜壁ブロックとの緊結ボルトは、M16 (強度区分4.6) のボルト3本使用とする。

注2. 斜壁が組立てマンホール以外の場合は樹脂アンカーナット (SU S製) 3本で引張強度106N規格品を使用する。



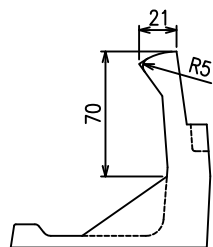
※当該図面は参考図であり、実際の使用にあたっては福知山市型下水道用铸铁製マンホールふた及び防護ふた及び汚水ますふたの性能規定の適合品を使用すること。

T-25・T-14

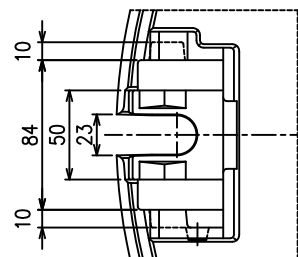
図
番

36

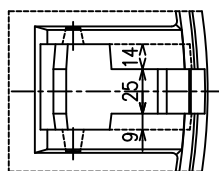
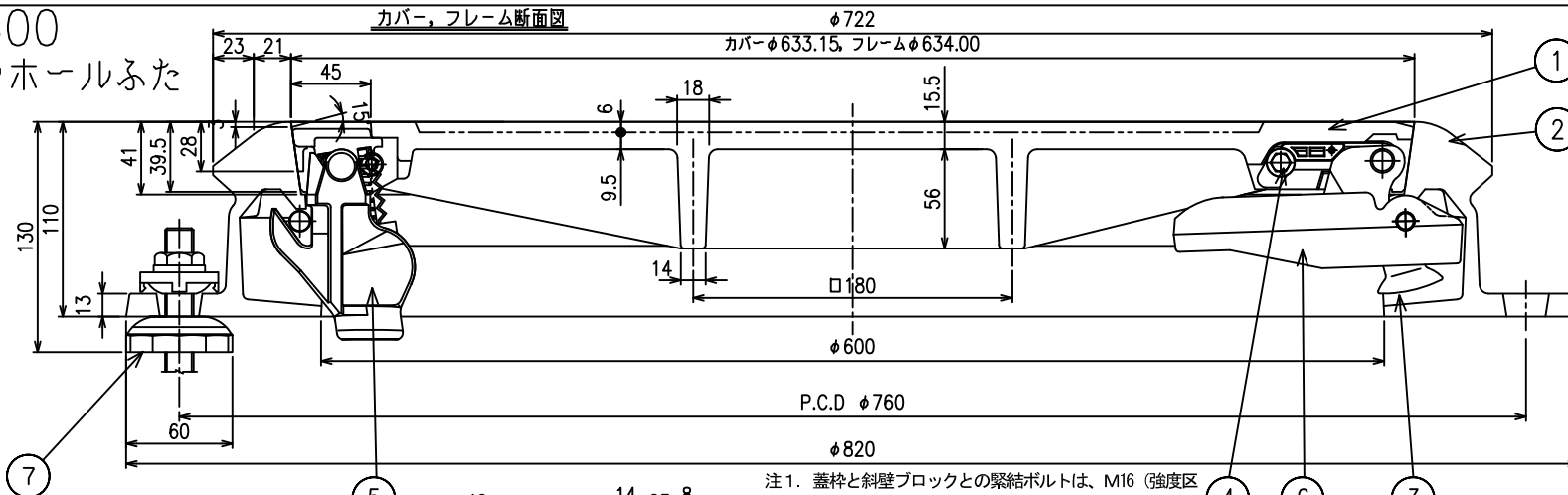
Φ600 マンホールふた



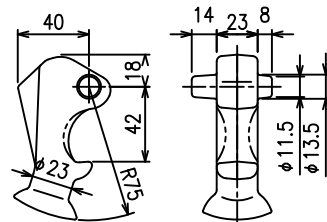
フレーム一般断面図



シールロック取付座詳細図

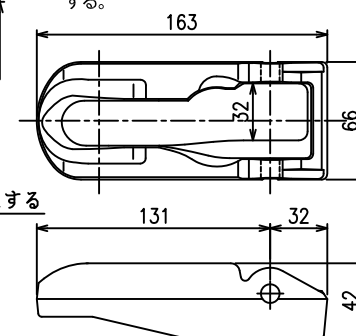


コネクタ取付座詳細図

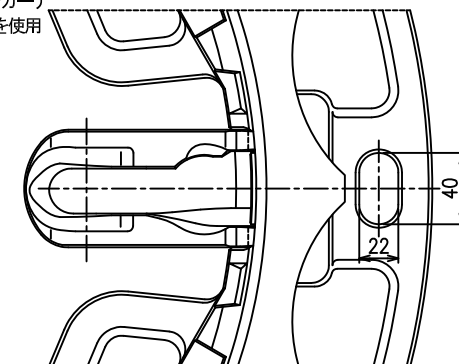


③ コネクタ詳細図

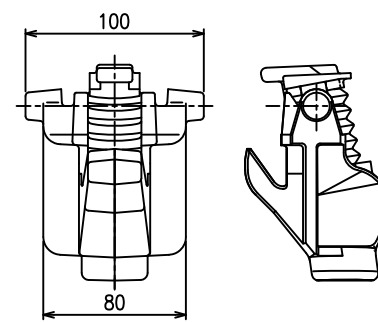
注1. 蓋枠と斜壁ブロックとの緊結ボルトは、M16 (強度区分4.6) のボルト3本使用とする。
注2. 斜壁が組立てマンホール以外の場合は樹脂アンカーナット (SU S製) 3本で引張強度106kN規格品を使用する。



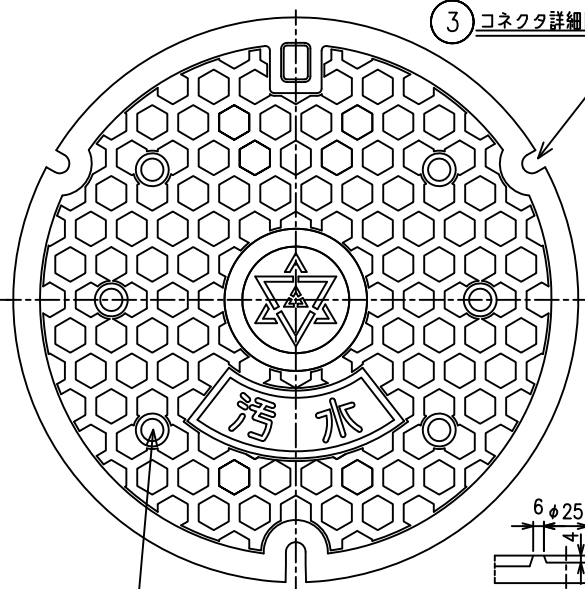
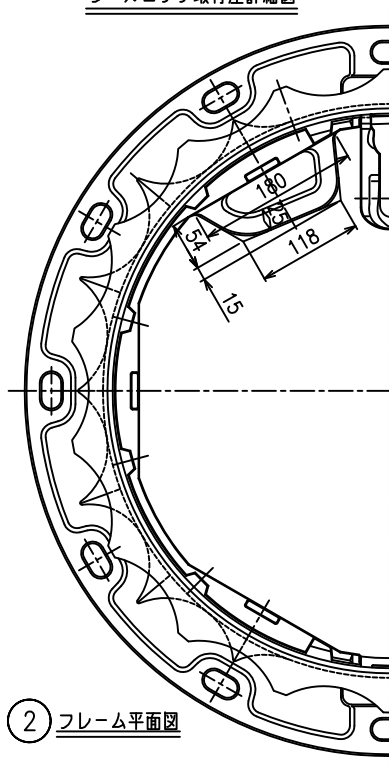
⑥ コネクタガイド詳細図



フレーム、コネクタガイド取付詳細図

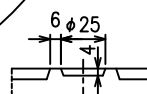


⑤ シールロック詳細図



ガス穴ナシ

① カバー平面図

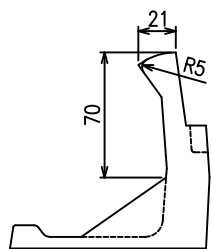


ガス穴ナシ詳細図

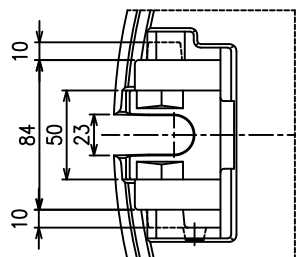
品番	名称	材質	個数	備考
7	A.フレームホルダ	スチール	3	
6	コネクタガイド	FCD600	1	取付部品
5	シールロック	FCD600他	1	ボルト・ナット
4	ストッパ	ナイロン	1	ボルト・ナット
3	コネクタ (蝶番)	FCD600	1	
2	フレーム (枠)	FCD600	1	
1	カバー (ふた)	FCD700	1	

※当該図面は参考図であり、実際の使用にあたっては福知山市型下水道用鑄鉄製マンホールふた及び防護ふた及び汚水ますふたの性能規定の適合品を使用すること。

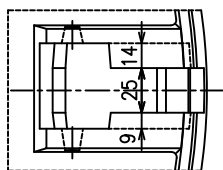
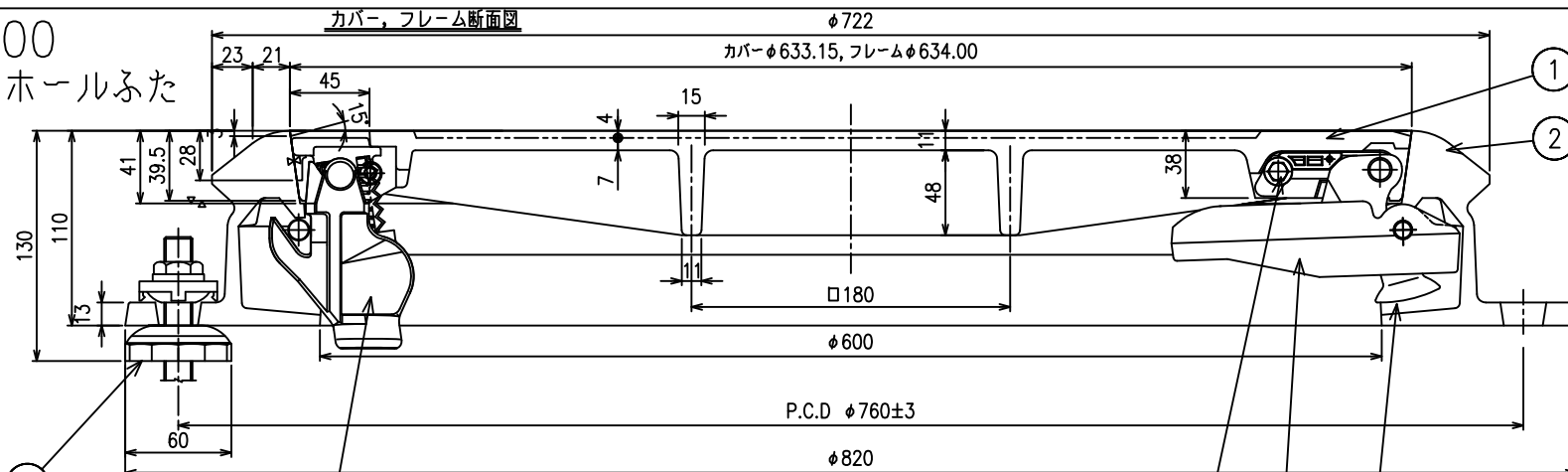
Φ600 マンホールふた



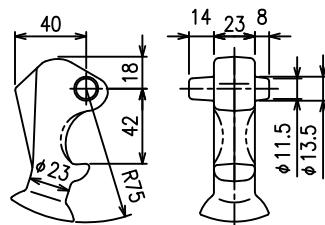
フレーム一般断面図



シールロック取付座詳細図

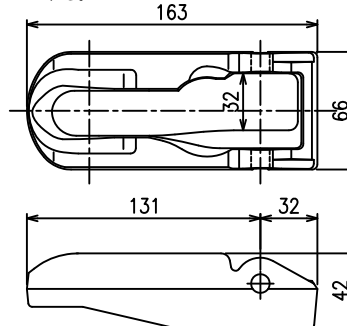


コネクタ取付座詳細図

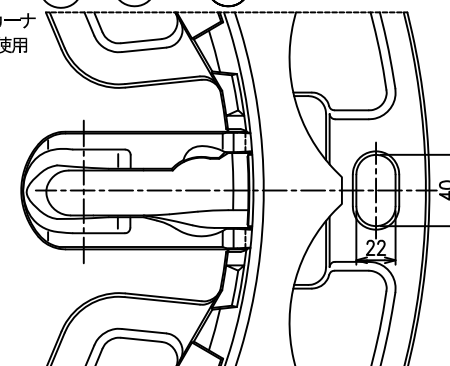


3 コネクタ詳細図

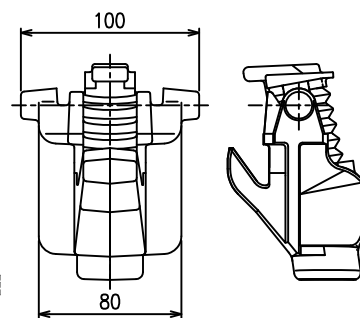
注1. 蓋枠と斜壁ブロックとの緊結ボルトは、M16（強度区分4.6）のボルト3本使用とする。
注2. 斜壁が組立てマンホール以外の場合は樹脂アンカーナット（SU S製）3本で引張強度106KN規格品を使用する。



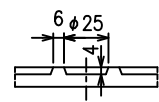
6 コネクタガイド詳細図



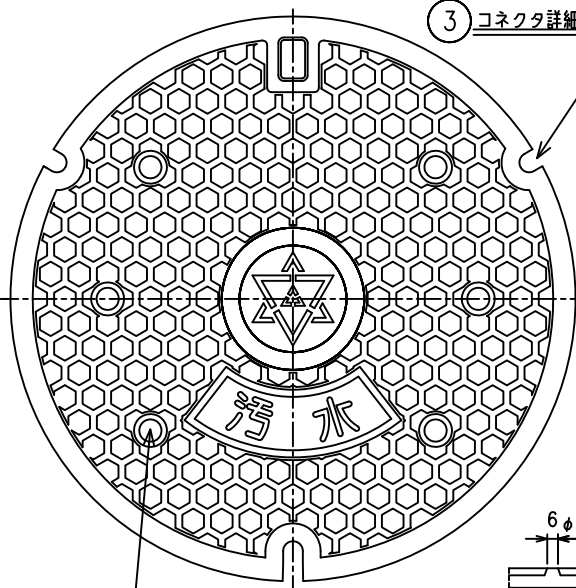
フレーム、コネクタガイド取付詳細図



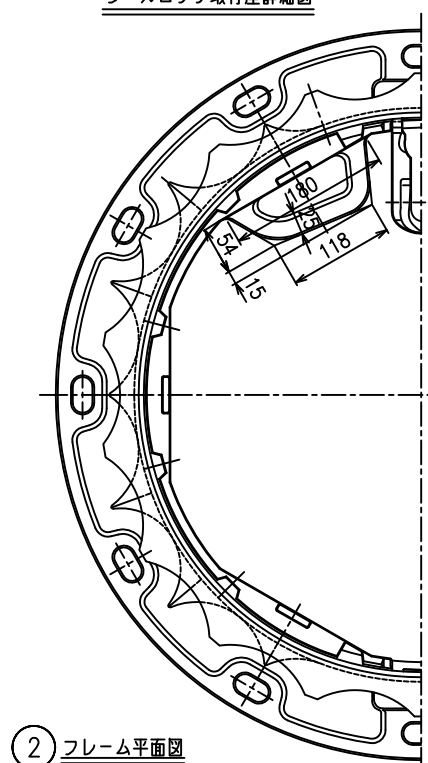
5 シールロック詳細図



ガス穴ナシ詳細



1 カバー平面図



2 フレーム平面図

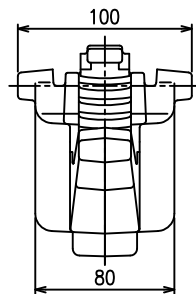
7	AJフレームナット	ポリセー	3	
6	コネクタガイド	FCD600	1	取付部品
5	シールロック	FCD600	1	ボルト・ナット
4	ストッパ	ナイロン	1	ボルト・ナット
3	コネクタ（蝶番）	FCD600	1	
2	フレーム（枠）	FCD600	1	
1	カバー（ふた）	FCD700	1	
品番	名称	材質	個数	備考

※当該図面は参考図であり、実際の使用にあたっては福知山市型下水道用鋳鉄製マンホールふた及び防護ふた及び汚水ますふたの性能規定の適合品を使用すること。

T-14 除雪型

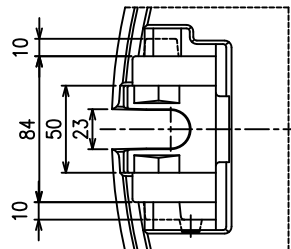
図
番

38

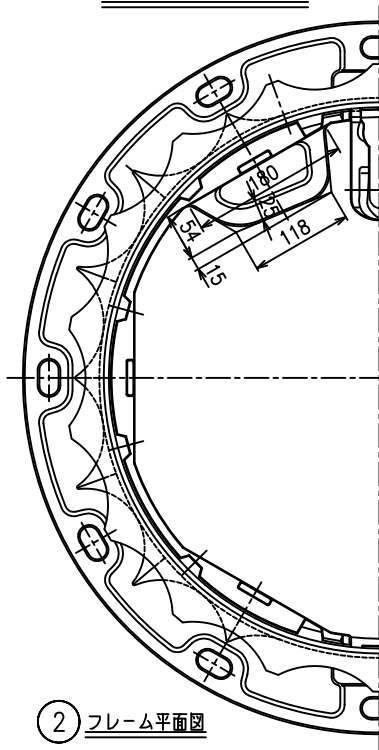


Φ600
マンホールふた

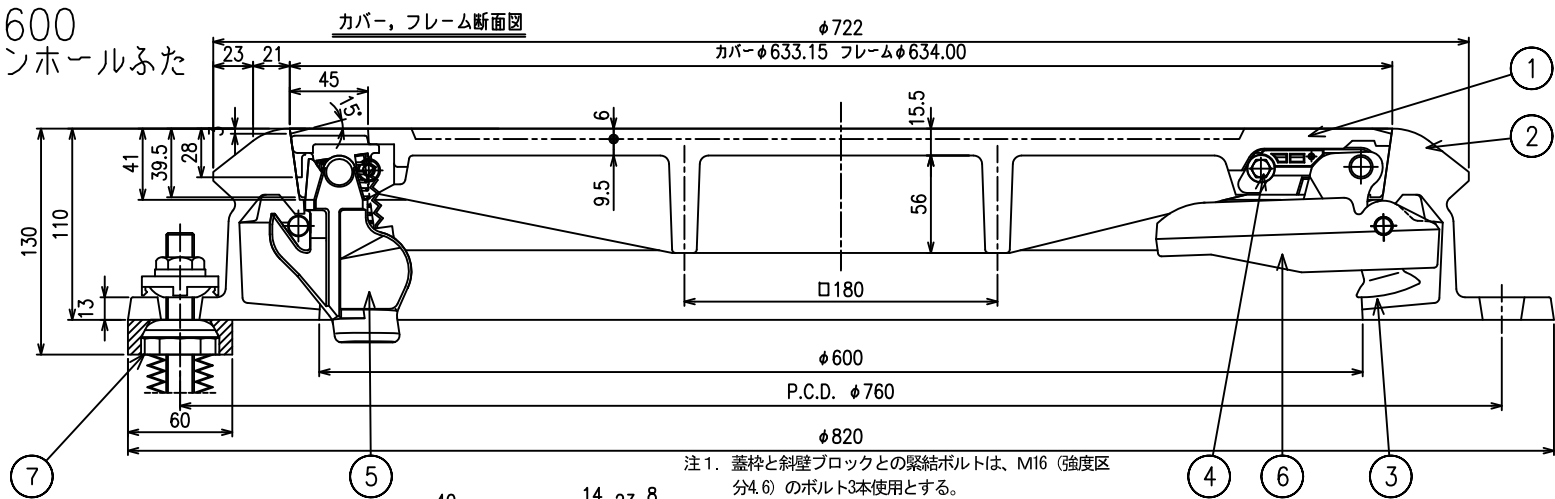
⑤ シールロック詳細図



シールロック取付座詳細図



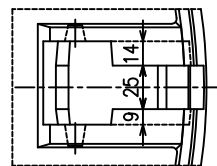
② フレーム平面図



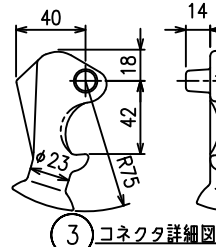
カバー、フレーム断面図

Φ722
カバーΦ633.15 フレームΦ634.00

注1. 蓋枠と斜壁ブロックとの緊結ボルトは、M16（強度区分4.6）のボルト3本使用とする。
注2. 斜壁が傾いてマンホール以外の場合は樹脂アンカーナット（SUS製）3本で引張強度106KN規格品を使用する。

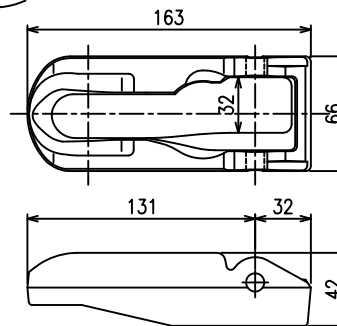


コネクタ取付座詳細図

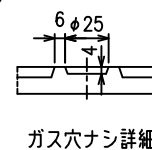


③ コネクタ詳細図

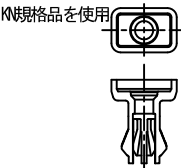
左右袋穴とする



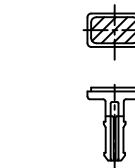
⑥ コネクタガイド詳細図



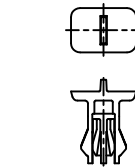
ガス穴ナシ詳細



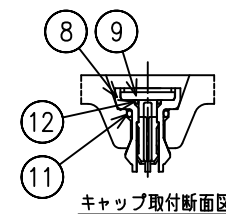
⑧ 外枠キャップ詳細図



⑨ キャップ詳細図



⑩ 仮キャップ



キャップ取付断面図

品番	名称	材質	個数	備考
12	リング 小	ニトリルゴム	7	
11	リング 大	ニトリルゴム	7	
10	仮キャップ	ナイロン	—	
9	キャップ	ナイロン	7	
8	外枠キャップ	ナイロン	7	
7	AJフレーム	スチール	3	
6	コネクタガイド	FCD600	1	取付部品
5	シールロック	FCD600	1	ボルト・ナット
4	ストッパ	ナイロン	1	ボルト・ナット
3	コネクタ（蝶番）	FCD600	1	
2	フレーム（枠）	FCD600	1	
1	カバー（ふた）	FCD700	1	

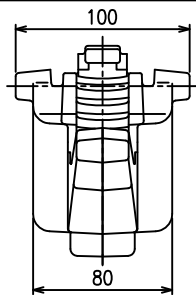
※当該図面は参考図であり、実際の使用にあたっては、福知山市型下水道用鋳鉄製マンホールふた及び防護ふた及び汚水ますふたの性能規定の適合品を使用すること。

フレーム、コネクタガイド取付詳細図

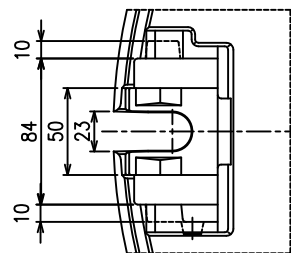
T-25 除雪型（特環用）

図番

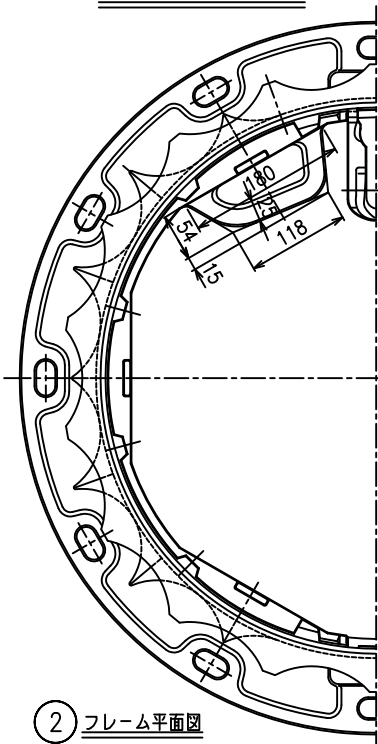
39



⑤ 自動錠詳細図



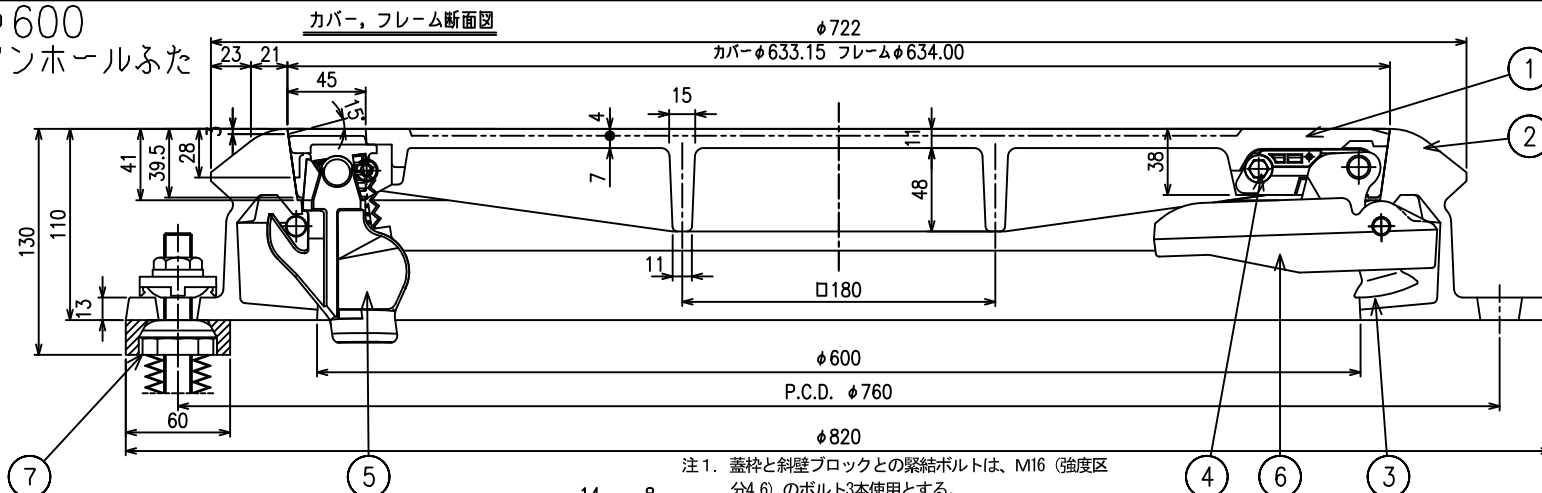
自動錠取付座詳細図



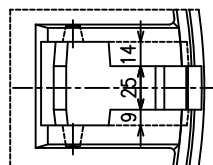
② フレーム平面図

Φ600
マンホールふた

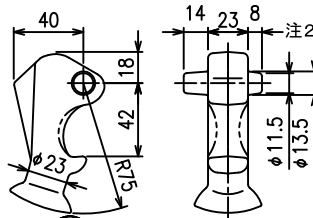
カバー、フレーム断面図



注1. 蓋枠と斜壁ブロックとの緊結ボルトは、M16 (強度区分4.6) のボルト3本使用とする。
注2. 斜壁が組立てマンホール以外の場合は樹脂アンカーナット (SUS製) 3本で引張強度106KN規格品を使用する。

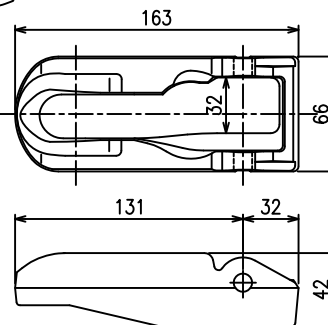


コネクタ取付座詳細図

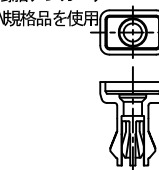


③ コネクタ詳細図

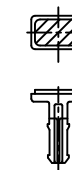
左右袋穴とする



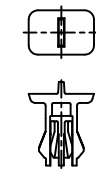
⑥ コネクタガイド詳細図



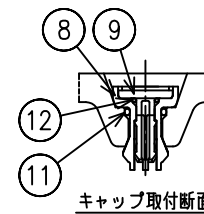
⑧ 外枠キャップ詳細図



⑨ キャップ詳細図



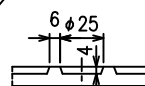
⑩ 仮キャップ



キャップ取付断面図

品番	名称	材質	個数	備考
12	リング 小	ニトリルゴム	7	
11	リング 大	ニトリルゴム	7	
10	仮キャップ	ナイロン	—	
9	キャップ	ナイロン	7	
8	外枠キャップ	ナイロン	7	
7	AJフレーム	スチール	3	
6	コネクタガイド	FCD600	1	取付部品
5	シールロック	FCD600	1	ボルト・ナット
4	ストッパ	ナイロン	1	ボルト・ナット
3	コネクタ (蝶番)	FCD600	1	
2	フレーム (枠)	FCD600	1	
1	カバー (ふた)	FCD700	1	

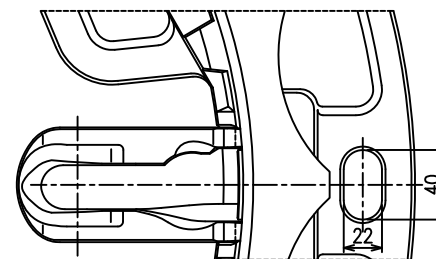
※当該図面は参考図であり、実際の使用にあたっては福知山市型下水道用鋳鉄製マンホールふた及び防護ふた及び汚水ますふたの性能規定の適合品を使用すること。



ガス穴ナシ詳細

ガス穴ナシ

① カバー平面図



フレーム、コネクタガイド取付詳細図

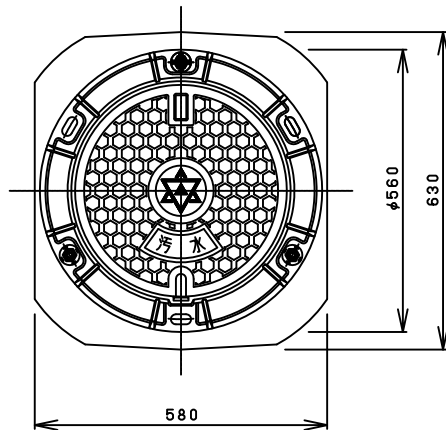
T-14 除雪型 (特環用)

図番

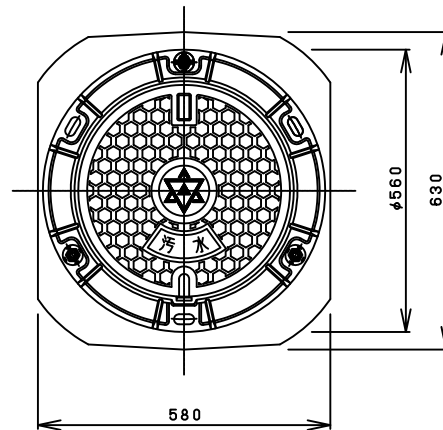
40

φ430塩ビ製マンホール用保護ふた

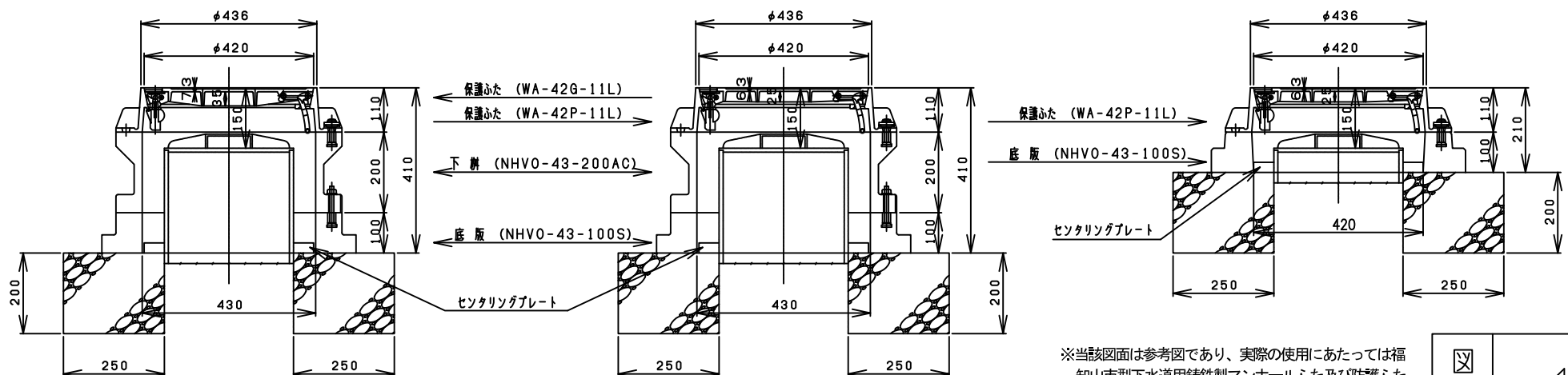
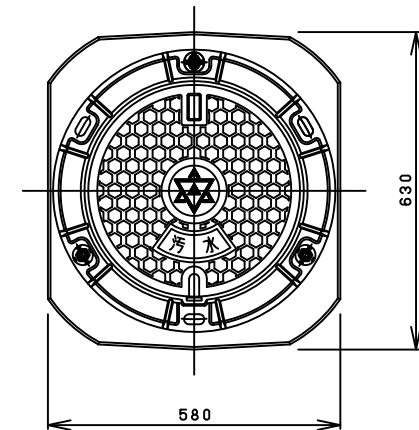
T-25仕様



T-14仕様

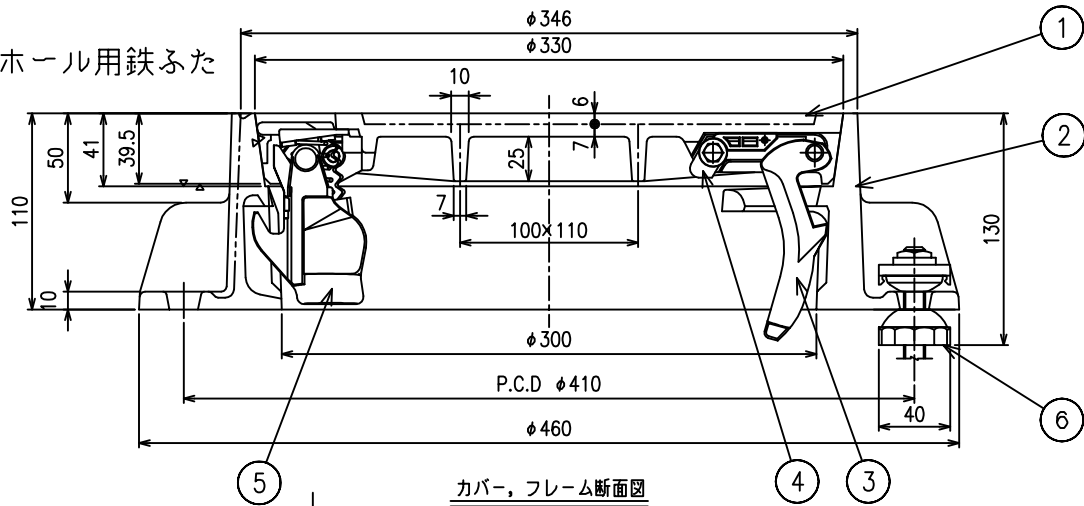


T-8仕様

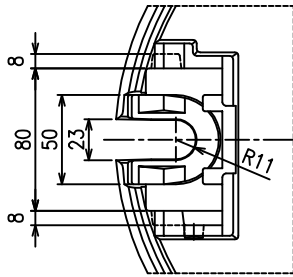


※当該図面は参考図であり、実際の使用にあたっては福知山市型下水道用鑄鉄製マンホールふた及び防護ふた及び汚水ますふたの性能規定の適合品を使用すること。

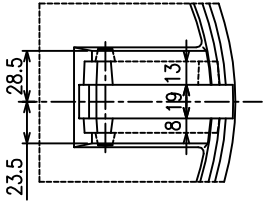
Φ 300
レジンマンホール用鉄ふた



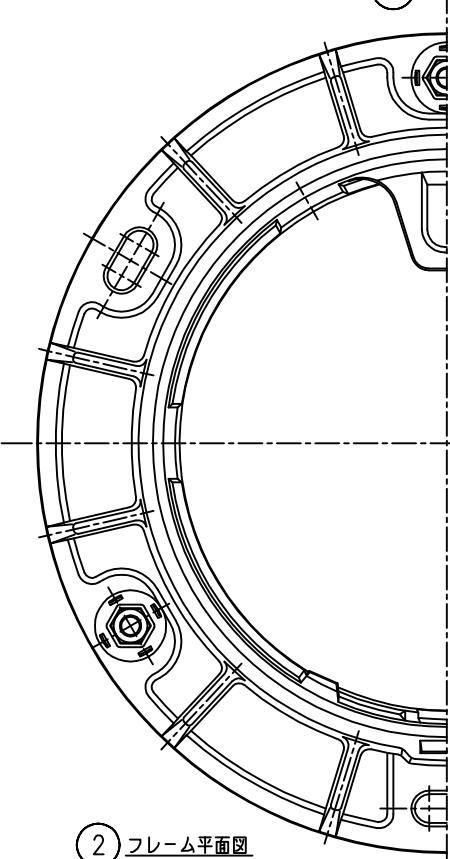
カバー、フレーム断面図



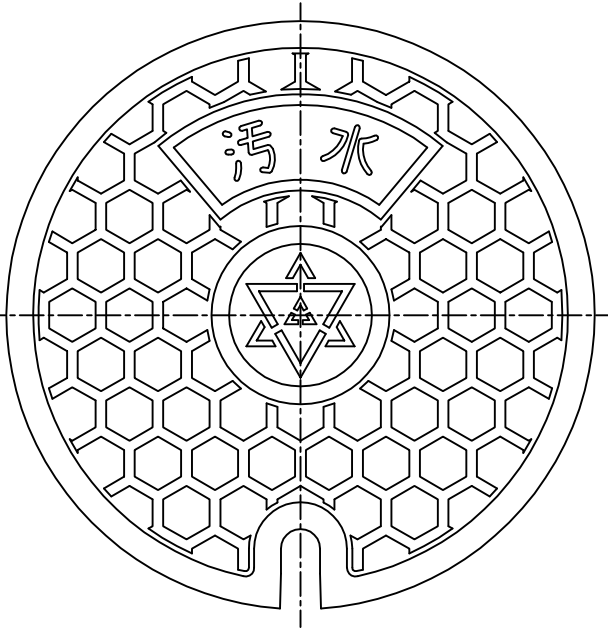
シールロック取付座詳細図



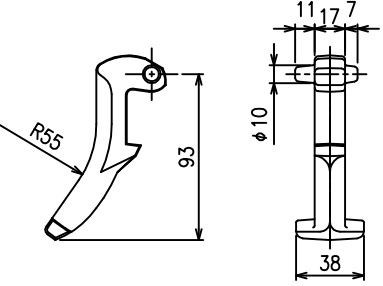
コネクタ取付座詳細図



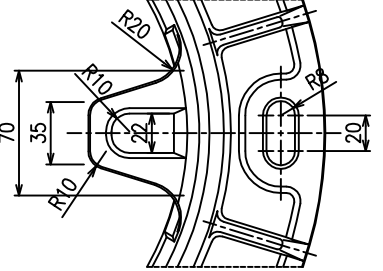
② フレーム平面図



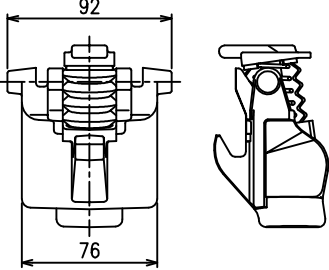
① カバー平面図



③ コネクタ詳細図



コネクタ受け部詳細図

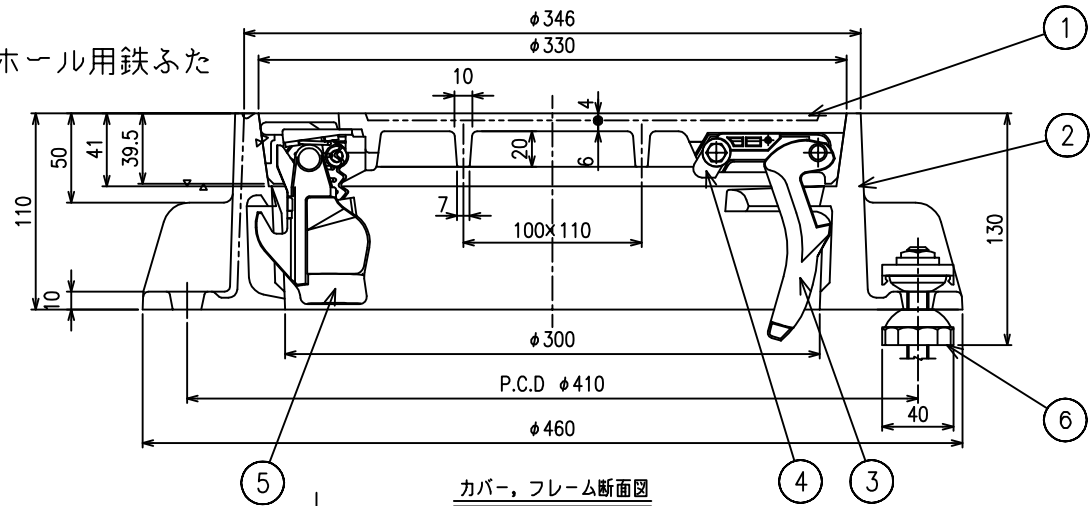


⑤ シールロック詳細図

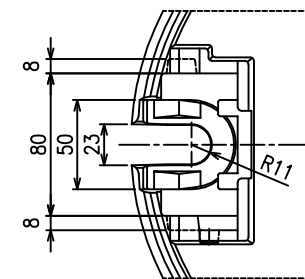
6	AJフレームホルダ	ポリアセーナル	3	
5	シールロック	FCD600他	1	
4	ストッパ	ナイロン	1	ボルト・Uナット
3	コネクタ(蝶番)	FCD600	1	
2	フレーム(枠)	FCD600	1	
1	カバー(ふた)	FCD700	1	
品番	名 称	材 質	個 数	備 考

※当該図面は参考図であり、実際の使用にあたっては福知山市型下水道用鑄鉄製マンホールふた及び防護ふた及び汚水ますふたの性能規定の適合品を使用すること。

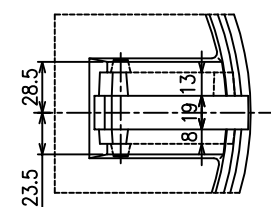
Φ 300
レジンマンホール用鉄ふた



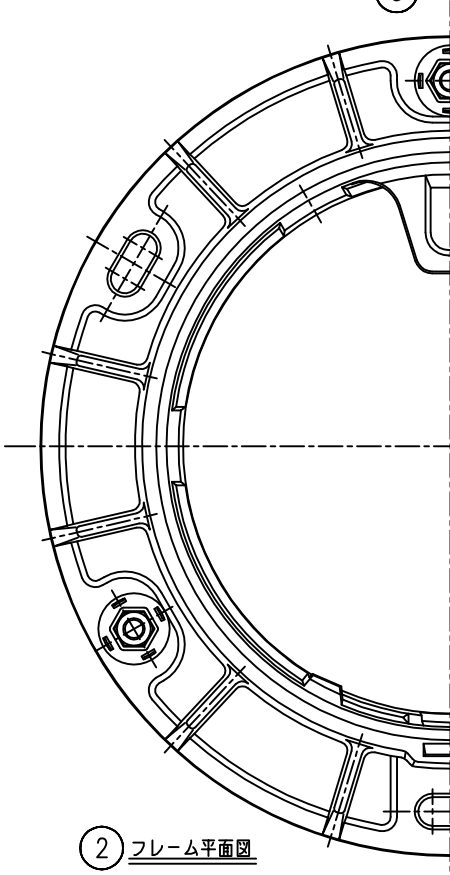
カバー、フレーム断面図



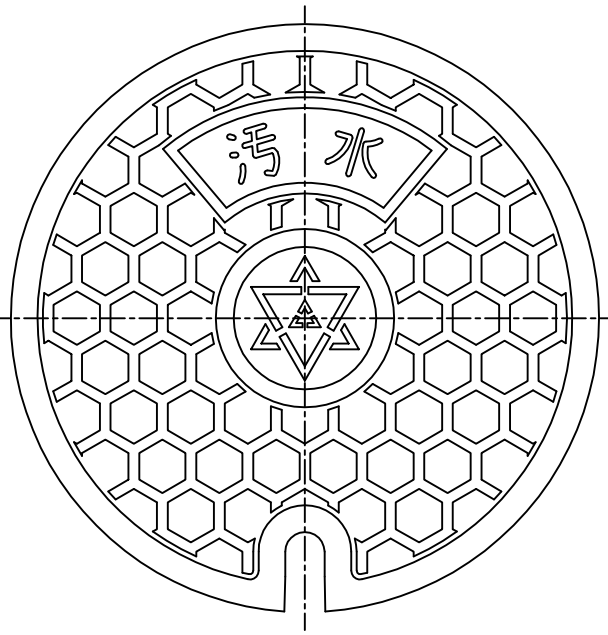
シールロック取付座詳細図



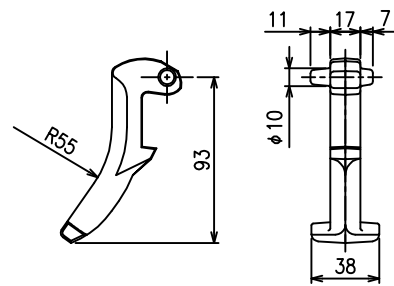
コネクタ取付座詳細図



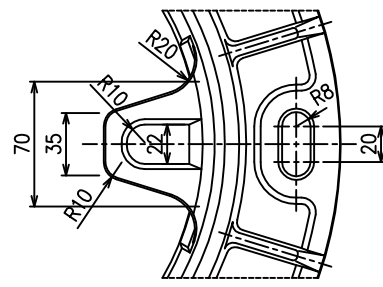
② フレーム平面図



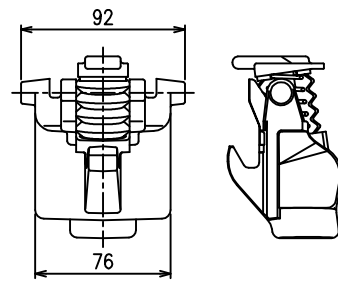
① カバー平面図



③ コネクタ詳細図



コネクタ受け部詳細図

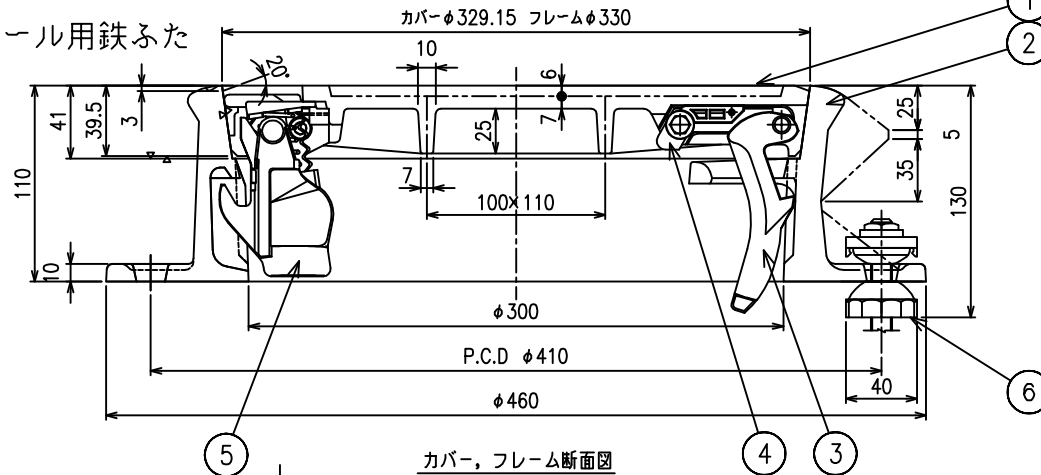


⑤ シールロック詳細図

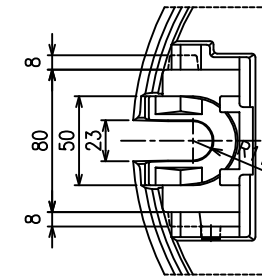
6	AJフレームホルダ	ポリアセナル	3	
5	シールロック	FCD600	1	
4	ストッパ	ナイロン	1	ボルト・Uナット
3	コネクタ(蝶番)	FCD600	1	
2	フレーム(枠)	FCD600	1	
1	カバー(ふた)	FCD700	1	
品番	名称	材質	個数	備考

※当該図面は参考図であり、実際の使用にあたっては福知山市型下水道用鋳鉄製マンホールふた及び防護ふた及び汚水ますふたの性能規定の適合品を使用すること。

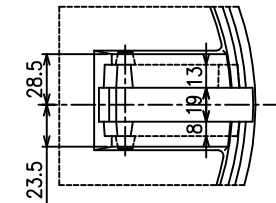
Φ300
レジンマンホール用鉄ふた



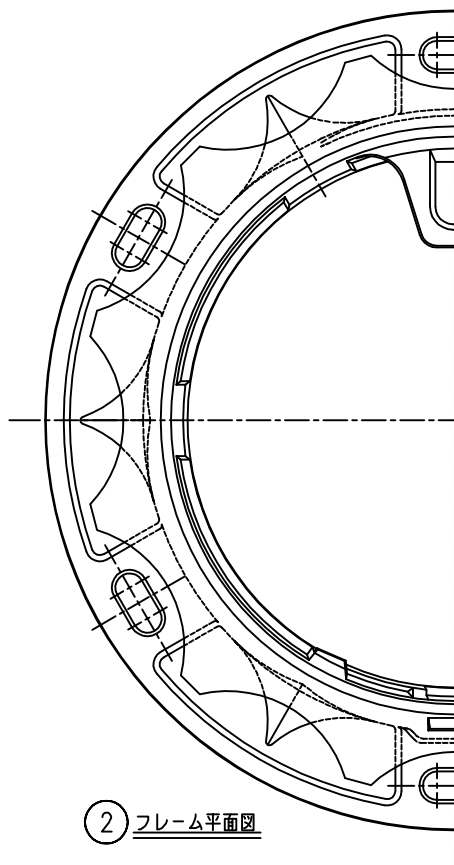
カバー、フレーム断面図



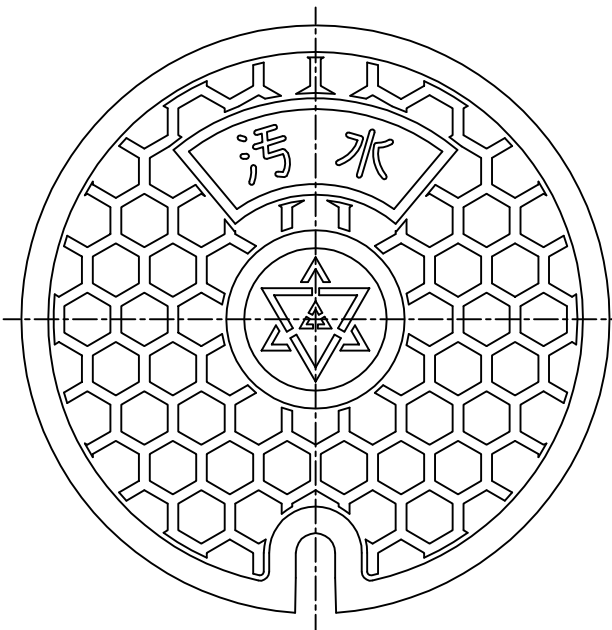
シーลロック取付座詳細図



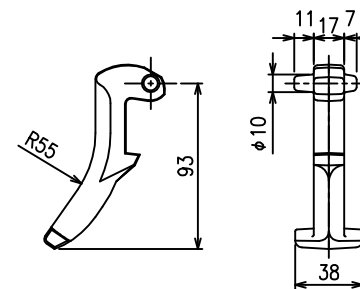
コネクタ取付座詳細図



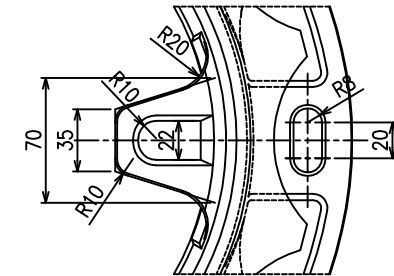
② フレーム平面図



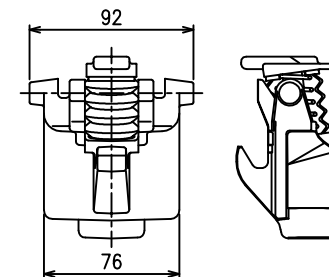
① カバー平面図



③ コネクタ詳細図



コネクタ受け部詳細図



⑤ シーลロック詳細図

6	AJフレームホルダ	斜アセナル	3	
5	シーลロック	FCD600	1	
4	ストッパ	ナイロン	1	ボルト・Uナット
3	コネクタ(蝶番)	FCD600	1	
2	フレーム(枠)	FCD600	1	
1	カバー(ふた)	FCD700	1	
品番	名称	材質	個数	備考

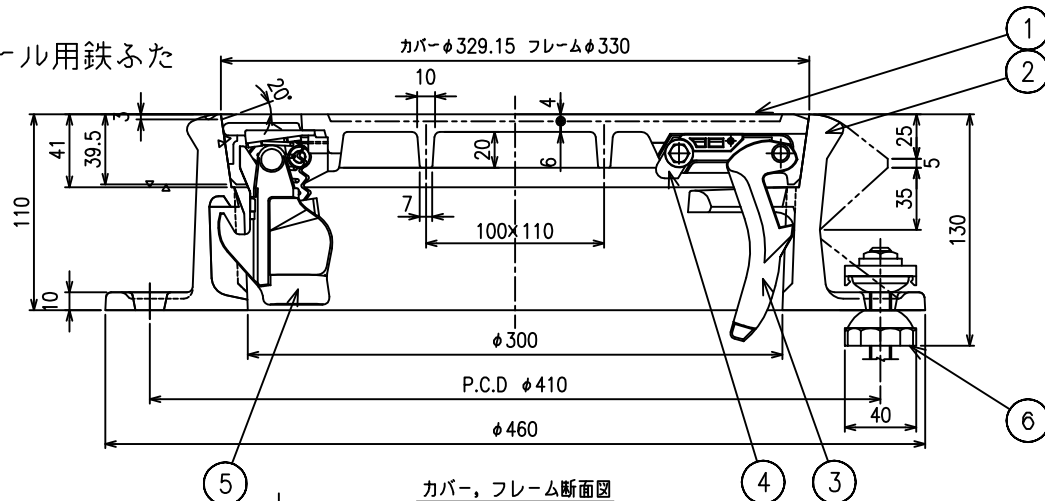
※当該図面は参考図であり、実際の使用にあたっては福知山市型下水道用鋳鉄製マンホールふた及び防護ふた及び汚水ますふたの性能規定の適合品を使用すること。

T-25 除雪型

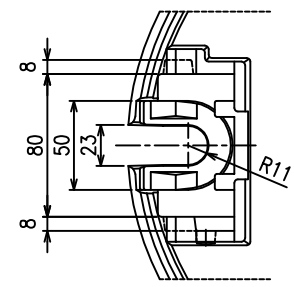
図
番

44

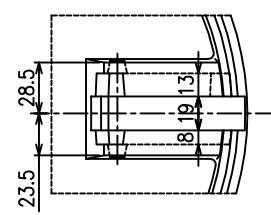
Φ 300
レジンマンホール用鉄ふた



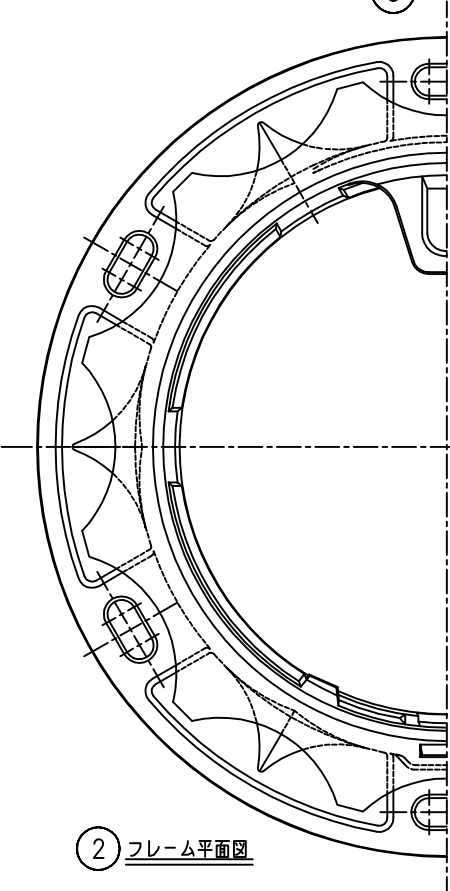
カバー、フレーム断面図



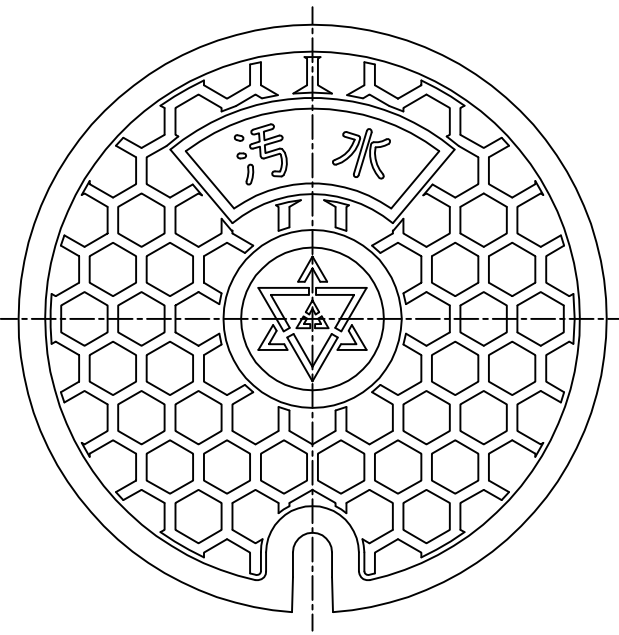
シーลロック取付座詳細図



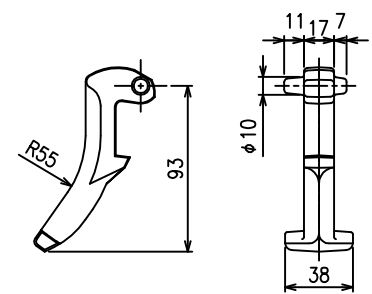
コネクタ取付座詳細図



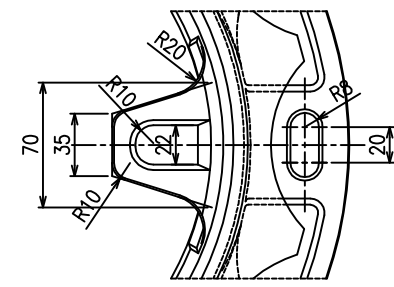
② フレーム平面図



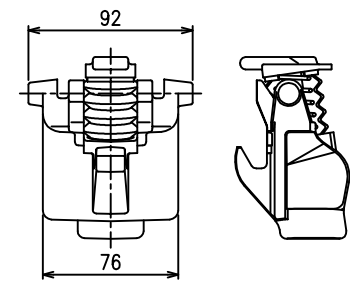
① カバー平面図



③ コネクタ詳細図



コネクタ受け部詳細図

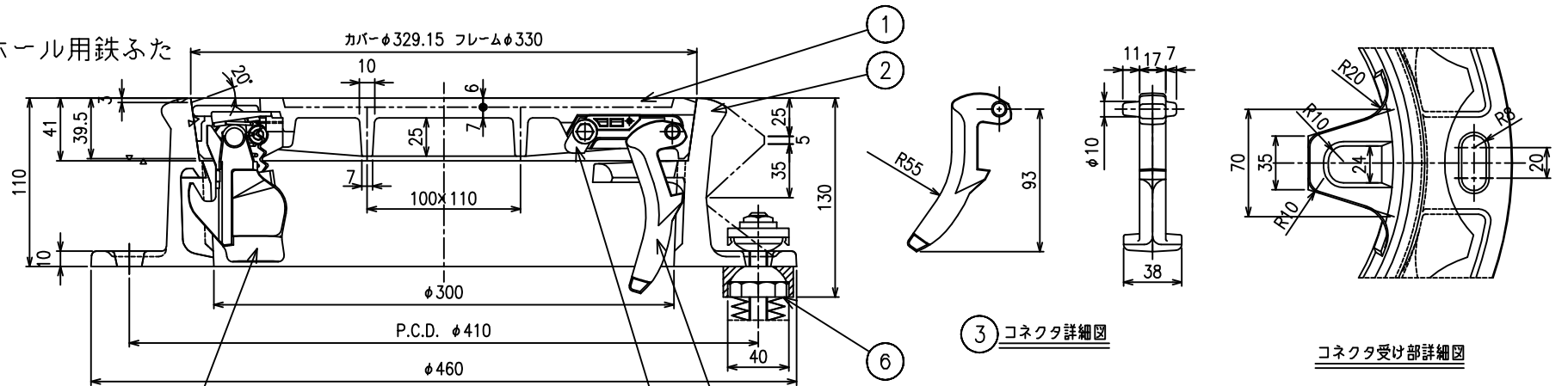


⑤ シールロック詳細図

6	AJフレームホルダ	ポリアセーナル	3	
5	シーลロック	FCD600	1	
4	ストッパ	ナイロン	1	ボルト・Uナット
3	コネクタ(蝶番)	FCD600	1	
2	フレーム(枠)	FCD600	1	
1	カバー(ふた)	FCD700	1	
品番	名称	材質	個数	備考

※当該図面は参考図であり、実際の使用にあたっては福知山市型下水道用鋳鉄製マンホールふた及び防護ふた及び汚水ますふたの性能規定の適合品を使用すること。

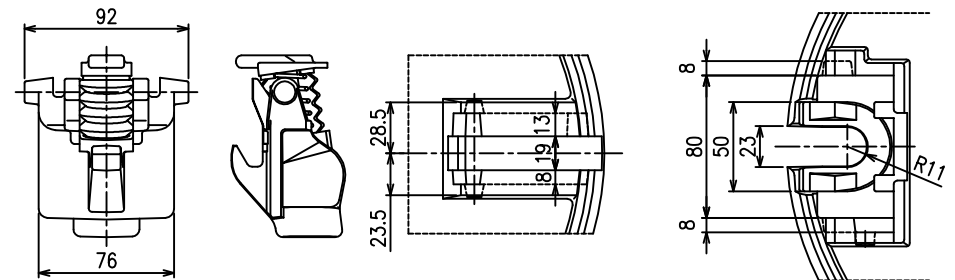
Φ300
レジンマンホール用鉄ふた



カバー、フレーム断面図

③ コネクタ詳細図

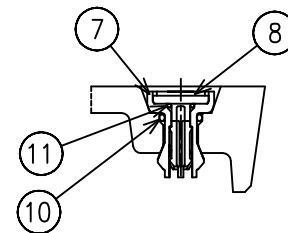
コネクタ受け部詳細図



⑤ シールロック詳細図

コネクタ取付座詳細図

シールロック取付座詳細図



キャップ取付断面図

11	リング小	ニトリゴム	7	
10	リング大	ニトリゴム	7	
9	仮キャップ	ナイロン	—	
8	キャップ	ナイロン	7	
7	外枠キャップ	ナイロン	7	
6	AJフレームホルダ	ポリアセチレン	3	
5	シールロック	FCD600他	1	
4	ストッパ	ナイロン	1	ボルト・Uナット
3	コネクタ(蝶番)	FCD600	1	
2	フレーム(枠)	FCD600	1	
1	カバー(ふた)	FCD700	1	
品番 名称 材質 個数 備考				

※当該図面は参考図であり、実際の使用にあたっては福知山市型下水道用鑄鉄製マンホールふた及び防護ふた及び汚水ますふたの性能規定の適合品を使用すること。

T-25 除雪型(特環用)

図
番

46

② フレーム平面図

① カバー平面図

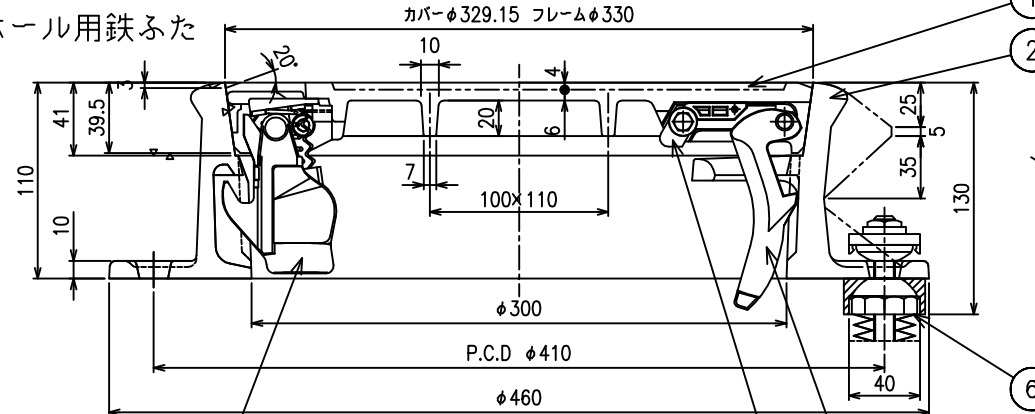
⑦ 外枠キャップ詳細図

⑧ キャップ詳細図

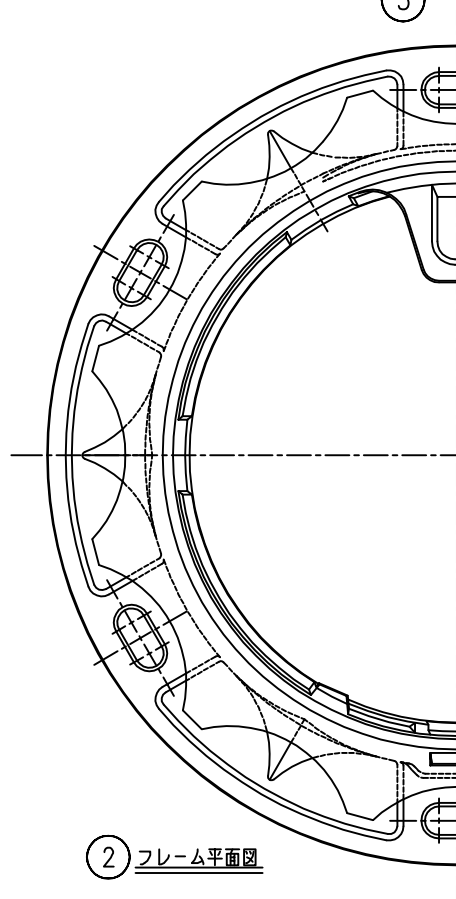
⑨ 仮キャップ

Φ 300

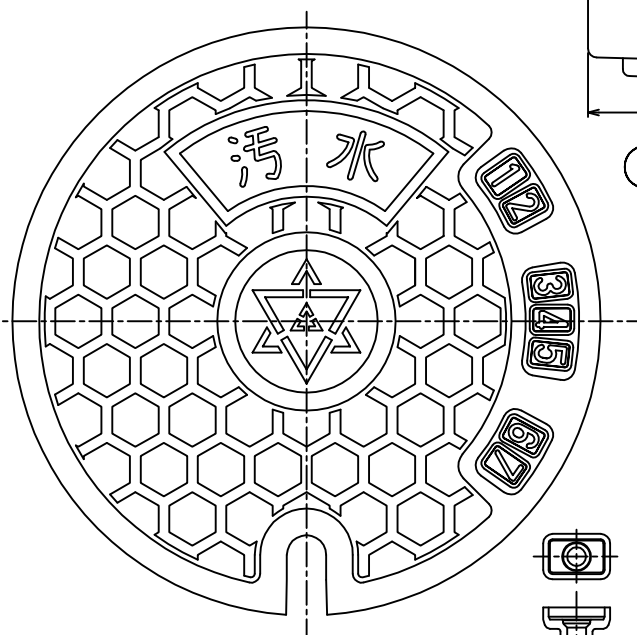
レジンマンホール用鉄ふた



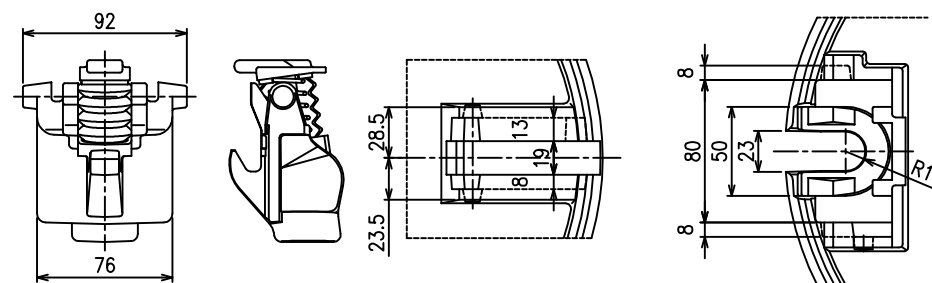
カバー，フレーム断面図



② フレーム平面図



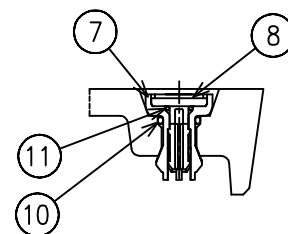
① カバー平面図



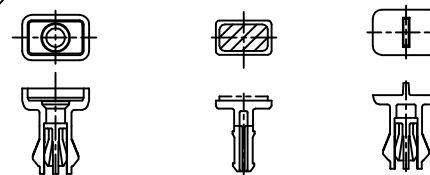
⑤ シールロック詳細図

コネクタ取付座詳細図

シールロック取付座詳細図



キャップ取付断面図

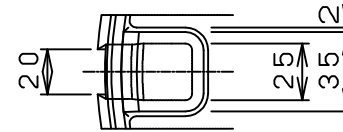
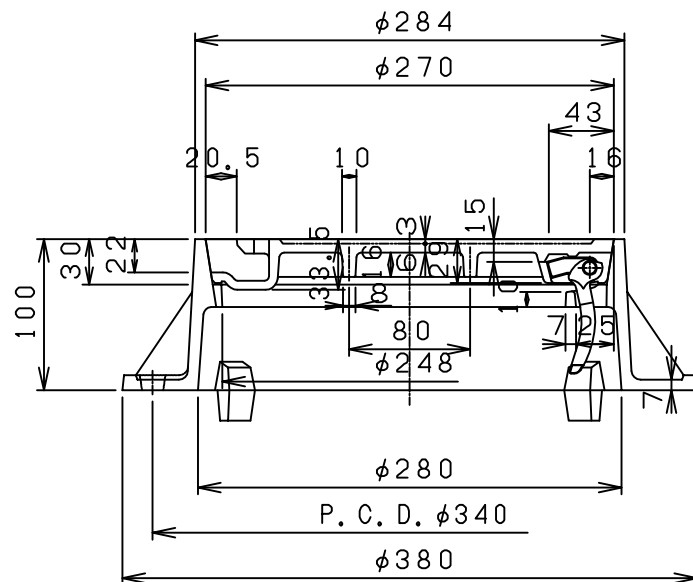


⑦ 外枠キャップ詳細図 ⑧ キャップ詳細図 ⑨ 仮キャップ

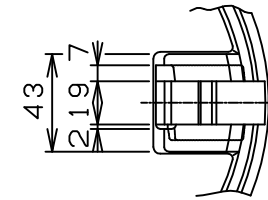
11	リング小	ニトリウム	7	
10	リング大	ニトリウム	7	
9	仮キャップ	ナイロン	-	
8	キャップ	ナイロン	7	
7	外枠キャップ	ナイロン	7	
6	AJフレームホルダ	ポリアセタル樹脂	3	
5	シールロック	FCD600樹脂	1	
4	ストッパ	ナイロン	1	ボルト・リナツ
3	コネクタ(蝶番)	FCD600	1	
2	フレーム(枠)	FCD600	1	
1	カバー(ふた)	FCD700	1	
品番	名 称	材 質	個数	備 考

※当該図面は参考図であり、実際の使用にあたっては福知山市型下水道用鑄鉄製マンホールふた及び防護ふた及び汚水ますふたの性能規定の適合品を使用すること。

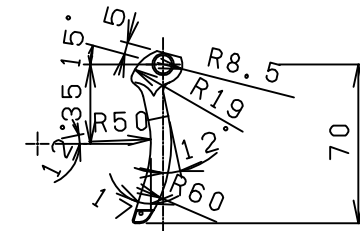
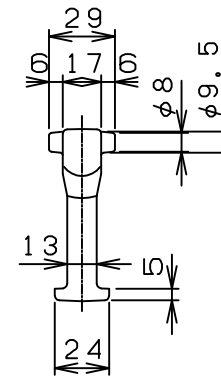
φ270 塩ビ公共汚水ます保護鉄ふた・車道用



ふた裏袋式ボール穴詳細



ふた裏蝶番取付部詳細



※蝶番位置は原則として上流側に設置。

蝶番金物詳細

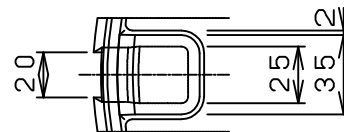
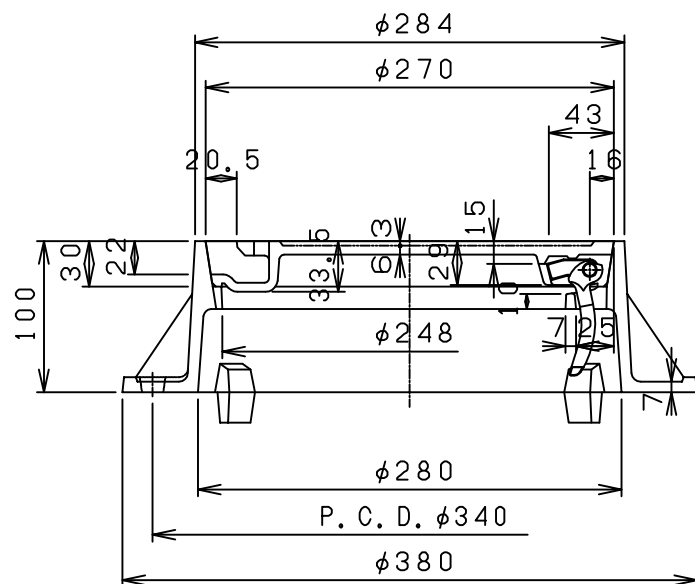
※当該図面は参考図であり、実際の使用にあたっては福知山市型下水道用鋳鉄製マンホールふた及び防護ふた及び汚水ますふたの性能規定の適合品を使用すること。

T-14

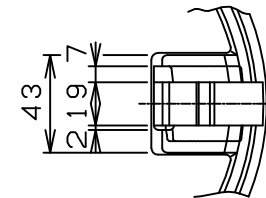
図
番

48

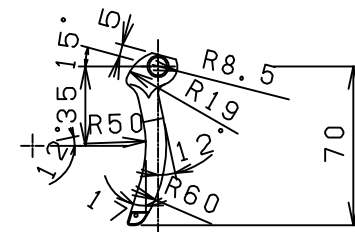
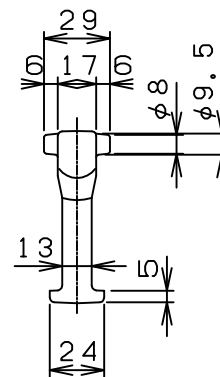
φ270 塩ビ公共汚水ます保護鉄ふた・歩道用



ふた裏袋式ボール穴詳細



ふた裏蝶番取付部詳細



※蝶番位置は原則として上流側に設置。

蝶番金物詳細

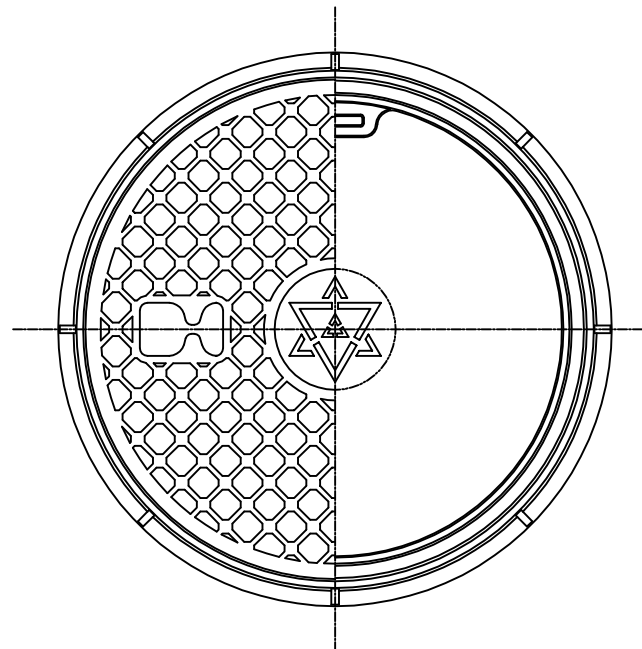
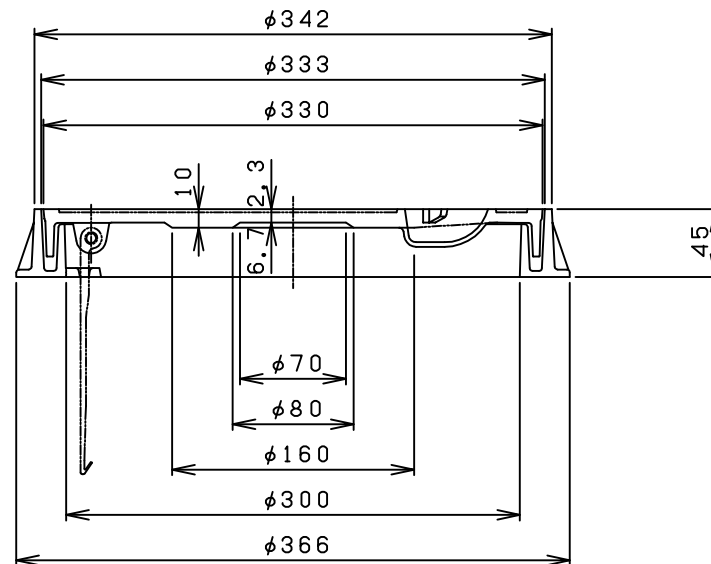
※当該図面は参考図であり、実際の使用にあたっては福知山市型下水道用鋳鉄製マンホールふた及び防護ふた及び汚水ますふたの性能規定の適合品を使用すること。

T-8

図
番

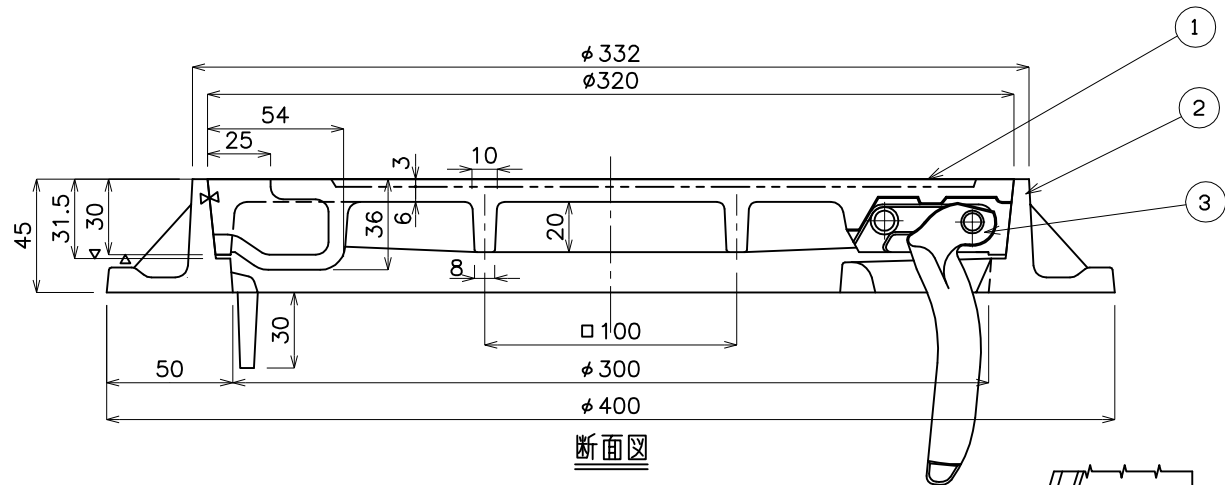
49

φ300コンクリート公共污水ます用蓋

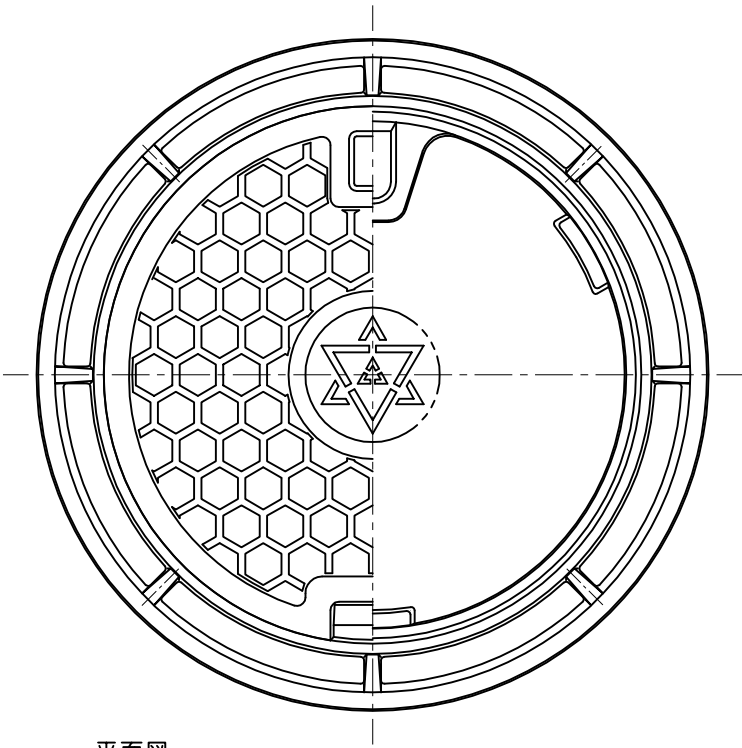


4	ボルトナット	SUS304	1	蝶番取付用
3	蝶番	ナイロン	1	
2	受枠	強化ABS	1	
1	ふた	FRP	1	
品番	名称	材質	個数	備考
設計	図番	尺度	年月日	
型式				
品名	NC0-300B			

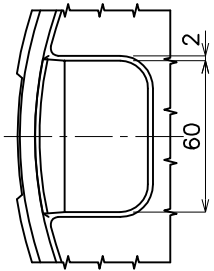
φ 300コンクリート公共汚水ます用鉄蓋 1



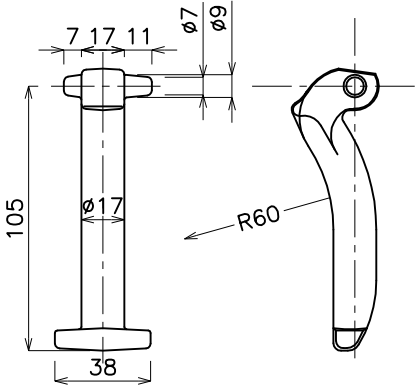
断面図



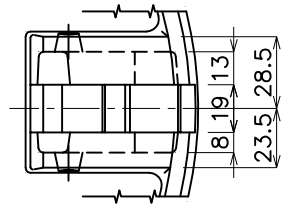
平面図



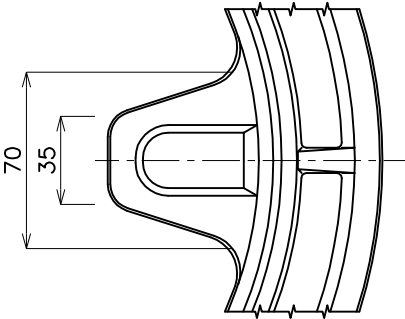
バール穴詳細図



③ 蝶番詳細図



蝶番取付座詳細図



蝶番部詳細図

3	蝶番	FCD600	1	
2	棒	FCD600	1	
1	蓋	FCD600	1	
品番	名称	材質	個数	備考
型式	VA-30P-4L			

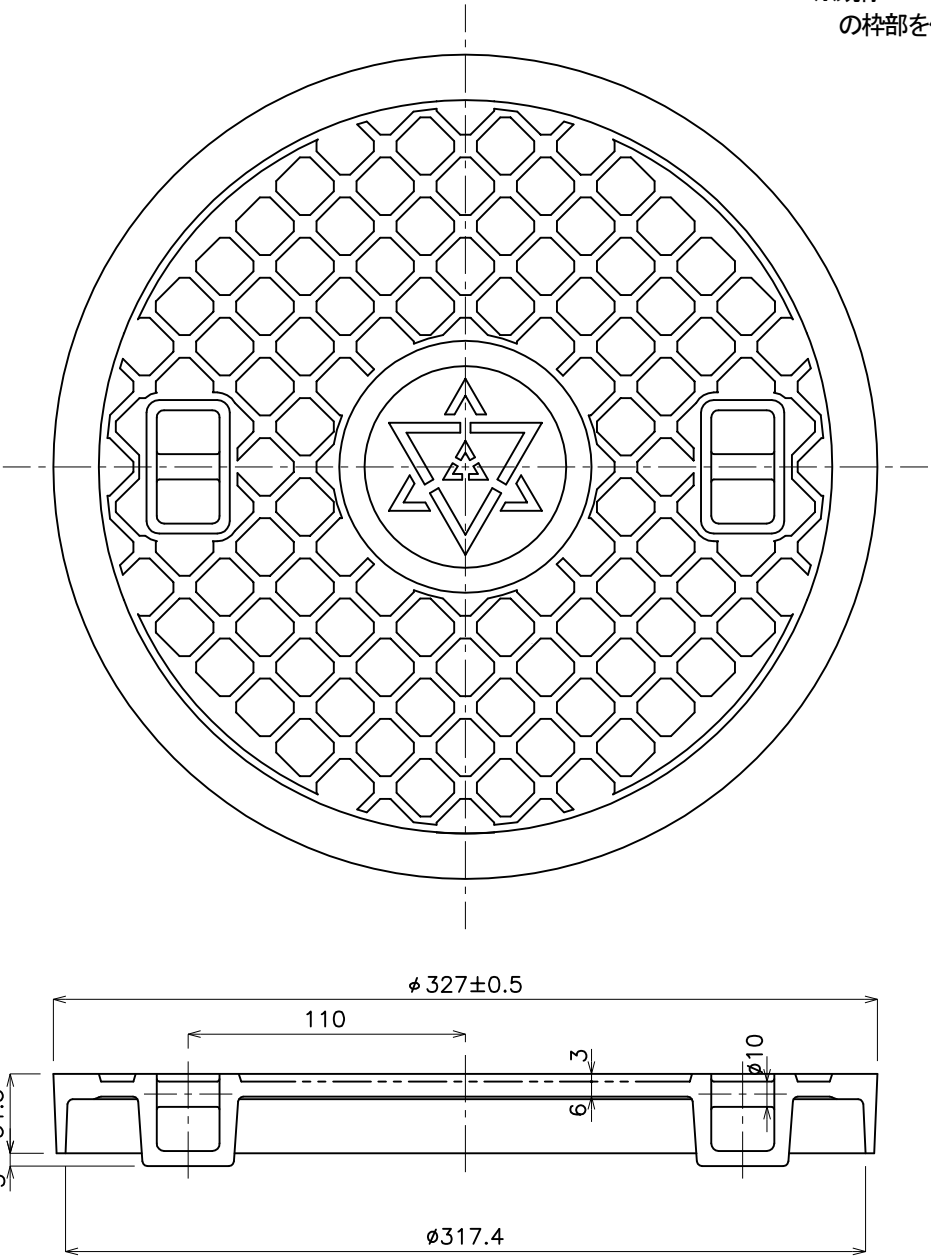
T-14

図番

51

φ300コンクリート公共汚水ます用鉄蓋 2

※既存FRP製φ300型公共汚水ます蓋
の枠部を使用した取り替え用鉄蓋。



1	蓋	FCD600	1	
品番	名称	材質	個数	備考
型式	CF-30U (NYK)			

T-2

図
番

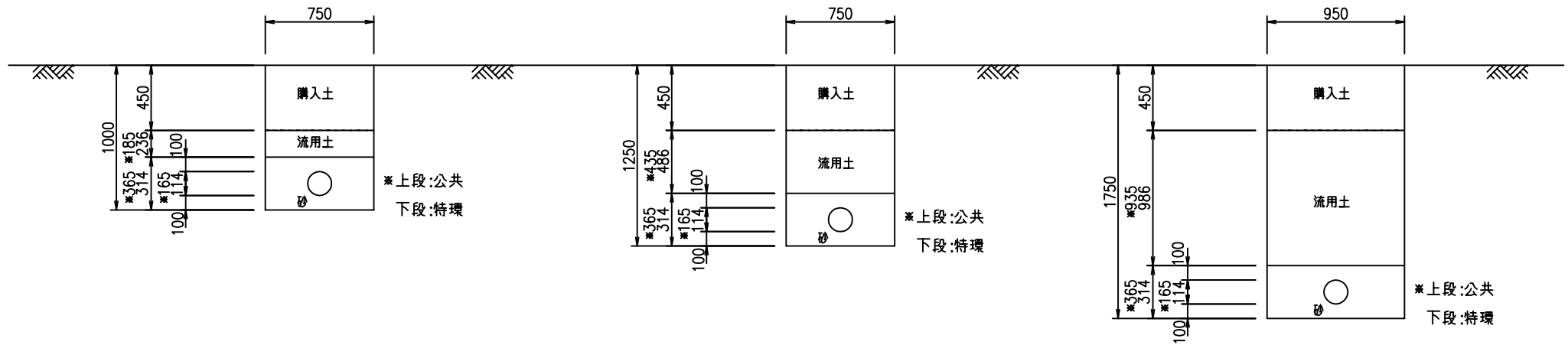
5 2

取付管土工標準断面図 S=1:40

H=1.0m以下
(素掘工法)

H=1.0~1.5m ($\bar{H}=1.25\text{m}$)
(素掘工法)

H=1.5~2.0m ($\bar{H}=1.75\text{m}$)
(建込工法)



10m当り (公共)

(単位:m³)

	H=1.0m以下	H=1.0~1.5m ($\bar{H}=1.25\text{m}$)	H=1.5~2.0m ($\bar{H}=1.75\text{m}$)
掘削	7.5	9.4	16.6
砂基礎	2.5	2.5	3.3
流用土	1.4	3.3	8.9
購入土	3.4	3.4	4.3

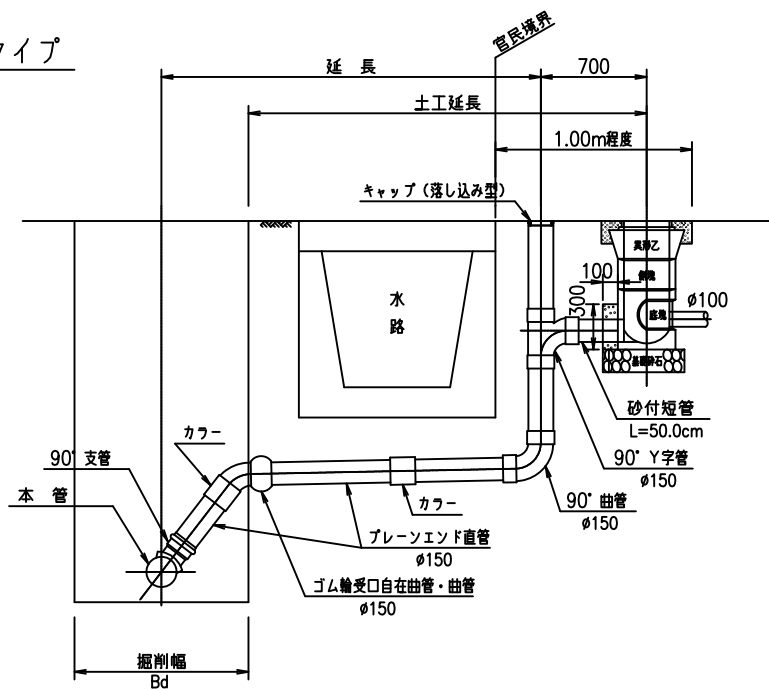
10m当り (特環)

(単位:m³)

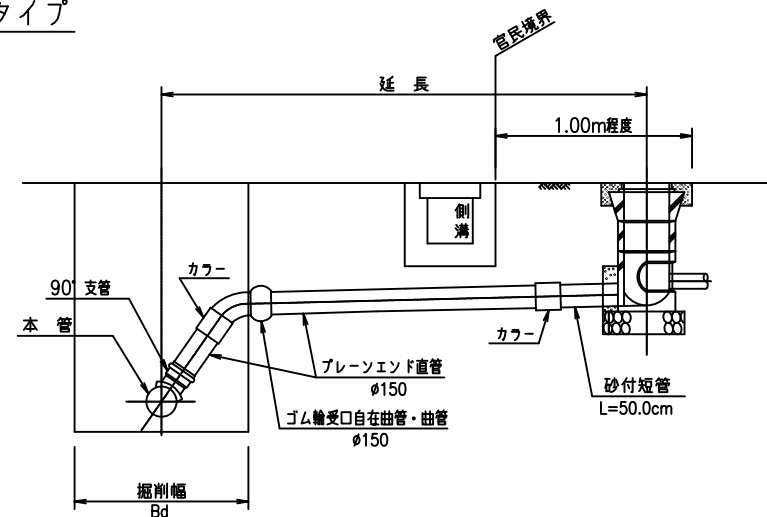
	H=1.0m以下	H=1.0~1.5m ($\bar{H}=1.25\text{m}$)	H=1.5~2.0m ($\bar{H}=1.75\text{m}$)
掘削	7.5	9.4	16.6
砂基礎	2.3	2.3	2.9
流用土	1.8	3.6	9.4
購入土	3.4	3.4	4.3

取付支管工(1)

Aタイプ

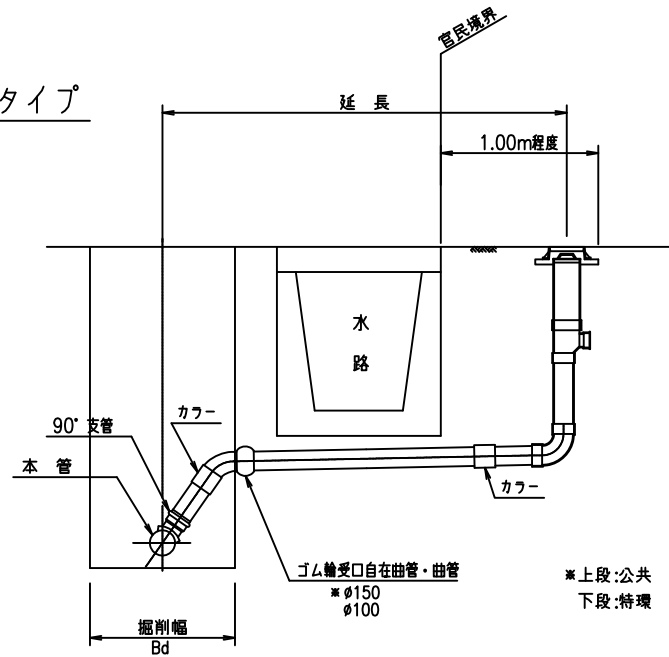


Bタイプ

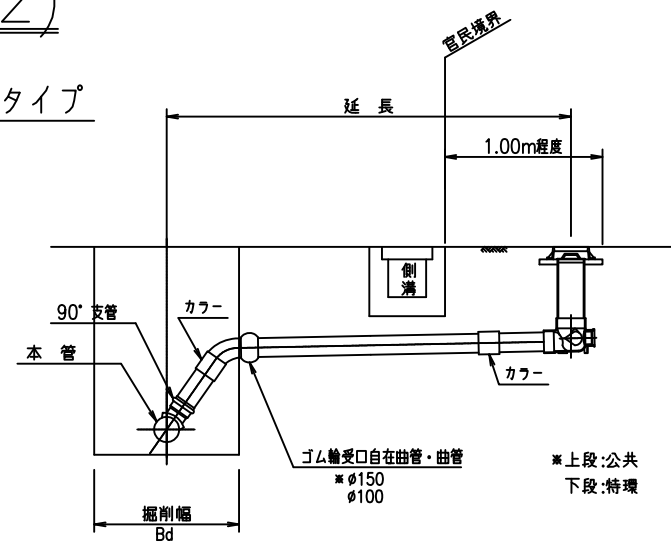


取付支管工(2)

Cタイプ



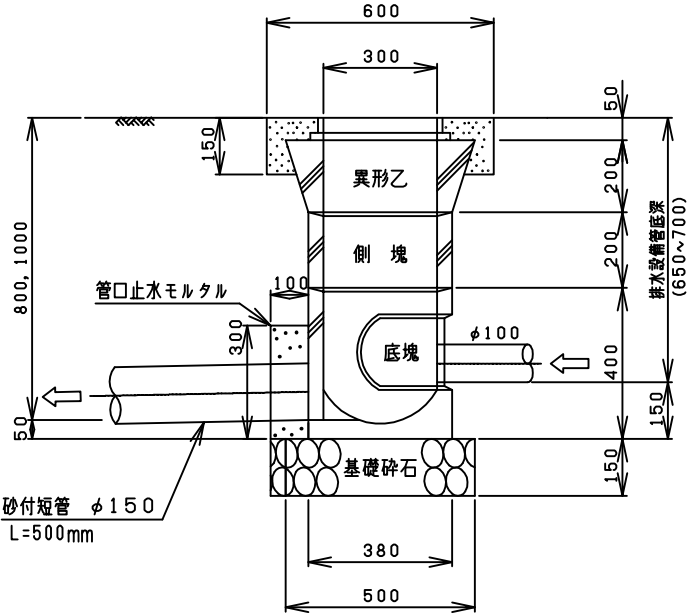
Dタイプ



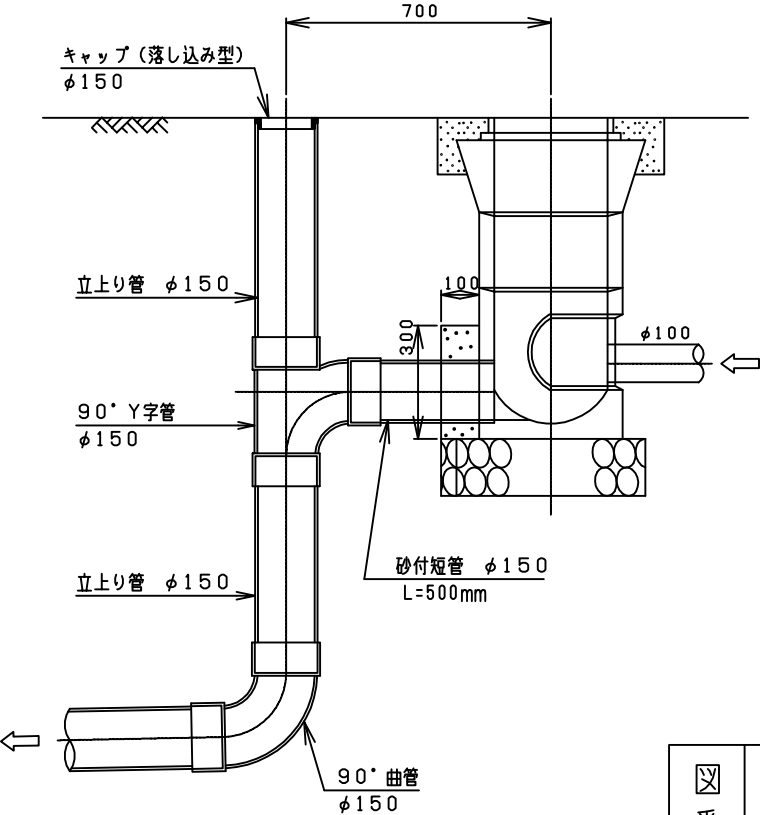
- ※1 支管取付孔の中心間距離は1.0m以上とする。
- 2 人孔に近接した場合の削孔は、人孔壁より0.9m以上離すこと。
- 3 削孔位置が管端部付近になる場合は、最低でも管端部より0.2m以上離し、本管どうしの接合状況が悪化しないよう、また本管と支管との接合が確実に行えるようにすること。
- 4 陶管への削孔の場合は、基本1本の管に1箇所とするが、長尺管でやむを得ず1本の管に2箇所削孔しなければならない場合は、削孔どうしの間隔を50cm以上とすること。
詳細については協議を要する。

公共汚水ます（コンクリート製） S=1:20

公共汚水ます 300型



公共汚水ます 300型
<φ150 掃除口付>

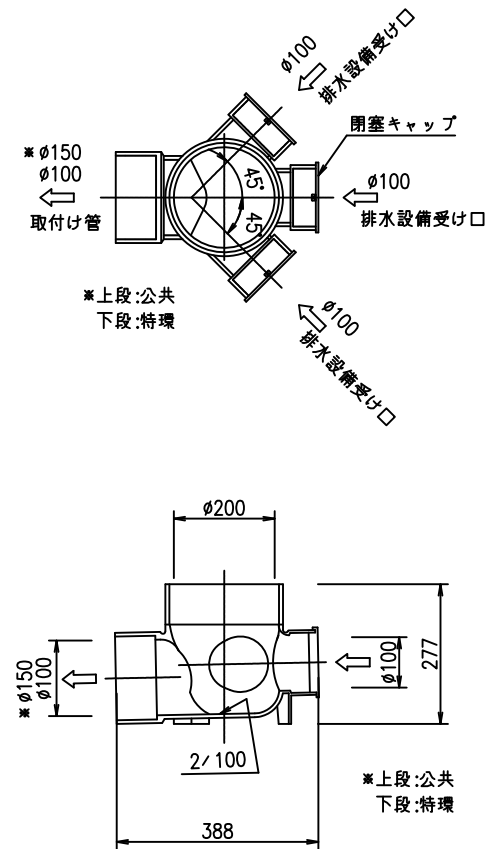
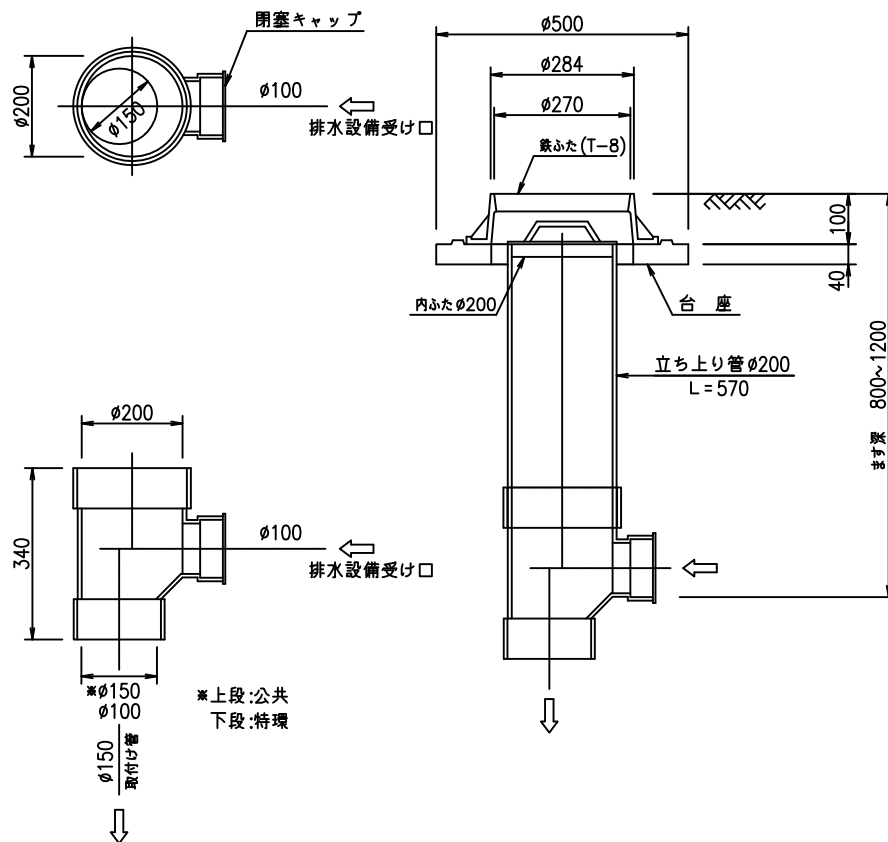


公共汚水ます（塩ビ製） S=1:15

（200型）

縦型ストレート（受口形）

横型45度三方向合流（受口形）



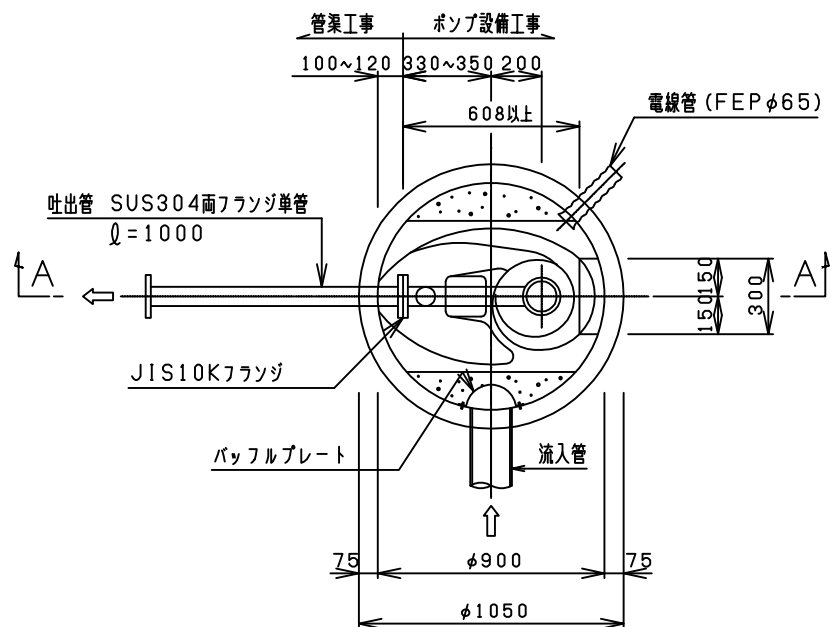
(単位:mm)

ます高	立上管長
800	520
1000	720
1200	920

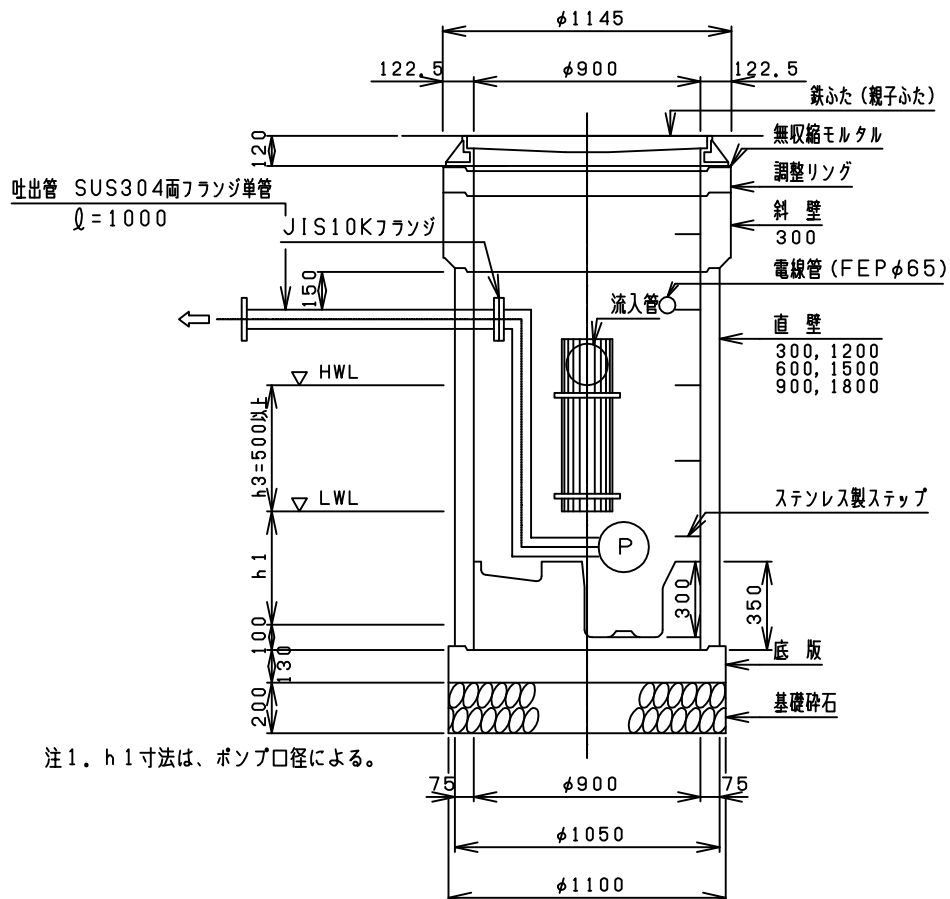
注1. ます深が1200を超える場合は300型として図番18及び19の塩ビマンホールを使用すること。その場合のます深は2000を限度とする。

マンホールポンプ場（1号組立マンホール） S=1:30

平面図



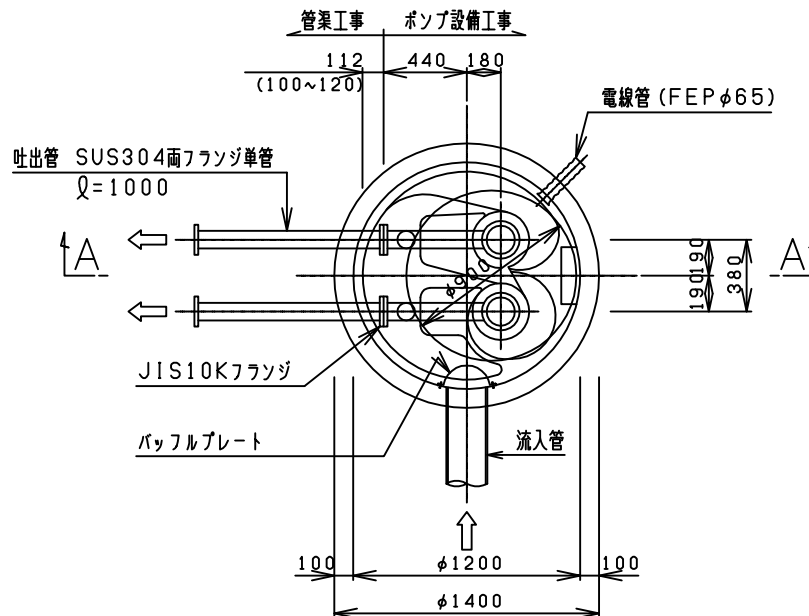
A-A断面図



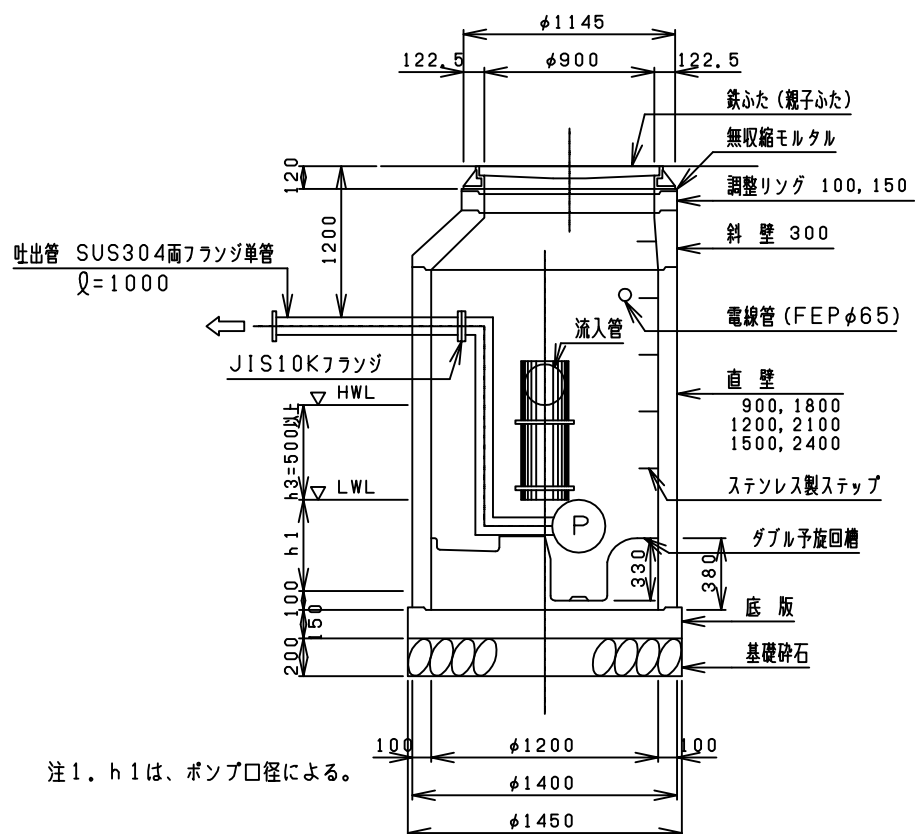
注1. h1寸法は、ポンプ口径による。

マンホールポンプ場（2号組立マンホール） S=1:40

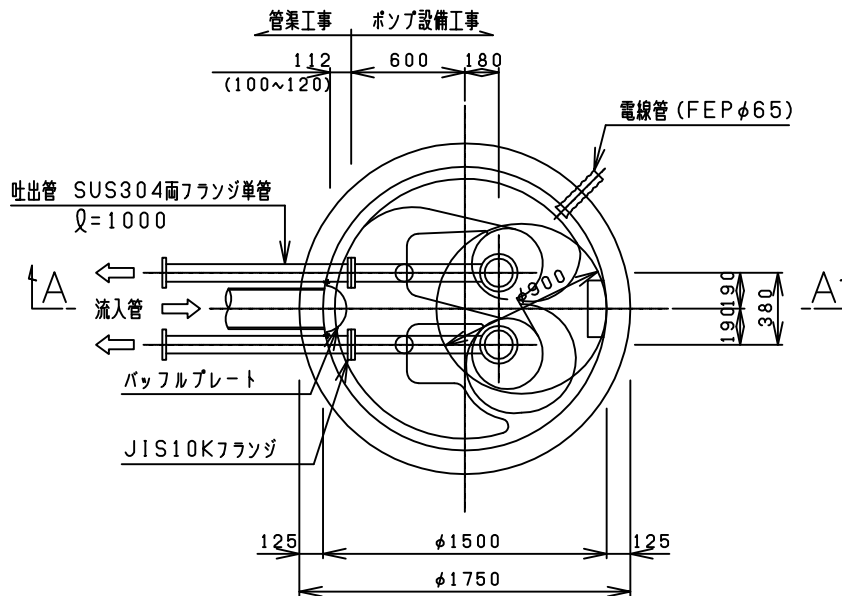
平面图

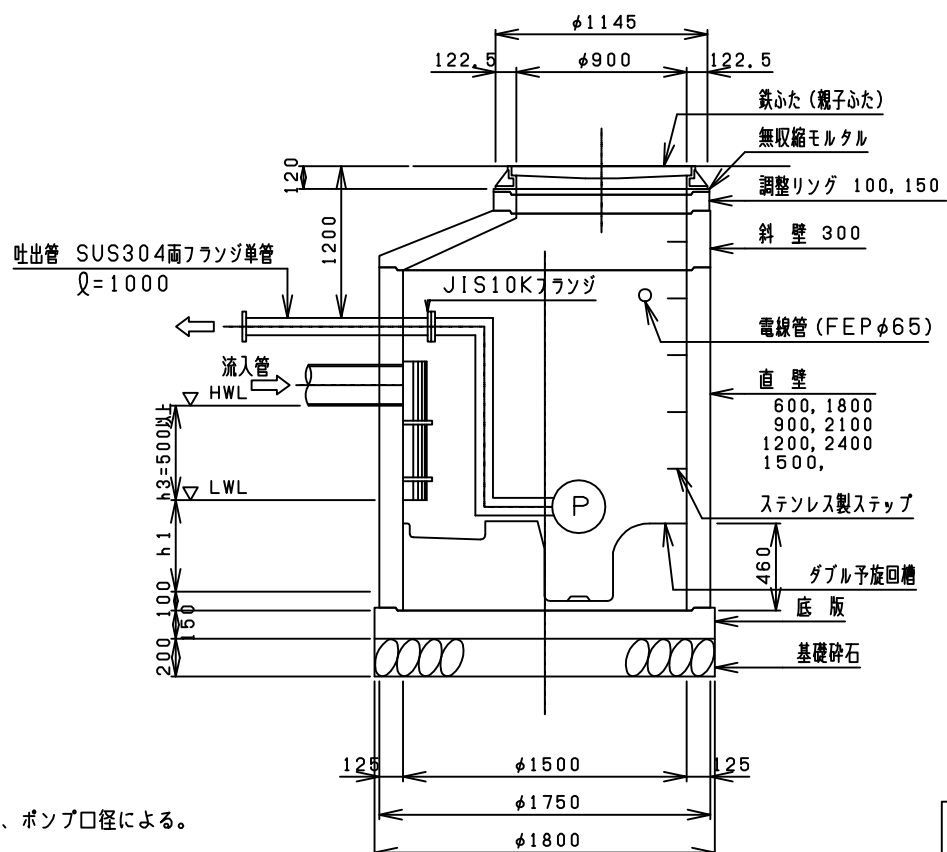


A - A 断面図



注1. h_1 は、ポンプ口径による。

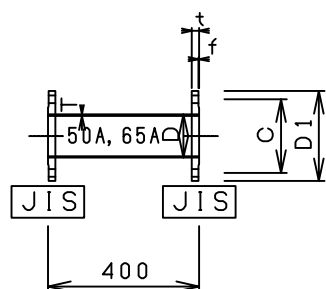
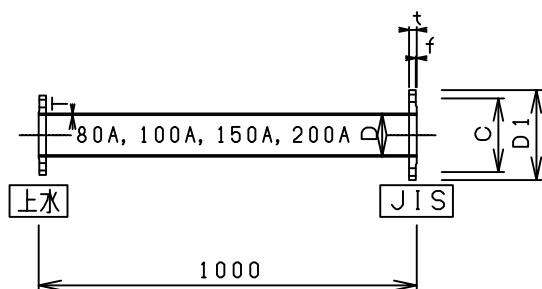




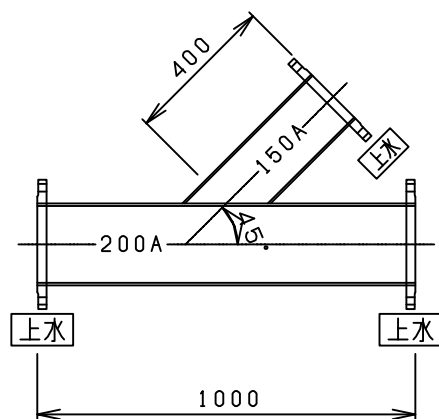
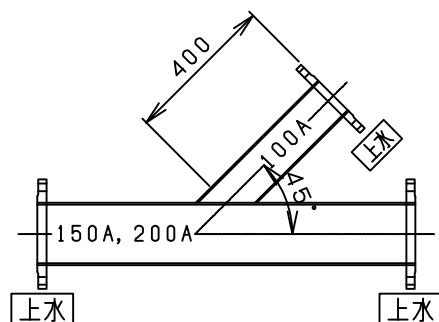
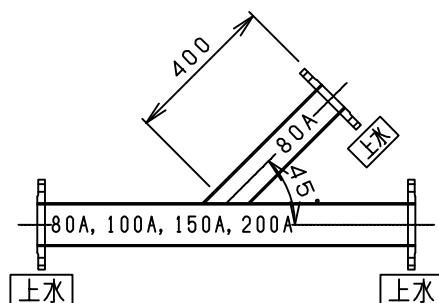
注1. h_1 は、ポンプ口径による。

圧送管資材（１） $s=1:20$ ステンレス管加工図（SUS304 sch20）

両フランジ短管



3方フランジT字管



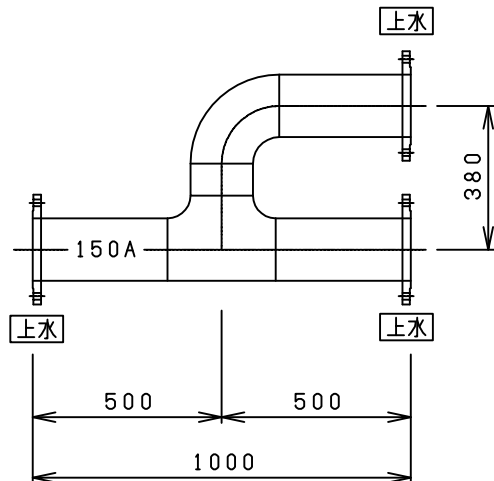
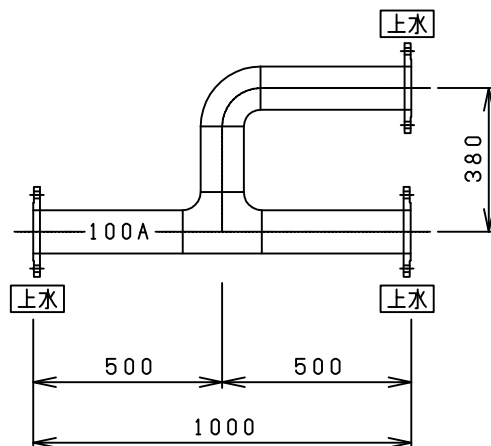
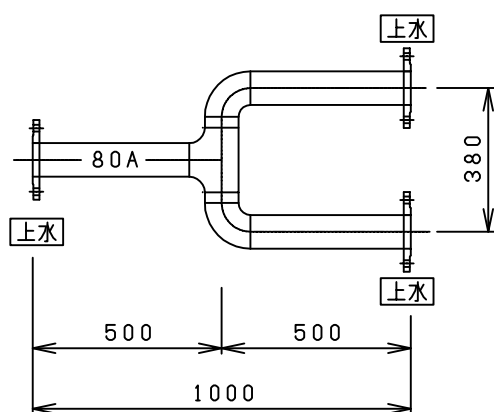
フランジ寸法

(単位：mm)

呼び径	JIS規格（10K）				上水規格（7.5K）			
	D1	C	t	f	D1	C	t	f
50A	155	120	16	2				
65A	175	140	18	2				
80A	185	150	18	2	211	168	21	3
100A	210	175	18	2	238	195	21	3
150A	280	240	22	2	290	247	22	3
200A	330	290	22	2	342	299	23	3

圧送管資材（２） $s=1:20$ ステンレス管加工図（SUS304 sch20）

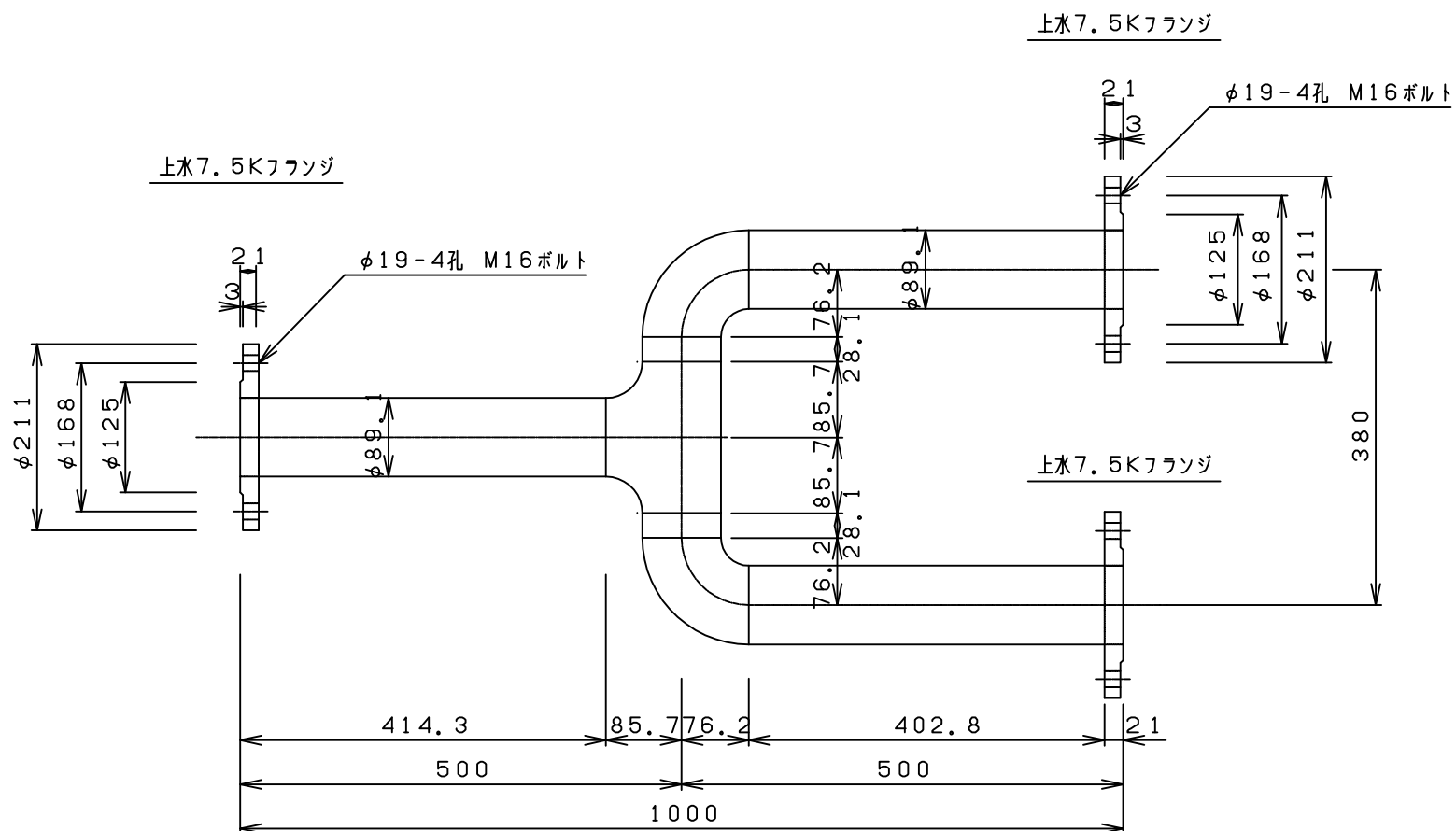
3方フランジY字管



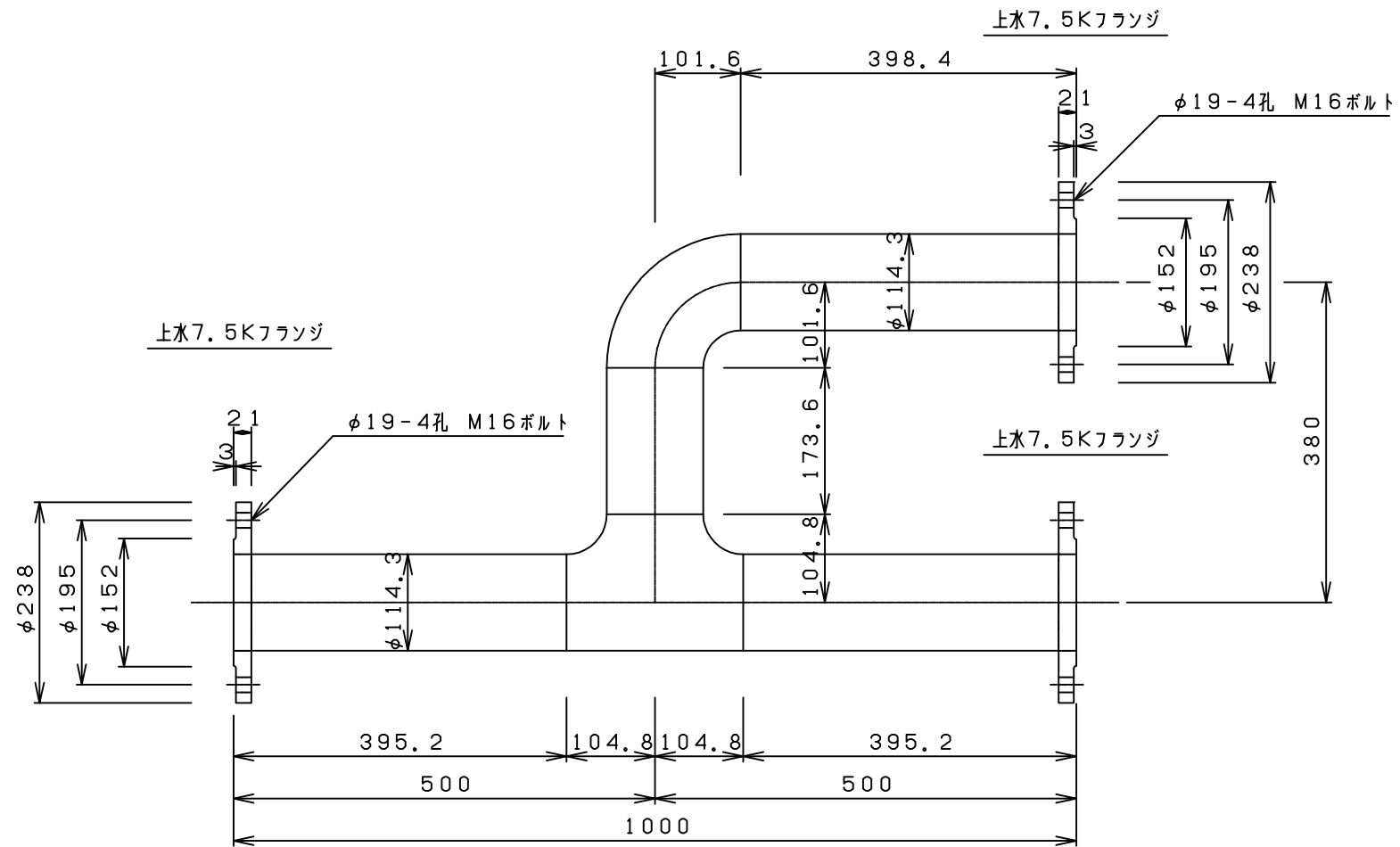
直管寸法及び質量

呼び径	外径 D (mm)	管厚 T (mm)	質量 (kg/m)
80A	89.1	4.0	8.48
100A	114.3	4.0	11.0
150A	165.2	5.0	20.0
200A	216.3	6.5	34.0

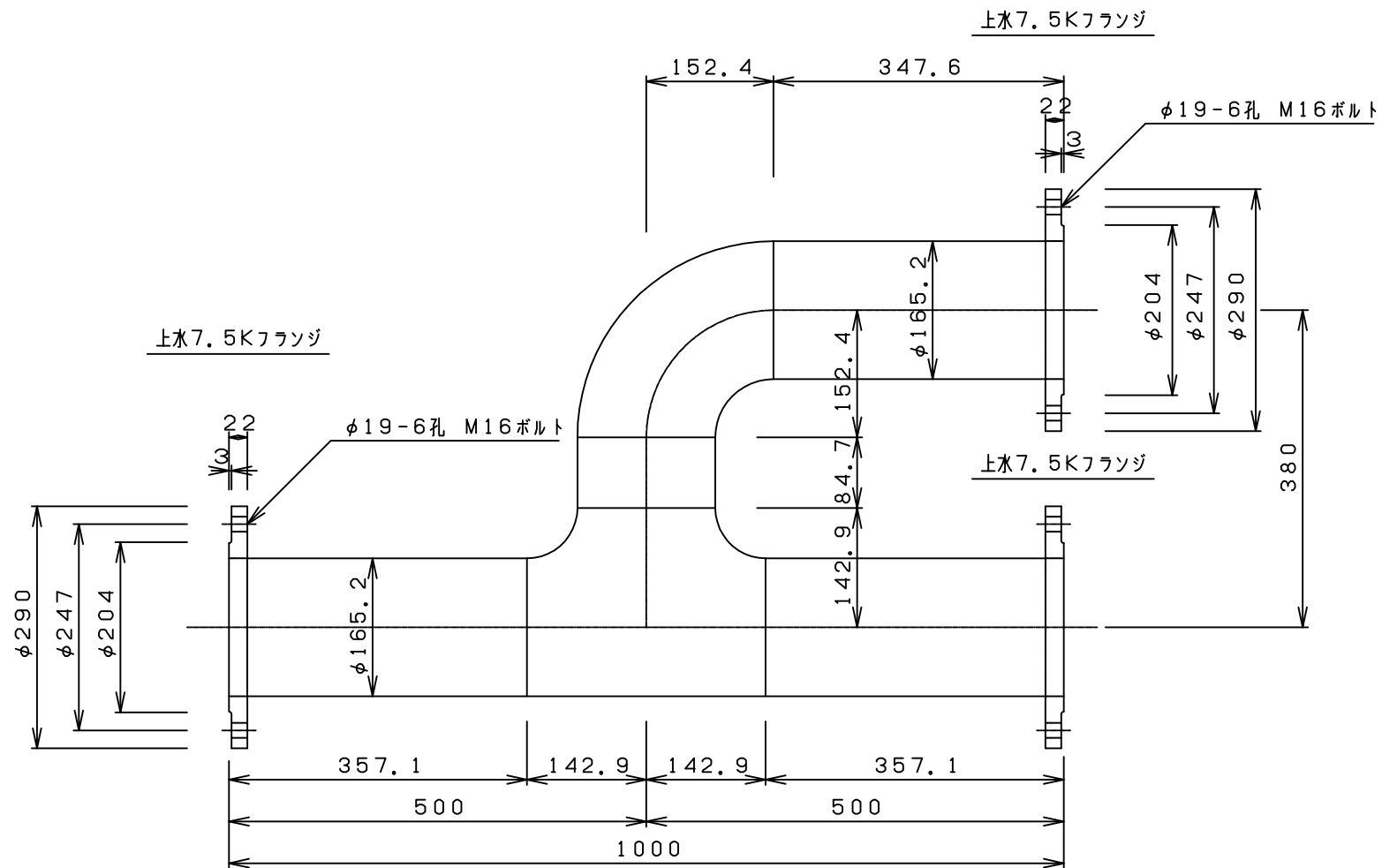
φ80mm3方フランジY字管詳細図 s=1:8
(sus304 sch20)



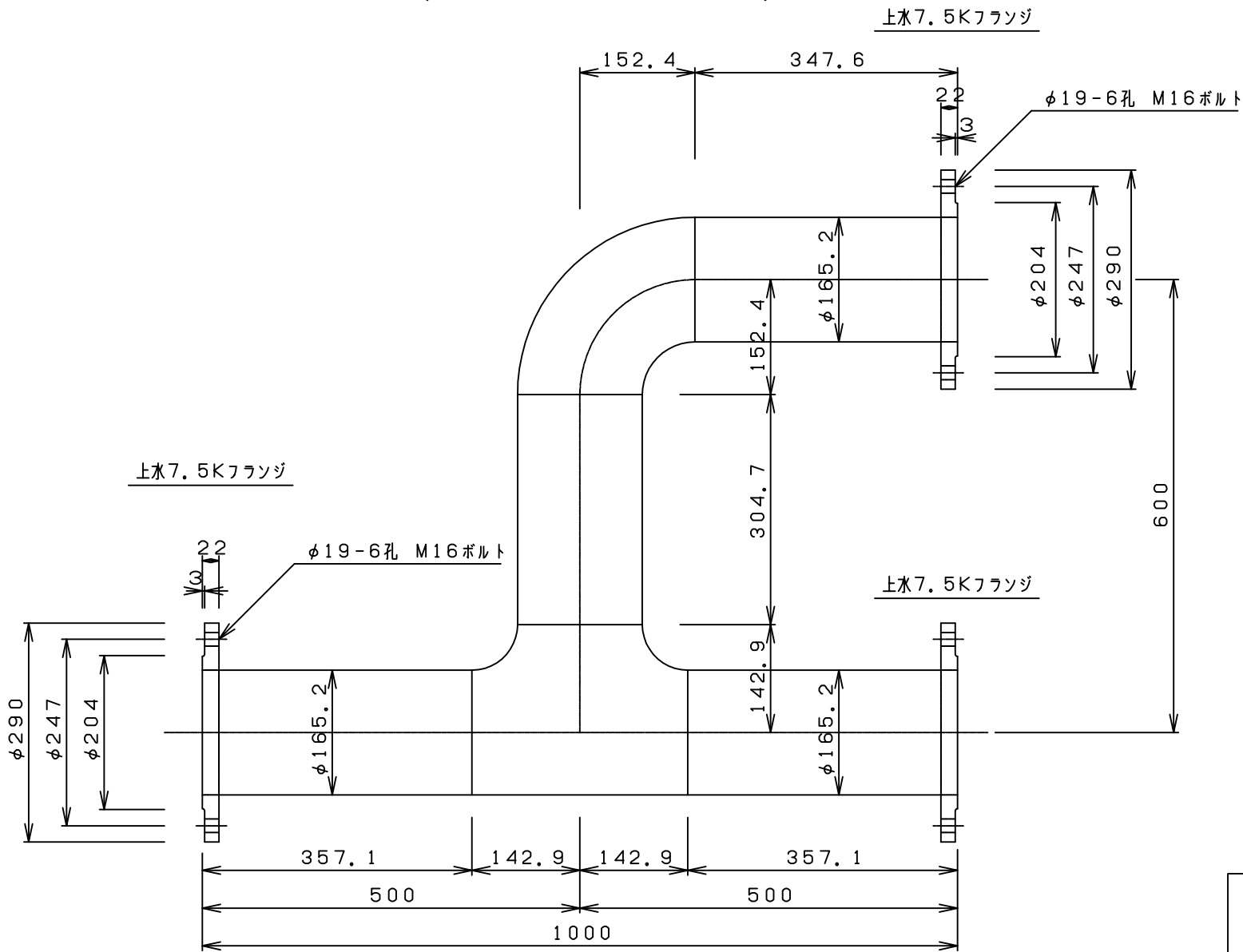
φ100mm3方フランジY字管詳細図 s=1:8
(sus304 sch20)



φ150mm3方フランジY字管詳細図 s=1:8
(sus304 sch20)

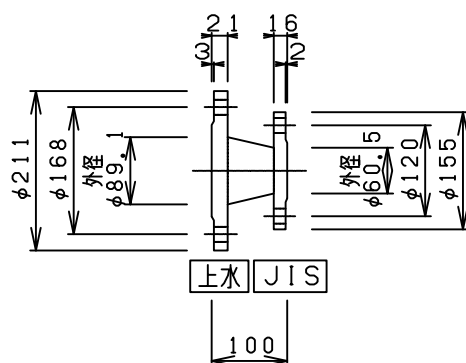


φ150mm3方フランジY字管詳細図 s=1:8
(sus304 sch20)

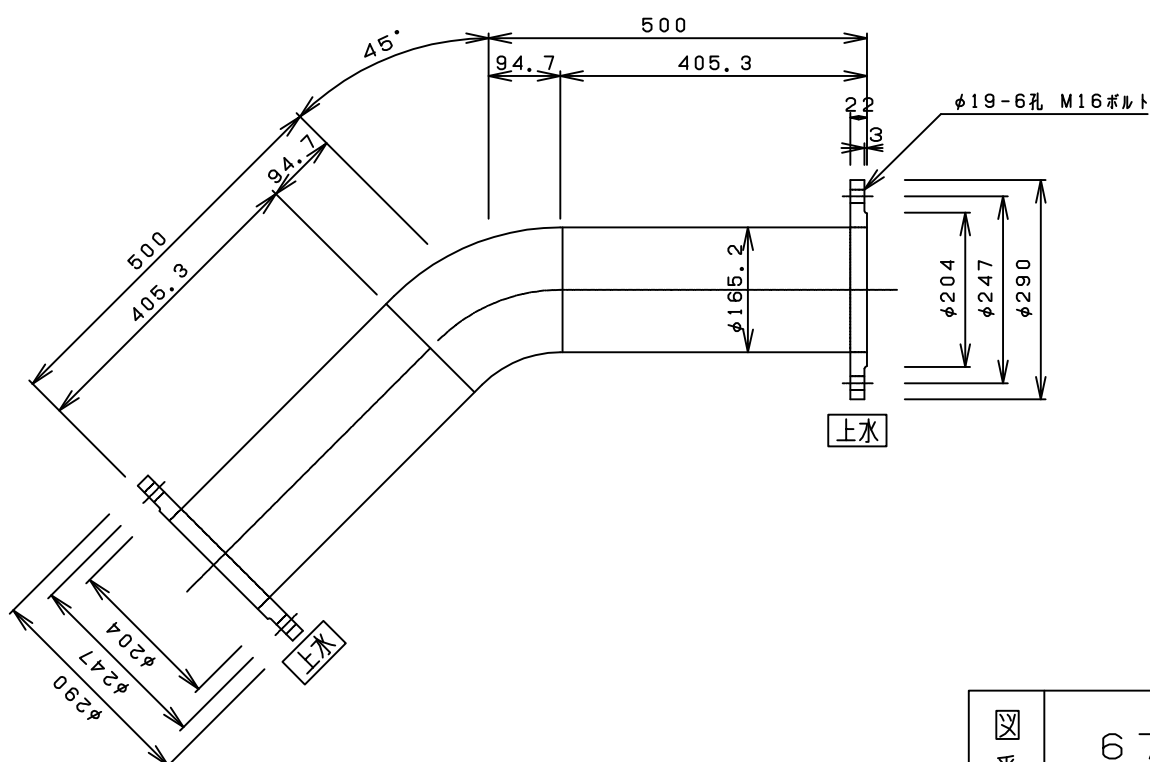


圧送管資材（３） $s=1:10$ ステンレス管加工図（SUS304 sch20）

レジューサー

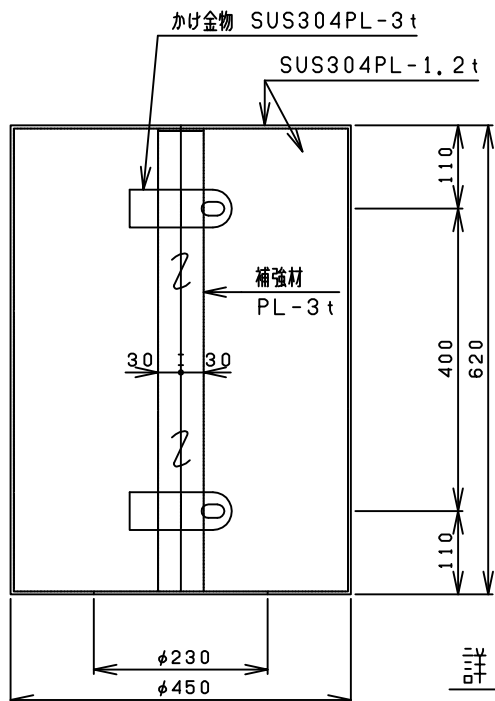


$\phi 150\text{mm}$ 45° 曲管詳細図 $s=1:10$ (SUS304 sch20)

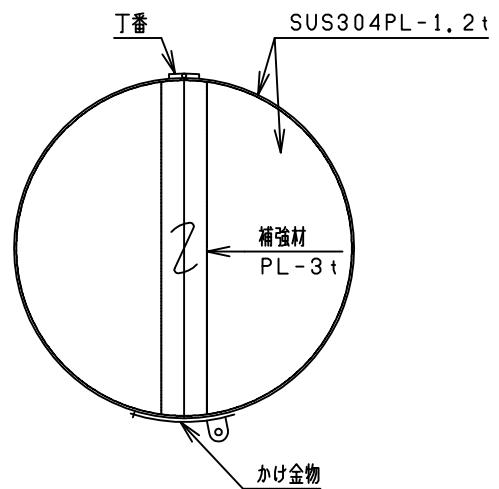


空気弁カバー詳細図 S=1:10

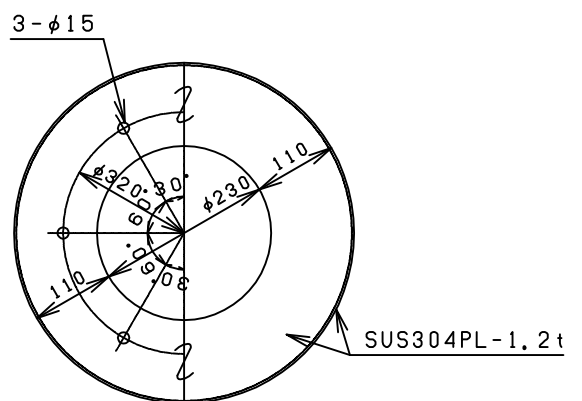
正面図



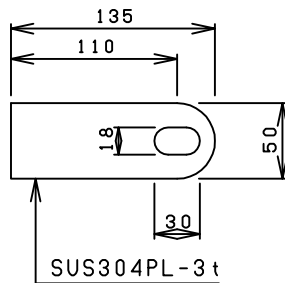
上ふた図



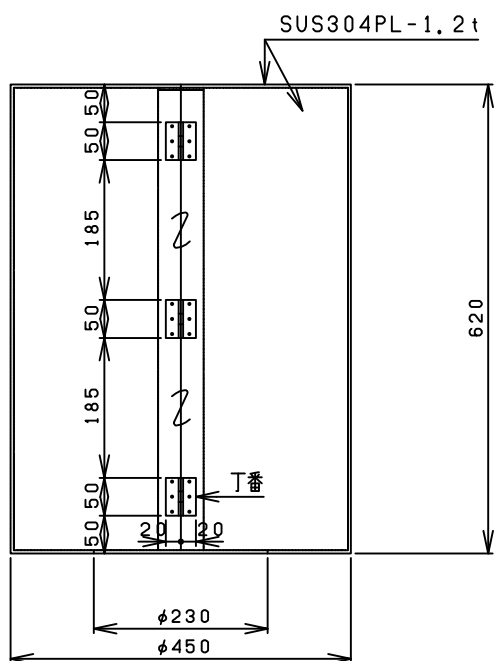
下ふた図



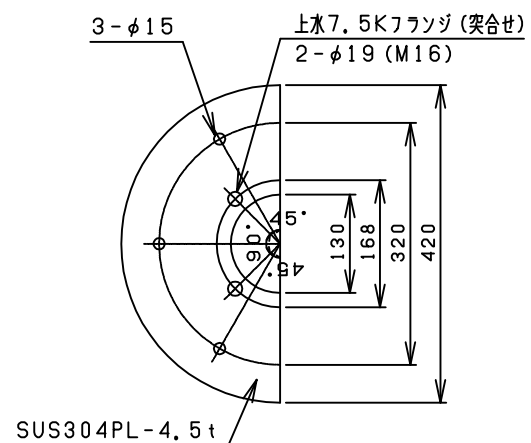
詳細図



裏面図

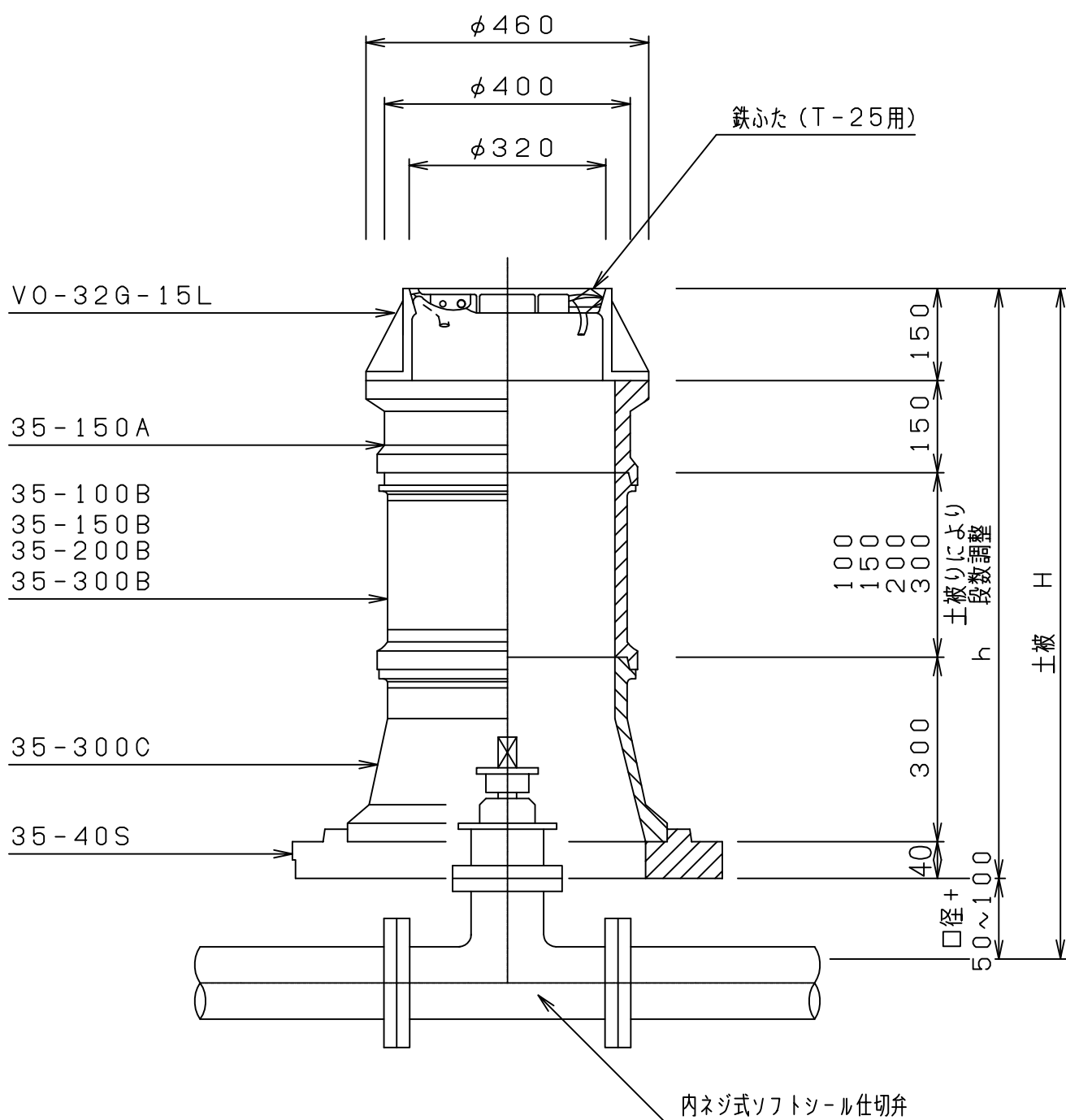


カバー受台(片面)



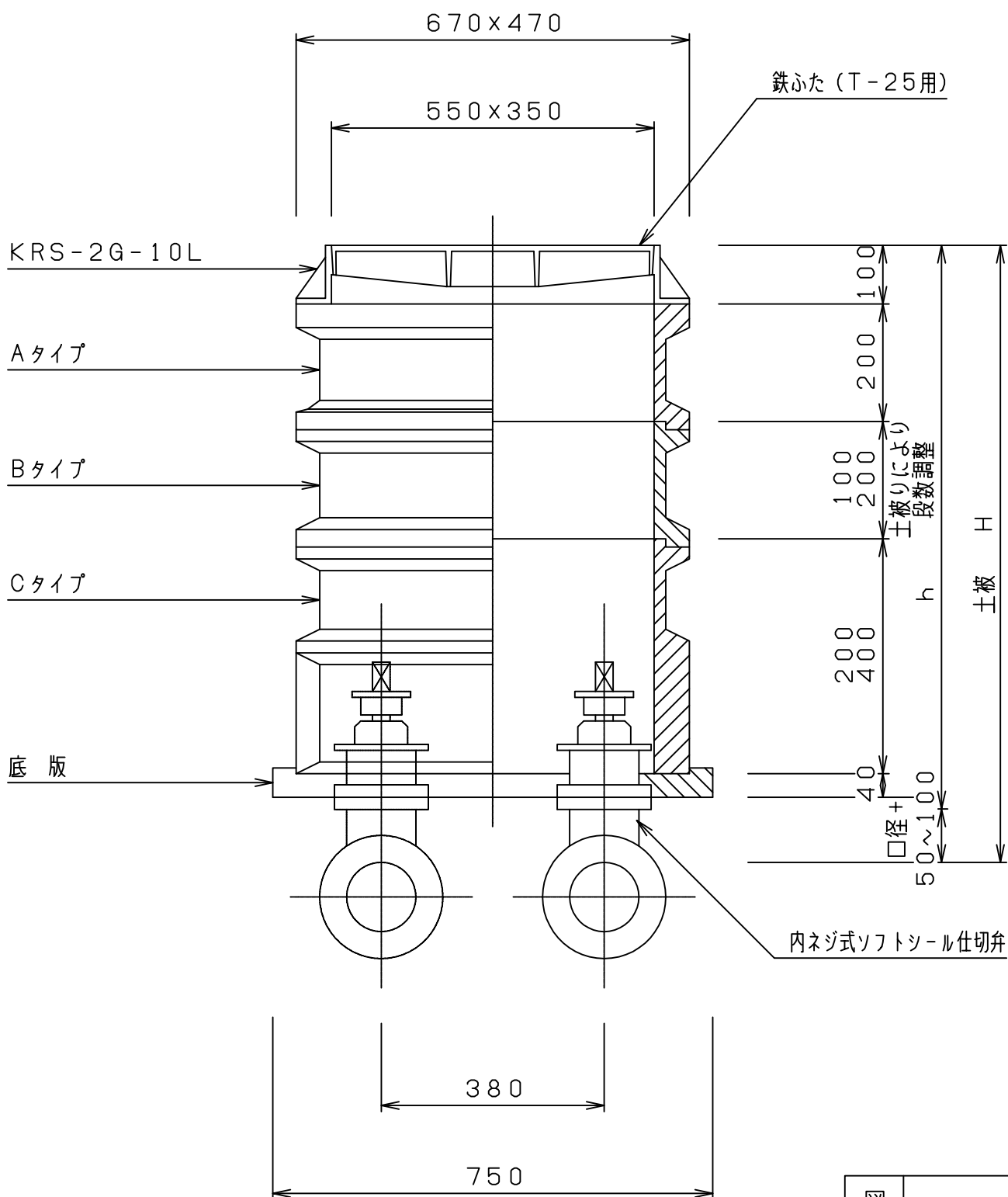
仕切弁・逆止弁ボックス 35型 $S=1:10$

(レジンコンクリート製)



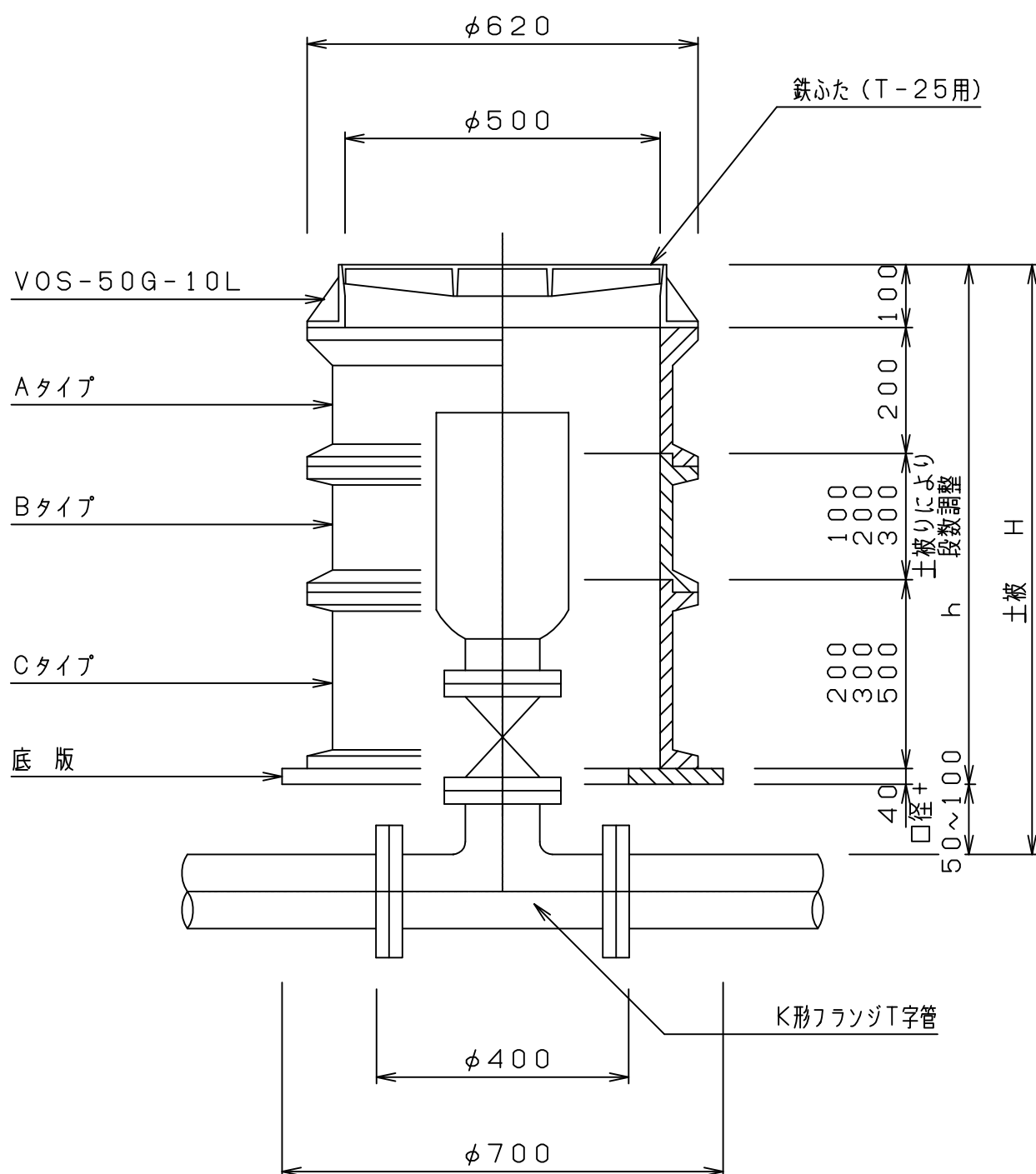
並列仕切弁用ボックス 55×35型 S=1:10

(レジンコンクリート製)



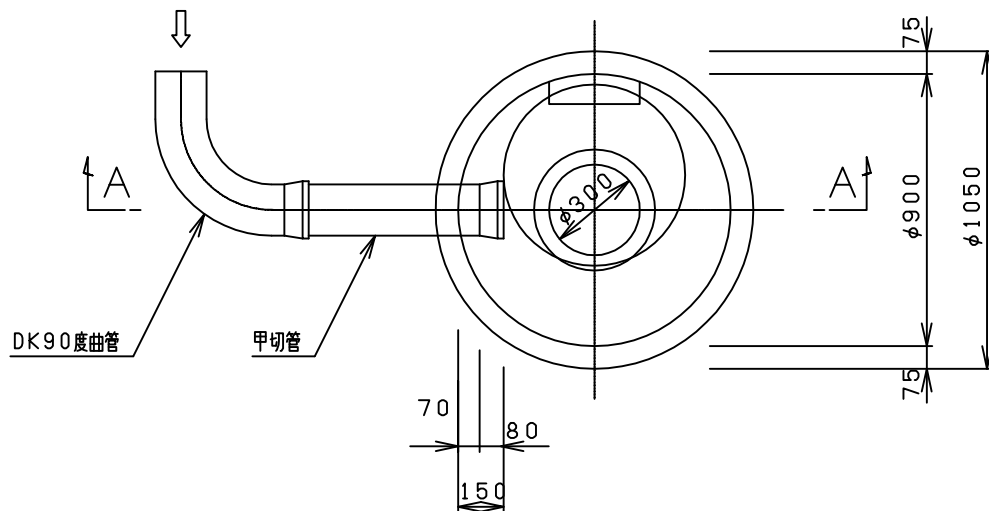
空気弁ボックス 50型 $S=1:10$

(レジンコンクリート製)

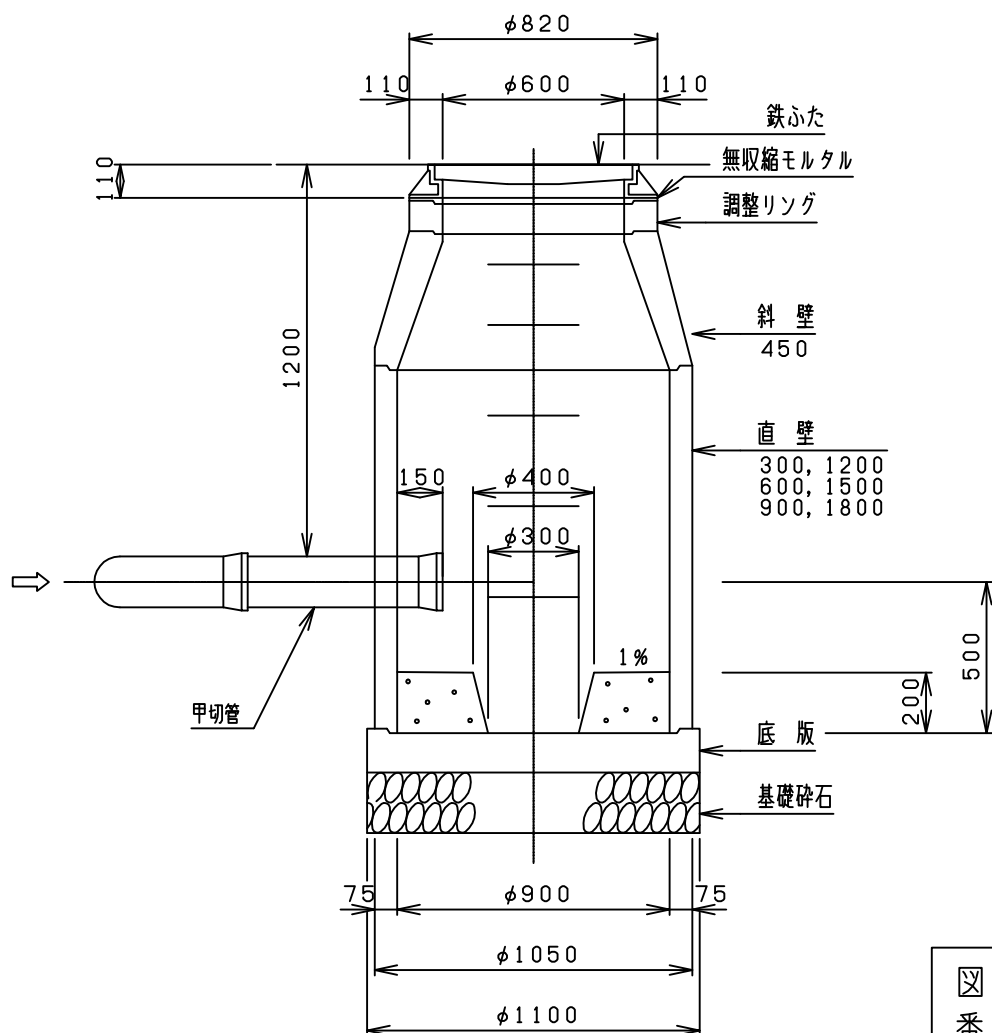


排泥弁室（1号組立マンホール） S=1:25

平面图



A - A 断面图



仮復旧工

1) 市道の場合

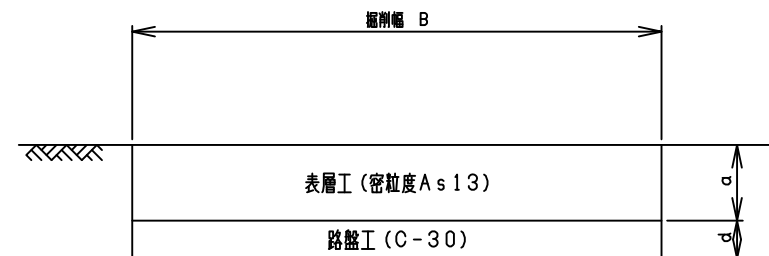


道路規格	表層 a (cm)
車道	5
歩道	3

表層工：密粒度As13

注) 占用条件路線及び交通量の多い幹線道路の埋戻しの下水道管路は埋戻し後、本復旧までの間に交通解放する場合は、仮舗装をしなければならない。仮舗装は、車道部 $t = 5 \text{ cm}$ 、歩道部 $t = 3 \text{ cm}$ の加熱アスコンを使用する。

2) 府道及び国道の場合



道路規格	表層 a (cm)	路盤 d (cm)
簡易舗装	5	27
A 交通	3	27
B 交通	5	35
C 交通	5	35
歩道	3	11

FDH-6
FDH-7
FDH-8
FDH-9
FDH-10

表層工：密粒度As13
下層路盤：C-30

注) 国・府道の当初設計に当っては、道路管理者の指示による舗装構成、舗装範囲によることを原則とし、舗装復旧実施に当っては、道路管理者との立ち会いにより舗装構成、範囲を決定する。

本復旧工

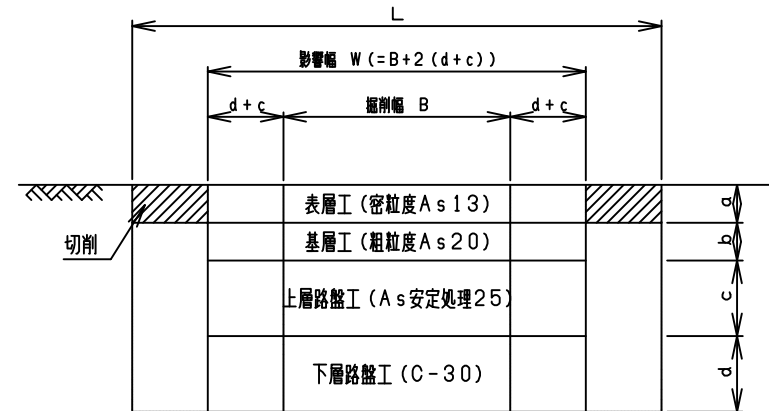
1) 市道の場合



道路規格	表層+基層 a (cm)	上層路盤 c (cm)	下層路盤 d (cm)	不陸整正 厚 (cm)	舗装範囲 L (cm)	舗装方法
里道	5	—	10	—	表層 道路全幅 路盤 〃 路盤 〃	路盤、表層 打換え
歩道 (一般)	3	—	10	—		
歩道 (乗入)	5	—	10	—		
3 m未満市道	5	—	10	—	表層 道路全幅	打換え
3 m以上5 m未満市道	5	10	—	3	路盤 掘削部・影響部	打換え
					路盤 残存部	不陸整正
					表層 道路半幅	打換え・切削・オーバーレイ
5 m以上市道	5	10	10	3	路盤 掘削部・影響部	打換え
準幹線市道	5	10	20	3	残存部：不陸整正、不陸整正ない場合のみ切削	
幹線市道	10	10	15	—		

表層工：密粒度 As 13 基層工：粗粒度 As 20
上層路盤：M-30 下層路盤：C-30

2) 府道及び国道の場合



道路規格	表層 a (cm)	基層 b (cm)	上層路盤 c (cm)	下層路盤 d (cm)	残存部 切削	舗装範囲 L (cm)	
簡易舗装	4	—	5	21	有	道路半幅	F DH-1
A 交通	5	—	7	18	有	道路半幅	F DH-2
B 交通	5	5	7	23	有	道路半幅	F DH-3
C 交通	5	5	15	15	有	道路半幅	F DH-4
歩道	4	—	—	10	—	道路全幅	F DH-5

表層工：密粒度 As 13 基層工：粗粒度 As 20
上層路盤：As 安定処理 25 下層路盤：C-30

注) 国・府道の当初設計に当っては、道路管理者の指示による舗装構成、舗装範囲によることを原則とし、舗装復旧実施に当っては、道路管理者との立ち会いにより舗装構成、範囲を決定する。

注1) 不陸整正の敷き均し作業は、舗装版取り壊し作業に含まれるため、転圧費のみ計上する。

注2) 舗装仕上げ厚3 cmの表層工は、密粒度アスコンを用いる。

注3) 表層、基層の最大仕上げ厚は、7 cmとする。

注4) ☆路床 (H=30 cm) を、修正CBR30以上の良質土で埋戻す。

注5) 一般国道、府道、一般市道等と接続する基幹的な道路網を形成する道路。

注6) 上記に準じた準幹線的な道路網を形成する道路。

下水道標準構造図集

平成10年 8月	作成
平成11年 5月	一部改訂
平成13年 8月	改訂
平成14年 9月	一部改訂
平成23年10月	一部改訂
平成24年 4月	一部改訂
平成24年 7月	一部改訂
平成25年 4月	一部改訂
平成30年 1月	一部改訂

福知山市上下水道部下水道課